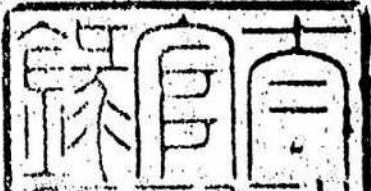


岩山敬義
 報 告 理 事 功 程

146
 第十類
 一冊
 函
 架
 上

国立公文書館
 分類
 2 A
 33-6
 排架番号
 ① 476

476



右大臣印

全權大使ヨリ御達相成居候畊牧事務取調書類早
差出旨去月三十一日太政大臣殿御達迄右書類並撰
出来候間別紙目録ノ通差出申候可然御取計有之
段及御依頼候也

明治八年四月廿八日

岩山勸業權助

史官

御中

記

一 英國サレシストル農學校大意 一冊

一 英國獸醫學校生徒規則及法度 一冊

一 英倫農業會社 一冊

准許狀

准許狀中規條

内則

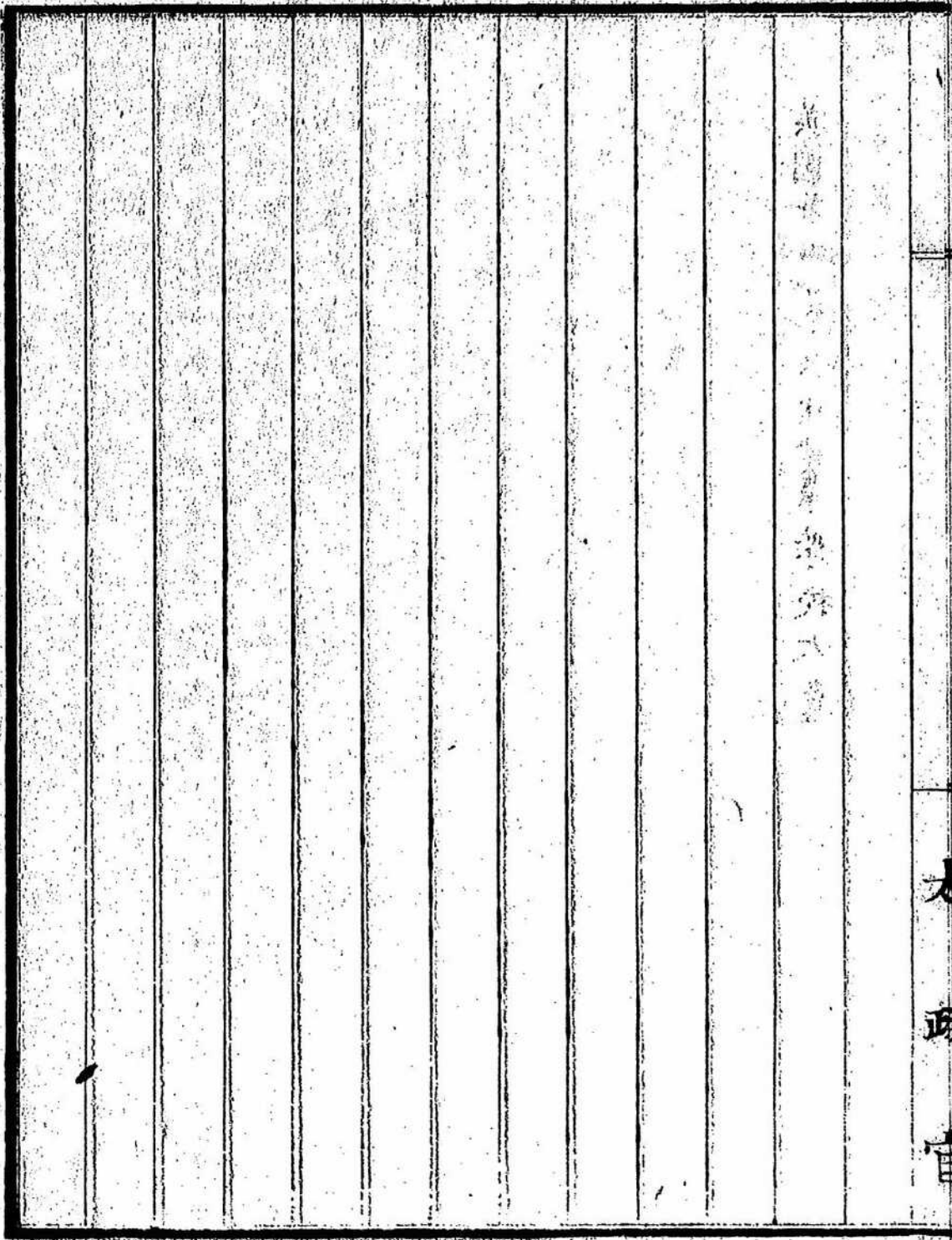
議定

一 華盛頓府勸農寮職制 一冊

一 同 事務章程 一冊

合五冊

英園



英國「カレシリストル」地名農學校ノ大意 舟木真譯

一當校設立ノ趣意ハ本國及ニ屬地ニ居住セル所ノ地主并ニ執事等ノ農務ニ關係セル人々ヲ教諭スヘキ為メナリ

學校

一當校ハ都府ヲ離ル、凡一里半ナル「バソルス」地名君ノ園中ニ在テ「地名」ノ園圃ニ附屬セリ前面ハ南ニ向テ長サ百九十尺北「ウ井ルトシル」地名ニ面ス其建設ハ禮拜堂、食堂、書庫、博覽場、教場、作工場、生徒室、私習所、奴僕所アリテ上階ニハ學師ノ居室ト臥室連ナレリ屋内ニハ悉ク氣燈ヲ照シ且温ヲ保テ風ヲ通スル良法ヲ備フ生徒ノ寢室ハ各別ニシテ私習ハ各其伍ヲ分ツ

博覽場

一當校ニハ地質學ノ見本類ト礦物類ト博物學ノ品類
トヲ聚蓄セリ其中ニハ「ガイ」君ノ獻品許多アリ又解
體病論ノ兩學ニ利益アルヘキ物品ト馬羊ノ如キ動物
類ノ年數ヲ詳明スヘキ為ニ模型蓄トヲ備ヘ并ニ方今
「ソ」及「エド」君ノ嫡子兩氏ヨリ千八百六
十二年ノ内國博覽會ニ出セル所ノ經濟ノ植物學ニ屬
セル博覽品ノ進呈物數多ヲ整置ス右ノ中ニハ農家ノ
用フル異様ノ穀類ト并ニ草木各種ノ見本種子アリ又
耕耘セル種々ナル根類ノ蠟製模形アリ○當校ノ前ノ
博物學師ニシテ英國ノ博覽館掛リタリニ近時ノ鑿師
「ウィ」ト「ワ」トノ聚積シタル所ノ本國產ノ州木凡三千
種ノ貯藏品ハ當博覽場ニ備ヘ置ケリ

管理

一當校ニ於テ確定セル所ノ都テノ所置ハ校中ノ各局
ノ管理レ且諸事ニツキ民委官ト其長官トヨリノ責ニ
應スヘキ所ノ校頭ニ委託スル校頭ハ入學生徒ノ宗法
ノ教諭ト禮式ノ訓誨トニ注意シ并ニ當校ノ規則ニ隨
ヒ順序ヲ歷テ通學セル所ノ外來生徒ノ行跡ト職業ト
ノ監督ヲ司ル

農事

一耕植ノ教授ハ講義ト園中ニ在テ日々現業セル輩ト
ニテ為セリ○農業教諭ノ次序ハ唯氣候ノ異ナル各地
ヲ畊耘セルトト獸類ヲ畜育シテ蕃殖セシムルトト器
械作用ノ定法等ニツキ文學ノ談論ヲ為スノミニ非ス
又「ソ」ウ「ワ」ド田圃ノ耕植ヲ明亮ニ説キ論スナリソ
レハ園中ノ住民ノ整ヘタルモノニテ生徒ノ到ル妨ケ

ナシ ○生徒ニハ圃中ノ事業ヲ各悉ク日誌ニ記シシメ
其事ヲ以テ十分ニ會得レシムルヲ要ス

田圃

一田圃ハ五百エイクルニシテ内四百五十エイクルヲ
畊地トス其上ニハ洪ナル大理石ト小粒石灰石ト雜錯
セリ故ニ多クハ脆シ ○生徒ノ注意ニ便利ナル所ノ「サ
レンシストル」ノ動物市場ニテハ方今英國西部ノ至良
ノ畜類ヲ望觀スヘシ就中羊ハ數多シテ其質上等ニ
位セリ諸品ハ糶賣シテ外客ヲ集メ覽ヲ励マシテ公ケ
ナル市場トセル「其法式ノ最良ト成効ヲ見ルニ足
レリ」○左ニ追加シテ賣却セル牛羊ノ増負ヲ示ス

糶賣セシ羊ノ頭數	千八百六十一年	同 二年	同 三年	同 四年	同 五年ノ 九ヶ月分
	一万七千七百 五十一	一万七千 七百	二万五千八百 七十一	二万六千九百 六十七	二万七千 九十一

同断有角牛ノ頭數	五百七十四	七百	八百九十五	九百〇八	千〇二十七
同断ニテ得タル金高	三万三千七百 二十六ポント	四万九千七百 十九ポント	七万〇八百 三十九ポント	七万四千二百 七十三ポント	六万六千九百 四十ポント
右ノ平均シテ月割	ニナセハ左ノ通り				

月毎ニ賣却シタル羊ノ頭數	千八百六十年	同 二年	同 三年	同 四年	同 五年
	九百八十	千四百七十五	二千五百五十六	二千二百零七	二千三百十
同断牛ノ頭數	四十八	五十八	七十五	七十五	百十四
同断 金 高	二千八百十 ポント	四千四百十三 ポント	五千九百〇三 ポント	六千八百八十九 ポント	七千四百三十七 ポント

六百六十四年
ノ牛數前文
ト不合五六恐
ラクハ六カ原
書ニ依テ疑ノ
存ス

○「サレンシストル」ノ農會社ニ於テ農事ノ講義論說ハ
當校ノ生徒ノ夕メニ要務ナリト新夕ニ確定ナセリ此
事ニツキ經驗ト良憲トハ偶然ノ異變起ル時ニ當リ農
家ノ夕メニ補助誘導ヲ供スルモノナレハソレニ應ス
ル至良ノ標準ヲ設ケ右ノ如キ社中ノ有益ニ注カン
ト
ノ進歩ノ農事新報ニ掲ケタリ之ニ依テ當地ニ於テ「エド

モング代ハ曾ノ聞レ如ク獸類畜養ノ至善ノ講義ヲナ
レ農學校ノ教師ヲイトソシハノールンボルランド_{石地}
ノ蔬菜耕耘法ノ教誨ヲ與ヘ「エルゼル」_氏ハ「コツツ
フルド」_人ノ收セル「リシコルン」_羊ノ「ヲ」_ヲ悉ク辨明シ夕
ル「ヲ」以テ「サレンシストル」_{會社}ノ夕ノ「引説」ヲ為セ
リ

試験圖

一三十一、_イ「ツル」ヲ試験ノ田圃トシ其精密ナル記録ト
勸植兩產物ノ重量式ト「ヨリ」生徒ヲ「レ」田圃作業ノ
緊要ナル講説ヲ大抵熟知セシムヘキ様設置ナレリ○
圃中ニ於テ試験セシ結果ノ記録ハ學術并ニ作業ト号
シ千八百六十五年ニ_成ノタル所ノ當校ノ日誌中ニ刊
掲セリ其書ハ二冊ニシテ世ニ流布セリ

現業

一生徒ノ請ニ應レ或ハ牛或ハ羊或ハ豚ヲ授ケ各負ニ
現業ヲ分賦シテ働作セシメ其業ノ勝ル者ニハ耕鋤及
「羊毛」ヲ剪取スル者ノ如クニ褒賞ヲ與フ

究理并ニ機械學

一此兩學ノ教諭ハ校頭之ヲ授ク

分析學并ニ分析手ユ

一能ク整ヘタル工場ヲ以テ分析製法并ニ解剖ノ場ニ
供シ而テ化學ノ博士ト其輔官ノ指示セル所ノ各級ノ
生徒ニ教授ス○大抵尋常品ノ性質ヲ會得セル所ノ生
徒ニハ農家ノ直々ニ關係スヘキ所ノ品類ノ單質ヨリ
レテ復質ニ進ミ肥糞土類植物灰田産等ノ分析ナルハ
「學術」ヲ教授了解ナサシムルナリ○右教訓ノ外ニ無

機有機畔作ノ分析學ヲ式ニ隨テ講說問答シテ教授ナ
セリ製作ノ肥糞油糟水類並ノ如キハ當校工場ニ於テ
日々ニ分析セリ并ニ上達セル生徒等ハ直ニ「ナヨル」
氏及ヒ助官ノ指令ノ受ケ農事分析ヲ精密ニナサン
ヲ企タリ

博物學

一冬月間ノ講義ハ地質學ナリ又異ナル地質ヲ見得ラ
ルハキ所ノ「シリユリエン」地名ヨリ「チャー」地名ノ近傍迄
ヲ徘徊ナサシム○夏月ノ講義ニハ本草學ノ組織質法
式ノ道理ヲ述ヘ且生徒等ヲシテ實務ニ從事シ分析セ
シ所ノ植物ノ說ヲ以テ各自ニ書記セシム其講義ハ多
クノ圖画并ニ見本類ヲ聚輯シ置キ詳明ニナセリ現業
ノ為ニ用フル物品ハ大ニ國內ノ植物ヲ集メ培養セル

所ノ本草園ヨリ之ヲ供ス

獸醫外科術

一此課ノ教授ハ當學校ニ付屬セル病院ノ餘ニ述ル如
ク解剖學ト病學ト鑿學トニシテ務メテ有用ナル業ヲ
教諭ナサンカ為メ生徒ヲシテ特別ニ死體検査ノ處措
ヲ許シ其始末ヲ明亮ニ書記セシムルヲ要セリ

數學并ニ測量

一此課ニ於テハ測量術ト掌簿法トヲ教授シ數學ノ目
途トシテ測量ヲナス「ト」ノ兼ヌコレハ時ヲ定メテ屢
ヲ「ドライ」ト土地ノ高低及「酒精準等ノ如キ器械ヲ用
ヒ田野ヲ測量シ土地ヲ平坦ニナスヘキ實業ニ從事セ
シムルヲ

建築并ニ器械ノ圖ヲ曳ク事

一 民委官長ノ関カレル南ケンセントン^{地名}ニ在ル文學
手藝局ヨリ証書ヲ得タル所ノ學師是等ヲ教授セリ

匠人并ニ鍛冶職

一 此職業ヲ好メル生徒ニハ田圃ノ建築ニ付屬セル所
ノ立場ニ於テ教授セリ

入校免許

一 入學生徒ヲ許スヘキ者ハ年齒十六歳ニシテ必ス過
チナク校頭ヨリ供スヘキ所ノ英語ヲ聞書ニ且ソ算術
ノ數例ヲ為シ遂クヘキ學業アラサルヲ得ス○外来生
徒ハ講義ヲ聽聞シ且ツ學則ノ如ク教諭ヲ受ルヲ許
ス但シ官負モシ生徒當校ノ規則ニ違背シ不良ノ所業
アルヲ知ル時ハ其謝金ヲ以テ過料トナシ直ニ之ヲ
官ニ収了スヘシ又或時ハ例外ノヲアリト雖モ外来生

徒ノ年齒ハ二十一歳ナラサルヲ得ス

休課

一 毎年兩次ニ於テ四月十九日ツ、ノ休課アリ夏ノ休日
ハ六月十八日ニ始メ冬ノ休日ハ十二月十八日ニ始マ
レリ

入費

一 毎年半年分ツ、前金ニ納ムヘキ入費

入學生徒百廿五ポンド 外来生徒五十ポンド

生徒ノ為メニ設ケタル所ノ僅ノ私室ハ校内ニ在リ此
室ヲ要スル生徒ニハ二十五ポンドノ増費ヲ納メシム

○書籍ヲ省キ自余ノ入費ハソノ中ヨリ之ヲ辨ス○内
外生徒當校ヲ退カント欲スル時ハ年ノ四次ノ達シ日
ニ其趣ヲ必ス校頭ニ關申セサルヲ得ス其謝金ハ即テ

四ノ一ノ割タルハレ右四次ノ定日ハ一月六月四月六
 日七月六日十月六日ナリ○「ラクス」名地「ブルド」名地ニ於テ
 検査ノ第一等証書ヲ所持スル或ハ「カムブリジ」ニ於
 テ検査ノ中等証書ヲ所持シテ當校ノ免許証書ヲ得
 ン「」ヲ欲スル所ノ総生徒ノシテ年毎ニ四次競争セシ
 メ其上等ナル者六名ハ四十ポンド「」ツ、ノ褒賞ヲ與フ
 ○検査ノ席ヲ設クル毎ニ各級ノ第一番トナレル生徒
 ニ八十ポンド「」ツ、同第二番トナレル者ニハ五ポンド
 ツ、ノ褒賞ヲ給スモシ毎年兩次ノ検査ニシテ其級三
 等ナル所ハ二十ポンド「」ツ、賞ヲ受ル者三名ト十ポ
 ンド「」ツ、ノ賞ヲ受ル者三名ナリ三ヶ月分ノ入費ヲ納メ
 テ入學セシ生徒ハ右ノ競争ヲ許スト雖モ凡五歩以上
 學業進歩ノ徴ヲ得サレハ其褒賞ヲ受ル能ハス○「耶換

生田毎ニ「」描草「」同賞「」唱「」モノヲ映フ又免
 許証書ヲ得ント欲シテ奨励セラル所ノ生徒ニアラサレ
 ハ其検査ヲ乞フ能ハス○金錢ハ悉ク倫敦ノ「バルネ」
 「社中」タル「」レニストル「」ノ「」ト「」ト「」ト銀行ニ納
 ムヘシ

免許証書

一當校ノ社友トナリ昇級シテ得ヘキ所ノ免許証書ハ
 農事ト掌簿法ト分析學ト其學術試験ノ為ニ選與シタ
 ル問題トノ検査ヲ十分ニ成シ得タル所ノ者ハニケ年
 目ノ末ニ於テ之ヲ得ラル、ナリ○版紙ノ試験外ニ圖
 中ト工場トニ於テ或ル時間中現業ノ検査アリ數學檢
 査ノ時ハ器并ニ器械類ヲ以テ測量マシム○第三ノ問
 題ニ鑿外科術トル所ハ其免許ヲ願フ者ニ動物ノ構成

ト疾病ト治療トノ實務ノ學術ヲナサシムルヲ要ス若
 一第ニノ問題博物學尙ノ三課ノ一ツナルトハ博物學
 ノ要譽ノ関セル所ノ物事ヲ検査シ若シ植物學ナレハ
 英國産ノ草常ノ草木ト耕植スヘキ種子トノ實務ノ學術
 ヲ試シ若シ地質學ナレハ紀年毎ノ固有ノ化石類ニテ
 検査スヘシ○一級ヨリ三級迄ノ間ノ検査毎ニ其問題
 ノ半分ヲ成シ遂ニ事能ハスシ全題三分ノ二ヲナシ得
 ル所ノ者ハ免許証ヲ受クヘキ望人トナルヲ許サス
 ○問題ノ答ヲ過クタル生徒ノ再次検査ハ其次席ノ檢
 査ノ時ニテラサレハ許サレハレ初席ノ旨趣ハ農事
 耕植必百号測量三百号無機分析學六百号組成植物學
 三百号地質學三百号解剖并ニ動植學三百号掌簿法三
 百号雛形ヲ画ク百号第二席ノ旨趣ハ農事収六百号

法式及ビ經濟學三百号地質學三百号解剖并動植學三
 百号掌簿法三百号器械ヲ画ク一三百号第三席ノ旨趣
 ハ農事野六百号器械學三百号農事分析學六百号病學
 ノ原回并ニ健康學三百号掌簿法三百号画ク一三百号○
 此式ニ依テ農事ト分析學トノ為メニ選ビタル或ル一
 題トノ試験ノ精密ナル廣キ知覺ニ加フルニ種々ナル
 學術ノ基本ヲ善ク會得セシムル事ヲ要セリ○若シ農
 事ヲ勉強ナサバハ欣或ハ官負ノ欲セサル舉動ヲナセ
 ン所ノ生徒ニハ免許証書及ヒ他ノ証書ニ與ヘラレサ
 ルナリ○會友ノ名録ハ小引ノ中ニ掲ケリ又一席及ヒ
 半歳ノ目的トナレル検査問題ヲ列シタル所ノ原稿ノ
 附屬セリ此問題ハ検査ヲ受ケタル所ノ生徒ノ眼前ニ
 意ヲ注キタル講義ト現業教諭トヨリ輯メタルニヨリ

其生徒ヲシノ當校ニテ教授シタル各款ヲ十分ニ算フ
ル事ヲ得セシム○下条ニ二年間ノ教義ノ順序ト各課
ノ教義綱領ト校中ニテ以テル要畧トヲ縷述ス
教義ノ順序

第一席

一級 農事(土地肥糞器械) 分析學(無機) 測量 掌簿
法 地質并ニ本草學 解剖并ニ動植學 圖ヲ曳ク事
(雜形)

第二席

二級 農事(收納) 分析學(有機) 測量スル事 地質并
ニ本草學 解剖并ニ動植學 圖ヲ曳ク事(器械) 掌簿
法

第三席

三級 農事(貯藏并ニ作業) 分析學(農事) 器械學 地
質并ニ本草學 鑿學 圖ヲ曳ク事(模圖) 掌簿法

第一席

第一 土ノ原由ト分賦ト性質并ニ水質ヲ作り或ハ二
層目ノ土ヲ起及ニ或ハ溝渠ヲ設ケ或ハ粘土乃至石灰
乃至糞土乃至白堊乃至肥類ヲ用テ土地ノ良正ニスル
ト并ニ通常ノ耕耘

第二 莊園地 水肥 雜糞 海品肥ノ所置ト適用并
ニ青植物ヲ肥ニ用テルト并ニ人巧肥異人搬運法及

ニ適用

第三 犁類及ニ其使用并ニ馬鋤類及ニ其他ノ耕耘器
械并ニ播種及ニ肥糞并ニ器械并ニ枯草器械并ニ刈收

又、車、杖、器械、并、穀物、ノ、シ、器械、并、穀倉、器械、并、
運送、車、并、穀、切、兼、着、切、穀、剝、器械、并、獸類、畜養、器械、并、
使用、掃、ノ、器械

第一、席

第一、作物、并、各種、ノ、土地、ニ、適當、ナル、作物、ノ、順、當、并、
ニ、無、作、ノ、休、田、并、飼、料、ノ、根、類、又、穀、類、等、ノ、所、置、并、ニ、諸、
物、ノ、成、育、ニ、應、ズ、ル、至、良、ノ、土、地、并、ニ、土、地、搭、ハ、方、并、ニ、播、
種、ノ、季節、及、ニ、方、法、并、ニ、肥、類、ノ、種、類、及、ニ、分、量、并、ニ、種、子、
并、ニ、刈、取、後、ノ、事、并、ニ、收、獲、又、ニ、事、并、ニ、市場、ノ、費用、及、ニ、
豫、備、并、ニ、産、物、ノ、價、直、并、ニ、所、産、ノ、大、概

第二、草ニ蔽ハルル地面并ニ開墾ノナルハキ牧場

第一、濃葉、馬、并、ニ、其、種、類、并、ニ、其、諸、般、ノ、所、置、并、ニ、畜、養

之、ル、ノ、并、ニ、要、ス、ル、所、ノ、頭、數、并、ニ、給、養、ノ、雜、費、并、ニ、入、用、
ナル、元、金

第二、羊、并、ニ、其、種、類、并、ニ、群、牝、羊、ノ、所、置、并、ニ、羊、仔、復、月、
ノ、所、置、并、ニ、冬、用、畜、養、ノ、并、ニ、舍、飼、ノ、并、ニ、飼、品、ノ、増、
方、并、ニ、毛、ノ、并、ニ、薬、水、ニ、浸、ス、下、及、ニ、膏、薬、ヲ、貼、ス、ル、
并、ニ、正、シ、ク、ル、每、ニ、飼、ニ、保、タ、ル、ハ、キ、頭、數

第三、牛、ノ、并、ニ、動物、門、ノ、定、説、并、ニ、短、角、種、并、ニ、其、他、
ノ、英、牛、種、并、ニ、犢、ヲ、鞠、育、ス、ル、并、ニ、若、牛、冬、夏、ノ、所、置、并、
ニ、肥、大、ノ、撈、取、并、ニ、飼、料、ノ、増、方、并、ニ、製、乳、所、ノ、所、置、并、
牛、酪、及、ニ、乾、酪、製、方、并、ニ、實、業

第四、豚、類、并、ニ、牝、豚、ノ、所、置、并、ニ、飼、置、事、并、ニ、肥、大、ナ、
シ、ム、ル、并、ニ、肉、ノ、塩、漬、ニ、ス、ル、事

第五、田、園、ノ、建、家、并、ニ、其、光、景、并、ニ、村、落、ノ、離、家、并、ニ、諸

般ノ雛形及ヒ廣狹并ニ造営及ヒ入費

第六 塙柵類

第七 元金

第八 地價

第九 田圃ヲ始メ及ヒ廢スル事并ニ地面ヲ貸シ及ヒ

約定スル事

第十 作業并ニ日課作業

第十一 蒸氣器械ノ耕耘 田野現業輩ノ第一席第二

席第三席ノ事 現業輩ニハ復月中ハ六時三十分ヨリ

七時四十五分迄冬月中ハ六時四十五分ヨリ七時四十

五分迄作業セシム其教諭ハ現業輩ノ圃中ニ働作セル

時ノ監督ハ器械ノ検査ト動物ノ重量ト肥瘦セル畜産

ノ價ヲ論シ且ツ夫ヲ計算スル事等ヲ授ク

第四席

一 田野現業輩ハ石ノ外ニ遊歩ノ為メ近隣ノ田圃ヲ往

細セシム○現業ハ當授ノ圃中ニ於テ十分廿二ムハ

キ機會ヲ交付ス○又農事監督欲ハ牧羊官并ニ其助官

欲或ハ養豚家欲乃至試驗書記官等ノ缺員セハ時ハ試

驗圃中ニ於テ各自ニ望メハ生徒ノ定リタル職ヲ農事

ノ教頭ヨリ授ルナリ○要畧書ノ價少井ルソシ英國農

業十二シルツシグ少井ルソシ田圃収獲十三シルツシ

グ少井ルソシ作業并簿ニシルツシグモルソシ君農曆十

五シルツシグ少井ルソシ地租耕耘十シルツシグ六パ

シス

新學

第一席

無機分析學 分析學ノ旨趣并ニカ及ニ物并ニカノ
 關係并ニ物ノ性質并ニ元素并ニ極微分子ノ重量并ニ
 緻密并ニ分析親和力并ニ結合カ并ニ水素酸素并ニ水
 質及ニ其生シ方用ニ方形勢蒸散并ニ窒素大氣アン
 モエク及ニ其根原及ニ用方ノ緊要并ニ酸化窒素并ニ
 硝酸及ニ硝酸ノ草木ニ肝要ナル事并ニ硫黄及ニ其雜
 合并ニ硫酸及ニ其製造及ニ用ニ并ニ磷及ニ磷酸ハ農
 業ニ大切ナル事并ニ炭素金剛石「グレフ」ハ「木炭復
 質酸」化炭素及ニ動植生活ノ比較并ニシリコ基并ニ燐
 石炭水晶砂肉色石其他「銜」塩類并ニ「コロリ」白燐石塩基「プロ」
 「リン」グアイクド「サ」以上ハ元并ニ「晒粉」
 ①金屬 ツ「ボ」サ「ヲ」ム及ニ「ホ」ツ「シ」ヲム并ニ新夕ニ
 見出シタル「アルカリ」リ金屬并ニ銀及ニ其本原及ニ

性質并ニ銅及ニ其鑛物及ニ製造并ニ鉛及ニ其雜合及
 ニ其搜出并ニ「カリ」ヲムハ「リ」ヲムス「ト」四「シ」ヲムハ「鑛」以上
 并ニ燒石灰及ニ其用ニ并ニ石灰石及ニ大理石并ニ「礬」
 石及ニ「アン」チモニリ及其雜合及ニ其着出并ニ金及ニ
 白金及ニ其出現及ニ并ニ「變」雜物

分析學

第二席

一有機分析學 此學科ノ旨趣并ニ動植ニ物ヨリ直チ
 ニ生シタル飲食ハ直チ「サ」ラサル有機混合物并ニ有機
 混合物ノ人工製造并ニ有機体ト其雜合トノ分析并ニ
 同比例價并ニ不同比例價并ニ異質同和量并ニ有機体
 ノ經驗正理書式ノ主意并ニ有機体ノ解剖○蒸溜赤酒
 及ニ其本原トナル物并ニ精氣ノ「香」アル混合物并ニ

哥羅方水并ニ蠟酸并ニ洋靛質并ニ酸模酸并ニ醋酸及
 其製造并ニ酒精及ニ發酵ノ模様并ニ精氣并ニ油質
 并ニ油脂ノ木質并ニ石鹼及ニ蠟燭ノ製造○澱紛及ニ
 砂糖其他アミロイヅ炭水ニ素ナリナグリユマイヅ
 砂糖ノ類并ニ砂糖製造并ニ酒石酸安息香酸乳酸佛
 手柑酸林檎酸○肉ニナル物則チ蛋白質及ニ其同質
 物○純精油類及ニ樹脂并ニ漆類并ニ含炭水素并ニ石
 腦油及ニ山毛櫸油并ニ毒犬葉塩基、織尼涅塩基、植物塩
 基并ニアニリン炭水酸タル塩基及ニ石炭油画具并
 尿質物尿酸及ニ唾涎鼻液類ノ分析學

分析學

第三席

一農業分析學 農事ト分析學トノ離ルヘカラサル

史并ニ植物ニ滋養トナル物并ニ土ノ原因及ニ性質并
 ニ分析ニテ土地ヲ良正ニスルヲ并ニ土類分析并ニ植
 物ト土トノ關係并ニ各種收納品ノ作法并ニ草木ノ成
 育セル分析ノ變更并ニ作物ヲ噴番ニナス事并ニ別格
 及ニ尋常肥糞類并ニ莊園肥ノ製法并ニ鳥糞ト過燐酸
 塩トノ性質及ニ分析并ニ其他肥糞類ノヲ并ニ動物ヲ
 畜養スルヲ并ニ食品ノ成分并ニ食物ノ製作増減并ニ
 食品經濟

現業分析學

第一席

一分析手工并ニ水類ト土類ト食類ト過燐酸塩ト其他
 ノ肥類トカス類ノ通常ノ適用ト尋常ノ酸類トヲ現ニ
 試験スル事

第二席

一 金屬及ヒ酸類ノ本質ヲ論シ分析試驗スル事

第三席

一 土類肥類及田産ノ本質ヲ論スル分析
 ○農事ノ模範
 = 依リ総教諭ノ基礎タル純粹ノ分析學術ノ原由ヲ説明ナカシカ爲メ工場科目及ヒ試験講義ニ拘ハレル所ノ作業ハ常ニ勉勵シテ怠ルナシ
 ○要畧書ノ價ハチ
 ヌルチノ工場手引五シルリング「六ペン」スコース
 ノ分析學四シルリング「六ペン」スコース
 フラ「一」ネス「ノ」分析學
 十四シルリング「六ペン」スコース
 「ア」ンデルソ「ン」ノ農業分析學
 六シルリング「六ペン」スコース
 成熟如何十シルリング「六ペン」

數學并ニ測量

第一席

一度量 數學及ヒ點竈初步并ニ耕耘セル各種ノ地面
 各種ノ植物ノ生シタル土地トク器械ニテ測量ニ及
 ヒ板石工硝子嵌工画工ノ如キ工匠ノ課業ヲ計算スル
 事并ニ水櫃溝渠井戸積肥辟及ヒ道路ノ土石等ヲ量リ
 并ニ水竇糸堆稿推家畜木材ヲ算スル事
 ○對數此例式
 俸給等ニ屬セル問題并ニ地貸再設手數料并ニ交換現
 價等

掌簿法

第二席

一 測量ノ總部ヲ悉ク測量スル事 鏈及ヒ十字杖ヲ
 用ヒ原野ヲ量リ并ニ測量器械ニテ高抵遠近ヲ知リ并
 ニ土地ヲ平坦ニナス事ヲ習練ス

第三卷

器械學 物品類ノ重量ヲ計算ナス方法并ニ特別ノ
ム事ヲナセ凡時ノ器械類ノ業ヲナセル作用上ノ單位
數并ニ物ノ勢カ并ニ蒸氣器械并ニ唧筒并ニ水車并水
力機及ヒ起水機并器械カ并ニ摩打機○農業器械ニ關係
セリト思考スルハ時ノ動物カ學ノ部ニ屬セル雜中カ
ク類并ニ積聚動作○掌簿法○要畧ノ價「ホス」トノ
求請及ヒ測量云々ルリシ「グ」トウナシ「ズ」ノ器械學ナ
二五九リシ「グ」巡街官掌簿法

博物誌

第一 本草學四月ヨリ六月マテ

一諸般ノ草本組織樹膠學及ヒ動植物學并ニ草木ノ内部
造法并ニ小孔及ヒ網膜并ニ葉綠「液」影「護」護「砂」糖「結」晶品

類等 植物ノ根莖幹葉等ノ外部ノ組成及ヒ顯表○動
植二物ノ小孔及ヒ網膜學○植物体内ノ液及ヒ「カ」
「運」行○植物カ析學○植物ノ養物及ヒ呼吸○植物ニ
光素溫素電氣等ノ感スル事○植物ノ更生及ヒ事○顯
花類及ヒ雜種異種ノ豊肥ニ及ヒ分殖及ヒ事
第二 八月ヨリ十月マテ

一植物ノ特別ナル組織樹膠學及ヒ分枝○無花ノ植物
蕨藻海草苔蘚類○葡花植物一種子苞二種子苞ノ性質
大別○農業及ヒ經濟ニ緊要ナル植物ノ自然品階○地
理學ニツキ穀類等ノ分賦

理業輩ノ事

一此生徒ニハ博士ハシ「ズ」口「リ」ノ著セル目錄ニ應ヒ植
物ノ検査ニ及ヒ書記スル「ト」ノ教授ス并ニ一週日毎ニ

州郡ヲ徘徊セシメテ野花類ヲ了解セシムルヲ勉ム
○周旋セル書類ノ價「アリール」ノ本草學初歩四シル
リング「六ペンス」ノ英鳥生徒花譜十シルリン
ク「六ペンス」

地質學 十月ヨリ十二月迄并ニ二月ヨリ四月
迄

一岩類ノ分類并ニ岩ニ含有セル所ノ至極緊要ナル金
屬并ニ岩面ニ露レタル組成并ニ地層ノ形狀并ニ岩ノ
裂ケ口及ニ接合及ニ假偽ノ重層及ニ薄片及ニ結晶質
○及對傾斜、及對下向傾斜瑕缺ナル稱アル所ノ錯乱セ
ル岩層并ニ露出岩及ニ地層ノ不平行并ニ大地ノ過去
現在ノ高低証拠并ニ水ト大氣トノ業ニ依テ岩類ヲ壓
下スルコト并ニ土ノ造成○層成セル岩類ノ順次及ニ

分類及ニ英國ノ地表ニ發露セル形勢及ニ其含有セル
有用ナル品物及ニ鑛物○第一紀年第二紀年第三紀年
ノ固有ノ化石○窮理地質兩學ニ拘ハレル所ノコト少
ク「ル」郡ノ地質組成○水源及ニ井泉論理○生徒ニハ
一周日毎ニ郡中ヲ徘徊セシメテ地質學ヲ會得セシム
ル「ル」要ス○吹舉セル書籍ノ價「ラムセイ」ノ地理學
及ニ大英國地質學四シルリング「六ペンス」ジュ
ノ地質學校手簿四シルリング

動物學

一動物ト植物トノ區別并ニ動物体ノ通常ノ組成及ニ
分拆本質○左ノ動物類ノ行狀及ニ性質、第一胎生獸
ノ順次則チ飛鼠類羽蟲ニテ育ツ獸類嚙獸類 *Quadrupeds*
Amphibians *Reptiles* *Birds* *Fishes* *Insects*

條似螺款 *Helicidae* 詳并ニ蕪ノ如キ海動物并ニ肉食獸

類

○ (エッセイ)

○ (エッセイ)

類水陸並住ノ獸類

○ スーゾ魚類

○

○

○

類ガステロポータ

○ タル牛貝類牡

蠕類等是ヲ伸縮スル者數頭一塊トナレル者

クツリリアポダ詳未 蠶尾虫類蟹類

シダ誅(其他通常内部ノ寄生者) ○ エチノデルマタ

○ アクチノゾア 晰并 海月類 ○ 顕微鏡蟲類

○ スポンジ

價動物學初教四シルソング六ペン

動物分類引六シルソング

獸醫外科術

第一席

一牛馬羊豚犬ノ解剖學

第二席

第三席

一馬ノ外部容貌并ニ純粹種類并ニ雜種獵馬戰馬鞍獸

壯馬小馬鞍獸 ○ 乳獸ノ外部容貌并ニ乳質ヲ示ス体部

ノ徴候并ニゲルロンノ法式并ニ乳質ニ依テ分泌ニ感

アル日并ニ生殖スル日并ニ獸ノ監定并ニ雜種并ニ子

獸ハ世襲スル疾病類等ハ則テ 體 骨ノ折斷 骨痛并

ニ踵ノ固結病馬脚焮衝 目氣管病石等ノ治療并ニ一

種類ヲ生殖セシムル不益ノ事及ニ生殖セシムルハキ正

シキ年齢并ニ砂胎并ニ墮胎并ニ首尾能胎妊セシムル

キ諸般ノ所置并ニ分娩并ニ自然及異常ノ現存并ニ其

取扱 ○ 若獸ノ所置并ニ乳ヲ離ス日并ニ畜養スル日并

ニ血病類豫防法并ニ獸類畜養并ニ馬ノ畜養并ニ風ヲ

通スル日并ニ水ノ日并ニ厩内ハ入ル事 ○ 動物ニ季

候ノ感得○屬地ニ於テ羊衰微セル原由并ニ羊毛ト羊ノ價ノ騰貴如何ノ事○要略書ノ價「マダブライツ」ノ馬綱目セレルリング「マポズルス」ノ動植物學十ニルリング「パンス」ニ「レイドン」ノ藥劑書十二ニルリング

農學校ノ生徒ノ遵奉スヘキ規則

- 第一 校中ノ生徒ハ拜殿中ニ於テ朝夕ノ神拜及テ諸禮ヲ務ムヘキ事○食事ニ當リ外出スルヲ勿レ○他出スヘキ暇ヲ得ルニ非レハ講義等級検査等ヲ悉ク務ムヘシ
- 第二 晚暮門戸ヲ鎖セルトキハ各校中ニ在ルヲ要ス
- 第三 若シ放頭タル者講義及テ注意ヲ為スヲ能ハス

シテ生徒閑暇ナルトキハ官ノ命令アルニ非サレハ何時ニテモ園中ニ至リ農事現業ニ帰スヘキナリ

第四 交付シタル所ノ田圃日誌及テ耕耘ニ関カレル書籍ノ如キハ各携持スヘキナリ

第五 生徒ノ徘徊スヘキ界限ハ唯當田圃中ノミナリ

○第一章ニ掲ケタル事務ニ關係セザル時間中界限外ニ到ント欲スル生徒ハ出行ヤル前門掌簿ニ各ノ姓名ト時刻トヲ書記シ帰宅ノ片モ同ク其時刻ヲ記載スヘキナリ

第六 校中ニ於テハ常ニ順序ヲ正シクシ靜穩ニ為ス可キナリ

第七 午後十一時ヨリハ各自席ニ在ルヲ要ス○氣燈ヲ消滅セル後ニハ火光ヲ用フルヲ許サス

第八 酒々精ノ如キ釀レタル飲料或ハ賭博牌子或ハ
火器類火藥等ノ如キ暴發品ヲ校中及ヒ園中ニ携ル者
ハ犯人トシテ放逐スヘシ

第九 生徒等ニハ犬類ヲ校中及ヒ園中ニ入ル、ヲ許
サス

第十 吸煙セル慣習ハ務メテ失心スヘシ○若シ公地
欣園中ノ建築欣又ハ通衢中ニ於テ吸煙スルハ罪科
ニ處スヘシ

第十一 生徒等ノ屢或ル客舎酒店街球所ニ到ルヲ禁
ス

第十二 窓戶家具及ヒ校中ノ或ル部ヲ損スル所ノ生
徒ニハ其修繕入費ヲ出サシムヘキヲ以テ本人ヨリ掌
門者ニ其趣ヲ通達スルヲ要ス

第十三 講義乃至其級ノ為メニ分付シタル時間中ニ
ハ遊戯類ヲ為スヘカラス

第十四 病ヲ以テ其業ノ一部ヲ免サレタル所ノ生徒
ハ准允ヲ得サレハ當校二十番地ノ外ニ出ル勿シ

第十五 關係セル局々ニ於テ上達セル所ノ生徒ニハ
各其教師ヨリ講義ニ服事セル趣ノ証書ヲ與フ此証書
ニハソノ上達セル旨ヲ記載サルヘシ

第十六 當校ニ施行セル趣旨ノ一ニテ選ニ請テ修業
セル所ノ外來生徒ハ各付屬セル講義及ヒ検査ヲ正シ
ク注意スヘキヲ要ス

英國獸醫學校生徒規則及法度

Vertical columns of text on the left page, likely containing regulations and rules for the veterinary school.

Vertical columns of text on the right page, continuing the regulations and rules.

Large vertical characters on the right edge of the right page, possibly indicating a page number or section.

英 獸醫學校生徒ノ規則及法度

舟木真譯

第一條

年々修學ノ期限ハ冬季夏期ト二期ニ分テ十月ヨリ算
日ス

冬季ハ十月一日ヨリ起業シ三月三十一日ニ終ル夏季
ハ五月一日ニ始メ六月三十日ニ終ル

普通教科及ニ講義ハ次ノ學課ヲ教ユルトス
馬其他家畜ノ並解剖比較解剖并病論

獸醫治療學

外科總論

生理學

寄生動物論

寄生動物病論

化學

本草學

藥劑學

毒藥論

治療總論

製菓論

醫院取扱方

外科手術

蹄鞋靴釘ノ道理并業前

第二條

入校ヲ希望スル生徒ハ先ツ入校試験ヲ受ケサルヘカ
ラス也

英吉利文典

聞書

算術 加減乗除

比例式

ノ課目ヲ書記シ又聲高ク讀述スルヲ以テ常例トス
此試験題ノ外次ノ學課ヲ願人ニ撰マセ一課又ハ二三
課ヲ試験ス可シ

英國歴史

地理學

萬物論

程數分數

小數分數

羅甸語

希臘語

佛語

日耳曼語

伊太利亞語

撰望セル學課ヲ試験シ之ヲ許可スルハ入校試験ヲ掌
理スル所ノ教師評議ノ權タル可シ

試験ノ謝金ハ一ギニトス 英國金錢ノ名我 凡五圓許ニ當ル試験ニ於

テ及第セシ願人ハ學校ノ簿帳ニ姓名年齢ヲ記載シ直
ト、學課ニ就ク可キ事

落第セシ願人ハ次期ノ講義順序起業ノ時ニ至ラサレ
ハ再試験ヲ受ケカタクモノトス但シ入校謝金ノ領取
セシ片ハ本人ニ返却ス可シ

第三條

試験謝金ノ外各自學業ヲ始ムル時ニ於テ入校謝金トシテ二十五ギニシテ出金スヘキ事此出金ヲ濟シ尚校中ノ規則法度ニ違背セサルヲ誓約セシ上ハ諸科ノ講義實驗解剖等悉ク出席スル氏自由タルヘシ而シテ獸醫外科學校ノ免状ヲ得ル為メ本校試驗ヲ受ケ全ク成業スルマテ實驗化學ノ外獸醫學諸科ノ教授ヲ受クヘキ道義アリトス

第四條

學生ハ各本校學規課程修業ノ間獸醫外科學校ヨリ任セラレタル試験掛集會ノ席ニ於テ二度ノ試験ヲ受ケヘキ事トス但シ

第一ノ試験ニ於テハ次ノ課目ヲ試業ス可シ

解剖學

組織學

化學

化學實驗

毒藥論

藥劑學

治療總論

本草學

第二ノ試験ニ於テハ次ノ課目トス

生理學

病論

病體解剖

獸醫治療學

外科總論

家畜疾病ノ徵候及治方

其他蹄鞋脫釘ノ道理并鑿業上ノ詳説ヲ試問スルトス

試驗期日ハ一年間ニ三度トシ四月七月十二月ニ於テ

催スヘシ

第五條

第一ノ試験ニ撰擧スヘキ學生ハ少クモ冬季一期夏季一期ノ課程ニ出席セシ者ニシテ解剖場規則ニ應シ諸
體ノ解剖ヲ實驗シ家畜解剖ヲ現業上ニ了識セシムル
為ノ學頭及解剖學博士ノ必要ト考定ヒシ數種ノ解剖
ヲ注意シテ修業シ尚各科ノ博士及教官ノ講義放導等
ニ正シク出席セシ者トス第一ノ試験ニ適當スヘキ課
程時限ヲ終リシ者アレハ博士ノ制定シタル方法ヲ以
テ先ツ博士ニテ下試験ヲナシ既ニ修業シタル諸科ノ
學術ヲ試問シ獸醫外科學校ノ試験掛集會ノ席ニ出試
驗ヲ受ケシムル為ノ充分ナル學識ニ熟達セシテ經驗
ニシテハ博士評議ノ上一通ノ証狀ヲ作り本人ノ教育
法適當ニシテ第一ノ試験ニ相當スヘキ旨表録シ學頭
ノ檢印ヲ受ケ之ヲ獸醫外科學校ノ書記官ニ送達スヘ

キ事

此證狀ナキ生徒ハ試験掛集會ニ於テ試験セサルト
ス尚此證狀ヲ請求スル者ハ各自教授サレタル各科ノ
博士連印ニシタル特別ノ証書ヲ受領セシ者ニテ修學課
程勉勵ノ確証アルニ非レハ學頭ヨリ証狀ノ送達ヲ差
止ムヘキ事

若シ外科醫學校ニ昇級セシ生徒カ又ハ製藥會社ノ
社中タル免許ヲ得シ者或ハ其他如何ナル學校ニテ
モ獸醫ノ學校ニ於テ完備セル教育順序卒業ノ者ニ
テ此獸醫外科學校ノ免狀ヲ請求スル者アレハ本校
ノ卒業本試験ニ關係シテ下試業ニ撰擧スルマテ當校
ニ於テ冬夏二期ノ間本校創立ノ講義順序ニ出席セ
シムルヲ要ス

第二ノ試験ニ擬舉スヘキ學生ハ第一ノ試験ニ於テ及第セシ者ニテ年齢廿歳以上ノ者トス但シ第一ノ試験及第ノ後引續テ學課ヲ檢究シ少クモ冬季一期ノ間

生理學

病論

臨床講義

實驗解剖

ノ課業ヲ欠席ナク勉勵セシ者トス

尚又醫業上ノ詳説及醫院取扱方ニ關係シ本校ノ規則

ニ服從セシ者ニテ足病ノ檢考蹄鞋ノ脫釘等ニ係リ才

能ノ証據ヲ顯シタル者トス而シテ尚第一ノ試験ノ如

ク再々下試験ヲ受ケサルヘカラス

此需要ニ應シ下試験ヲ受ケ全ク成業ノ者アレハ獸醫

外科學校ノ免狀ヲ得ル為メ本試験ニ薦舉シタル証狀

ヲ付與スル事トス但シ第一ノ下試験ノ及第ノ者ハ証

狀ヲ許可スル為メ制定サレタル前文ノ規則ニ照準スヘキ事

第六條

下試験ヲ受ケ落第セシ者アレハ各自仕損シタル學科ヲ詳細ニ表録シ學頭ヨリ公報ス可シ但シ再試験ニ擬舉スルマテ再々學課總順序ヲ教授サレサルヘカラス

第七條

獸醫外科學校ノ試験掛集會ノ席ニ於テ本試験ヲ受ク第一試験及第二ノ試験ニ於テ落第セシ生徒ニテ再試験ヲ希望スル者ハ落第セシ日ヨリ次ノ試験期日マテ學校普通ノ教科ハ勿論講義等ニ欠席スルヲナク勉勵セシムルヲ要ス而シテ尚再試験ノ時ニ於テモ第五條總則ニ照準シ博士ニ依テ再々下試験ヲ受ケシムヘキ

事

第八條

本試験ニ於テ三度落第セシ者又ハ本校試験掛集會ノ席ニテ本試験ヲ受ケ二度落第セシ者ハ示後通例ノ入校謝金ノ外尚十ギニ一ノ謝金ヲ出金スルニ非レハ各科ノ講義ハ勿論総テノ課業ニ出席スルヲ許サズ但シ謝金重納ノ上出席セシムルモ學頭ノ決定シタル一期限ノミトス

第九條

授業時間ハ午前第九時ヨリ午後第五時マテト定メ學頭ヨリ除免シタル休日ノ外日々無選滞出席スヘキ事生徒ノ出席ハ簿帳ニ照録シ尚之ヲ精密ニスルヲ各課授業ノ収尾ニ於テ生徒ノ姓名ヲ呼上ケヘキ事

生徒ハ揭示サレタル授業時間ニ先立テ講堂ニ出各自坐席ヲ定メ行跡ヲ正シ禮義ヲ盡スヘキ事

第十條

一學課ヲ勉勵シ他ノ課業ヲ怠惰スル者又ハ技術専門科ノミヲ勉メ日々ノ普通教科ニ出席セサル者ハ一ヶ月間欠席セシ者ト齊シク看做シ所置スヘキ事

第十一條

學頭ヨリ特別ノ許可ヲ得ルヲナク冬季又ハ夏季ノ間一ヶ月間續テ欠席スルカ又然ラズモ一ヶ月ノ時日ヲ休業セシ者ハ第一又ハ第二ノ試験課程ニ関係シ第五條規則ニ詳記シタル課程時限ノ外三ヶ月間普通教科及各種ノ講義ニ出席セシムヘキ事

第十二條

冬期二期ノ生徒或ハ二期以前ノ生徒ハ學頭ヨリ除免
ヲ得ルニ非サレハ臨床書吏及看病人トナリ順番ニ勤
務スヘキ事

臨床書吏ハ競争試験ニ由テ撰擧シ二名又ハ四五名ヲ
薦擧シ二週日間奉職セシメ追次交代セシムヘキ事
書吏ハ日々博士ノ醫院回診ニ同伴シテ諸様ノ病質ヲ
注目シ疾病ノ徵候治方及診察セシ情状ヲ檢考シ其要
件ヲ簿記スルヲ以テ專任トス并ニ看病人ト共ニ病畜
ニ雜糶ヲ給與シ其他醫院外科醫又ハ博士ノ指揮ヲ受
ケ然テ醫院必要ノ事務ヲ修理スヘキ事
學頭又ハ博士ハ二週日ノ終リニ於テ書吏ノ手記シテ
ル帳記簿ヲ檢査シ其可否得失ヲ標記スヘシ

第十三條

冬夏各期ノ開業ノ節競争試験ヲ為シ助教八名ヲ任ス
ヘキ事

助教ハ各科ノ博士及ニ教官ノ諸務ヲ輔佐シ校中ノ監
察ヲ掌理シ規則法度ニ背戾スル者ナカラシムルヲ任
トス
助教ノ列ヨリ解剖講義職ヲ撰擇スヘシサレハ解剖キ
術ハ証明者解剖實驗ノ指揮ニ隨從スルトス但シ証
明者ハ日々解剖場ニ出席シ解剖生徒ヲ誘導シテ現業
ヲ練習セシメ尚解剖場規則ニ背戾セサル様嚴密ニ注
檢スヘキ事

第十四條

諸科ノ課程卒業ノ上巽醫外科學校ノ免狀ヲ得シ生徒
ハ修業中ノ成績ヲ判斷標記シタル成績証狀ヲ受領ス

心算ト不尚谷自ノ教授サレタル各科ノ博士ヨリモ別
クノ証書ヲ領取スル欣或ハ各科ノ博士總負ノ連印セ
シト通ノ証書ヲ受領スルモノトス
則本校ニ於テ醫院外科醫ヲ補任スルコトアレハ此任官
ヲ競争スヘキ通義アリトス

防康書吏助教及解剖講義職ノ職務ヲ勤メ且者ニテ各
自ノ職掌ヲ錯ナク做シ遂ケレ者ハ奉職成功ノ証状ヲ
受領スヘキ通義アリトス然レモ博士ヨリ許典スル通
例ノ証状ノ外奉職成功ノ証書及ヒ功績判断表等ハ年
々十月中冬期間業ノ節分與スルモノトス

第十五條

諸科ノ課程卒業ノ者ニテ本試験ヲ受ケ全ク及第セサ
ル者ハ「コール」ノ「プレイヤー」ノ賞典ト稱スル賞典ヲ競争

スル事トスサレドモ及第セシ學等校員ノ者ハ免状ヲ
授與セシ後ニアラサレハ褒賞分配ノ裁断ハ決定サレ
サルコトス但シ「コール」ノ「プレイヤー」ノ賞典ハ第一ノ
褒美ヲ銀ノ賞牌功績ノ目標トス第二ノ青銅ノ賞牌
トス第三ハ功績ヲ稱讚スル階級ノ証状トス

第十六條

農業會社ノ郊村集會及「スミ」ツ「フイ」ル社會社ノ
例年集會ノ節検査官首長ニ從屬シテ諸務ヲ分掌セシ
タル為ノ獸醫検査司輔官二名ヲ年々撰舉スヘキ事
此職掌ヲ完フセシ者ハ其任ヲ做シ遂ケタル證状トシ
テ學頭及ヒ検査官ノ檢印シタル証状ヲ受領スル事ト
ス蓋シ第一ノ本試験ニ於テ及第セシ學士ニアラサレ
ハ如斯ナル者ト雖モ此官職ニ撰舉サレサル者トス

第十七條

病院ニ於テ博士ヲ輔佐スル為メ年々競争試験ヲ催シ獸
醫外科學校ノ免狀ヲ受ケタル生徒ノ列ヨリ病院外科
醫ヲ補任スヘシ但シ薦舉サレタル者ハ一ケ年ノ間其
官職ヲ奉勤スヘキ特權ヲ受ケ尚滿期ニ至リ學校總督
及學校會計司ノ連印ヒシ特別ノ証狀ヲ受領シ且些少
ノ酬金ヲ領取スル者トスサレトモ學頭及シ博士及シ博
士ノ引薦アルニ非サレハ總督ノ裁量ヲ以テ叨リニ証
狀酬金等ヲ授學スルコトアルヘカラス

學頭 シエスゴロ サイモンズ

英倫農業會社

准許狀

准許狀中規條

内則

議定

英倫農業會社准許狀

舟木 真譯

大不列顛及阿爾蘭合併王國ノ女王ピクトリアカ神
恩ニヨツテ此免狀ヲ附與スル各位ヲ恭賀スル所ナ
リ

第一條 千ヤールス ジウク、オス、リチモンド ジオ

ルジ、ヘヌリト ジウク、オス、グラフトン ジオン、ヘヌ

リー ジウク、オス、ロツトレンド ジオルジ、クレンビ

トル ジウク、オス、ソウツレンド アルソル、ブルンデ

ル ジオン、チャールス ロベルト、ヘヌリー、ソルフ

ランシス ソルトマス ソル、ゼームス ロベルト

ジアルジク、レーム、ヘヌリー、ヘンドレー、ジョセツ

プニールド及其他ノ同輩會盟同意シ本國一般ノ農事

ヲ進歩セシメ次ニ枚擧スル目的ヲ興隆ヤレト欲シ一

社ヲ建立セリ即チ

第二ニハ農學書ハ勿論其他ノ學術書ヲ研究シ實驗ヲ保証セシ者ニテ農夫ノ為メ須要ナル者アレハ其要件ヲ抄畧シ之ヲ聚成スヘキ事

第二 内外諸國ノ農業會社及園藝會社及他ノ學術會社ト通信應答ヲ為シ之ニ由テ多クノ告知ヲ得本社ノ意見ニ準シ耕耘上ニ就キ實ニ裨益ヲ誘導スヘキ報知ノ精撰シ採摘スヘキ事

第三 會社ノ請求ニ應シ前条ノ如キ報知ヲ現業ニ試驗シ其實効ヲ查究セント欲シ若シ損耗ヲ招受スルノアレハ其地主等ニ賠償ヲ供給スヘキ事

第四 農具ノ改正ニ注意セシメ尚農舍茅小屋ノ建造法及農業一般ノ趣向ニ就キ化學ノ使用法蔬菜培養ニ

損害アル昆虫ヲ滅却スル法及雜草拔除ノ方法等ニ注意シテ學士ヲ勸奨セシムヘキ事

第五 人間ノ為メ切要ナルカ或ハ家畜ノ食料ニ就キ須要ナル穀物其他蔬菜等ノ諸種新發明ヲ振興セシムヘキ事

第六 山林庄園圍籬ノ取扱其他總テ鄉村進歩ノ主意ニ關係シタル報知ヲ集成スヘキ事

第七 耕耘法ニ従事スル人々ヲ資給シ教育進歩ノ方法ヲ設クヘキ事

第八 牛羊豚ニ適用スヘキ獸醫技術ヲ進歩セシムヘキ方法ヲ採用スヘキ事

第九 郊村ニ於テ集會ヲ催シ褒賞ヲ分施スルカ或ハ他ノ方法ニ依テ庶民ヲ勸奨シ田園耕耘法ヲ始メ家畜

養育ノ方法等ヲ最善ナラシムヘキ事

第廿 農夫ノ安慰幸福ヲ振興シ庶民ヲ勸奨シテ農舎
園圃ノ取扱ヲ進歩セシムヘキ事

其他全國ノ為ノ忠節ナル主意ヲ勉勵セント欲シ快カ

同業シテ寄進金ヲ集メ巨大ノ金銀ヲ募リシ蓋シ政務

ニ關係シタル趣意ハ勿論上下兩議院ニ於テ決議サレ

サル方法等ニ關涉シタル談論等ハ一切除斥スルヲ以

テ本社ノ目的トナシ至要ノ主ノ齊備セシ上前條ノ

面々及此後記載スル方法ニ準シ撰舉ニ與カリ入社ス

ヘキ人々ニ會社ノ免狀ヲ附與スヘキ旨謹テ懇願シタ

リ

第二條 右懇求ニ由ラ余輩ハ國王ノ守護ト助カク受
ク本國一般ノ幸福ヲ進メ人民ノ繁榮ヲ興起セント欲

原案第十
二條

シ必ス成效ヲ遂クヘキ各種ノ目的ヲ勸奨シ大ニ興隆
スルアラント希望シ特別ノ恩惠ヲ以テ左ノ條件ヲ
許容セリ

チャーレス ジウク、オス、リチモンド ジオルシ、ヘヌ

リー ジウク、オス、ガラフトン ジョン、ヘヌリー ジ

ウク、オス、ロツトレンド ジオルジ、クレンビール ジ

ウク、オス、ソウゼルレンド アルソル、ブルンデル ジ

ジョン、チャーレス ロベルト、ヘヌリー ウル、フランシス

ソル、トーマス ソル、ゼームス ロベルト ヘヌリー、

ヘードレー及ジョセツプ、ニールド其他此會社ノ寄進

入ニシテ現今社中ノ者又ハ以後制定スル法度内則ニ

準シ示後何時ニテモ寄進者トナル者ハ此免狀ニ拠テ

英倫農業會社ノ名称ヲ有シ前文説示セシ目的ニ就キ

會盟シタル社中ニシテ示後永久相續スヘキ者ナリ蓋
シ右社中ノ者ハ各位自己ノ裁量ヲ以テ法度内則ヲ變
更シ之ヲ廢棄シ又再立スルノ全權ヲ有シ尚會社ノ名
稱ヲ以テ本國各所ノ裁訟局ニ訴訟シ又辨解ヲ呈シ或
ハ己レニ其責ヲ受クヘキ者トス尚又貨物家什等各物
ヲ私有シ又賣買スルノ權利ヲ有シ尚會館邸宅田地貸
家又ハ遺産ヲ獲得シ之ヲ私有シ使用スル等ノ特權ヲ
付與セリ蓋シ所有物ノ價直ハ買ヒ獲ヒ時ニ於テ各別
ニ取立タリシ最高ノ貸賃ヲ以テ算計シ前文會館ノ地
位ニ合算シテ一歳ノ収額三千磅ヲ超サバルモトス
而シテ前條ノ目的ニ就キ此會社ノ事務ヲ處置スルノ
權利ハ本國中余等ニ從屬スル他ノ會社等ハ適當ノ權
利ヲ受ケ各自ノ事務ヲ管理スル如ク百般ノ事務ヲ執

行スヘキ全權アリトス

第三條 前條ノ權利ヲ付與セシニヨツテ尚世上一般
ノ人民及ヒ會社等ニ布達シ此會社ノ使用ノ為メ邸宅
田地貸家又遺産ヲ賣買讓與スル等ノ特別ノ官許ヲ付
與セリ蓋シ前文說示セシ如ク年々ノ収額三千磅ニ超
サバルモトス

第四條 此准許狀ヲ英倫農業會社ニ允可スル上ハ右
會社ノ會議上又ハ行為上ニ於テモ政務ニ關係シタル
趣意ハ勿論上下兩議院ニ於テ決議サレサル方法等ニ
關涉シタル談議等ハ完ク除斥スルヲ以テ本社ノ律例
ノ主意トナスヘキ約條ニ依テ國民ノ為メ保護ヲ完全
ナラシムルハ余輩ノ十分希望スル所ナリ而シテ斯ノ
如ク會盟シタル會社ノ議定内則其他法例トナセシ者

ハ如何ナルハ辨虛托アルトモ決シテ背犯スヘカラザル
ルモノトス

第五條 本社寄進入社人ノ負數ハ不定トス去レ氏撰
舉ニ因テ出金ノ額數ヲ區別シ主宰及シ社友ノ二類ニ
分部シ各自特別ノ權利ヲ有ス尚本社諸様ノ目的ヲ興
起スル為メ要スル一アルハ有名社交通信社友及シ他
國社友ヲ入社セシムヘキ事有名通信等ノ注解ハ規條中ニ詳説ス

第六條 毎年三度宛主宰社友ノ大集會ヲ催シ其二度
ノ集會ハ五月十二月中龍動ニ於テ興行シ尚一度ハ英
倫、ソ、エ、ル、ス、中ニ於テ本社ノ目的ヲ進歩セシムル為
メ、別中取利ノ場所ヲ撰定シ便宜ノ時ニ於テ集會スル
トトス

龍動ニ於テ興行スル五月ノ大集會ハ廿二日ヲ定日ト

取本自々曜日ニ當ル氏ハ翌廿三日トス而シテ此會日

ニ於テ主宰及シ社友ハ總長及議負ヲ撰舉スヘキ全權ヲ
有ス蓋シ撰舉サレタル總長議負ハ續テ興行スル例年
郊村集會ノ終リニ至リ官職ニ任シ翌年ノ郊村集會マ
テ一ケ年ノ間各自ノ職掌ヲ奉スルモノナリ

辭職死去其他ノ所為ニ由リ上章ノ如キ官負缺位スル
ハハ残り各位ノ同職會議シ投票撰舉ヲ為シ其舉票取
多ノ者ヲ採テ亞職セシム

議負ノ同列ハ主宰ノ組ヨリ撰舉シタル總長一名受托
者十二名副總長十二名及主宰社友ヨリ差別ナク撰擢
シタル五十人ノ議負ノ組合スルモノナリ

總長ハ會社ノ年々撰定スル官負ニシテ一度奉職セシ
者ハ三年ノ間同職ニ再撰サレサルモノトス尚議負ノ

總員五十名ノ内其半数廿五名ハ年々順番ヲ以テ退職
スル下リス蓋シ再撰ニ與カル氏曾テ妨碍ナシ
第七條 五月ノ大集會ニ於テハ總長受托者副總長及
其他ノ議員ヲ主宰社友ノ列ヨリ撰舉スルトス
總長受托者副總長及議員ハ此免狀ノ全主趣ニ照準シ
内則ヲ收立スヘキ權利アル故ニ時々之ヲ制理ス而シ
テ自ら履行スル所此内則ニ由リ抑制ナル者トス蓋
シ確定シタル内則ヲ變更シ又新法ヲ制立スルニハ其
意旨ヲ詳記シ少クモ一ヶ月前ヨリ議員各名ニ報知ス
ルヲ常例トス尚又斯ノ如ク撰舉サレタル總長及議員
ハ會社ノ總代タル書記官一名ヲ任シ尚適宜ニ應シ職
職セシムルノ權カヲ有ス蓋シ此書記官ハ内則又ハ特
別ノ法度ニ由テ時々限制セシ如ク自ら擔當シタル諸

様ノ職務ヲ奉レ總長及議員ノ督責ヲ受クル者トス并
ニ又會社ノ為ノ本社ノ名目ヲ總務ヲ代辨シ條約ヲ管
理スル等悉ク此書記官ノ擔當スル所トス
第八條 チャーレス ジョウク、オフ、リチモントハ此農
業會社ノ窠初ノ總長ニシテ尚又ジョルジ、ヘヌリー
ジョン、ヘヌリー ジョルジ、クレンビール アルソル
ブルンデル ジョウ、チャーレス ロベルト、ヘヌリー
ソル、フランシス ソル、トーマス ツル、セームス ロベ
ルト ヘヌリー、ヘンドリー及ジョセツプ、ニールドト
共ニ窠初ノ議員同列ノモノトス其内三名或ハ四名ヲ
シテ窠初ニ會議セシメ當 三月廿五日前後十日ノ間ニ
受托者副總長議員主宰社友有名社友通信社友ヲ撰舉各別
ノ職務ニ任スヘキ全權ヲ委託スル者トス

第九條 總長及議負ハ本社ノ歳入財本ヲ特ニ管轄ス
 ヘキ單任ニシテ尚其他百般ノ事務技業ノ條件ニ至ル
 マテ悉皆之ヲ監督處置スヘキ者トス而シテ此英倫農
 業會社ノ目的意旨ヲ事實ニ施行スル為ノ必要ノ事業
 ハ總テ之ヲ執行スヘシ蓋シ准許狀ノ預約或ハ内則及
 本國一般ノ法律ニ照準セザル可カラズ
 第十條 右ノ証據トレテ此免狀ヲ官許トナシ當聖代
 ノ即位後第三年三月廿六日ツエストミンストル
 名地ノ
 宮殿ニ於テ余ハ姓名ヲ自記シ保證スル者ナリ
 千八百四十年第三月廿六日
 エドマウンズ印

英倫農業會社 准許狀中ノ規則

但此規條ハ如何ナル時ト雖モ更シ此規條廢棄スル能ハサル者トス

第一條 此會社ハ英倫農業會社ノ名稱ニヨリ會盟同
 社トシタル一社ニシテ社印ヲ有スルモノナリ

第二條 當社律例ノ主意ハ其會議上ニ於テモ又所業
 上ニ於テモ政務ニ關係シタル趣意ハ勿論上下兩院ニ
 於テ議定セサル方法ニ關係シタル談論等ハ完ク除斥
 スルヲ以テ此准許狀ノ約定トスヘシ而シテ斯ノ如ク
 會盟スル會社ノ決議内則其他法例トナセシモノハ如
 何ナルハ辨虛托アルモ決シテ背犯スヘカラザルモノ
 ナリ

第三條 記名入社人ノ負數ハ不定ニシテ其總負ヲ主
 宰及社交ノ二類ニ分部ス
今主宰ト譯スル職ニハ敢テ
 事務ヲ主管スル職ニハ敢テ

上等社友ト云フ如シ以下之ニ做フ如

第四條 當會社ハ有名社友優等ノ名士ニシテ薦擧ルモノ今假リニ通信社友往所遠隔シテ同社ト計ル音斯ノ如ク譯ス信ノミヨリ以テ事務ノ計ルモノ及他國社友外國人ニシテヲ撰擧シ入社セシムルノ推利アリトス

第五條 年々三度ノ大會議ヲ興行シ其二度ノ集會ハ五月ト十二月中龍動ニ於テ集會シ尚一度ハ英倫ウズル中ニ於テ本社ノ目的ノ興隆スル為メ州中最上ノ利益ト考定スヘキ場所ニ於テ集會スルトス
龍動ニ於ル大會議ハ五月廿二日ヲ定日トシ本日々曜日ニ當ルハ廿三日トナス

第六條 主宰及シ社友ハ五月ノ大會議ニ於テ総長及議負ヲ撰擧スヘキ全權ヲ有ス蓋シ撰擧サレタル総長議負ハ其年ニ於テ續テ興行スル所ノ例年郊村會議ト称スル集會ノ結尾マテハ其官職ニ就カサルモノトス
辭職死去其他ノ所為ニ由リ上章ノ如キ諸官ノ欠位アリハ残り各位ノ同職會議ニ投票撰擧ヲ為シ擧票最多ノ者ヲ採テ亞職セシム

第七條 議負ノ同列ハ主宰ノ組ヨリ撰擧シタル総長一人受托者十二人副総長十二人及主宰社友ヨリ差別ナク撰擧シタル五十人ノ議負ニ由リ組合スルモノナリ

第八條 総長ハ會社ノ年々撰定スル官負ニシテ一度在職セシ者ハ三年ノ間同職ニ再撰サレサルモノトス
第九條 議負ノ總負五十名ノ内其半数廿五名ハ年々順番ヲ以テ退職スルトス蓋シ再撰ヲ得ルトモ曾テ

妨碍ナシ

第十條 五月ノ大會議ニ於テハ総長受托者副総長及
其他ノ職員ヲ主宰ト社友ノ列ヨリ撰舉スルトス
第十一條 職員ハ准許状ノ全主意ニ照準シ内則ヲ復
立スヘキ権利アル故ニ時々之ヲ制理ス而シテ自ラ復
行スル所此内則ニ由テ抑制サルヘキ者トス蓋シ確定
シタル内則ヲ變更シ又新法ヲ制定スルニハ其意旨ヲ
詳記シ少クモ一ヶ月前ヨリ職員各名ニ報知スルヲ常
例トス
第十二條 職員ハ本社ノ諸務ヲ修理セシムル為メ一
人ノ書記官ヲ任シ或ハ之ヲ轉任セシムルノ権利ヲ有
ス蓋シ此書記官ハ會社ノ名目ヲ以テ総務ヲ代辨シ百
事ヲ整理スルモノナリ

第十三條 職員ハ本社ノ歳入財本ヲ特ニ管轄スヘキ
專任ニシテ尚其他百般ノ事務枝葉ノ條件ニ至ルマテ
悉皆之ヲ監督處置スヘキ者ナリ而シテ此英倫農業會
社ノ目的意見ヲ事實ニ施行スル為メ必要ノ事業ハ総
テ之ヲ執行スヘシ蓋シ准許状ノ預約或ハ内則及ヒ土
地ノ法律ニ照準セサルヘカラス

第二篇 内則

第一條 方今存在スル内則條例及法度ハ一切廢棄シ
次ノ法ヲ以テ其代トナシ採用スヘシ

主宰及社友

第二條 此會社ニ入社スルヲ願望セルモノハ何シモ
主宰又ハ社友ニ由リ其赴申請サルヘキ者ニシテ其中
請入ハ願人ヲ引薦スル赴証書ニ檢印シ之ヲ上呈セザ

ル可カラス

此書式ノ証書例文ヲ刊行シ空ハ本社ニ於テ書記官

ノ奉ミアル者ナレハ之ヲ領取シ記スヘキ事

申請人ハ願人ノ姓名履歴住所及ボストウシ在邦便所

ヲ議負會議ノ席ニ於テ詳記スルカ又ハ書記官マテ書

翰ヲ呈シ之ヲ詳述セサルヘカラス右ノ如キ申請ハ通

例申請シタル會議ノ席ニ於テ即時ニ称述スルトス

又書記官マテ書翰ニテ申請シタル願人ナラハ其書状

ヲ落掌セシ次ノ集會ニ於テ陳述スルトス

其後証書ヲ出サシムル為メ附録第一号ノ書式証文ヲ

書記官ヨリ願人ニ送致シ願人ハ此証書ニ自ラ記名檢

印シ而シテ會社ニ出テ書記官ニ面陳シ証書ヲ呈出スヘ

シ然ル後翌月ノ議負會議ニ於テ撰擧ヲ施行スルニ至

ル但シ此時ニハ手ノ顯出撰擧ノ可否ヲ決スル片否ト

不可トスルモノハ手ヲ撰擧ノ可否ヲ決スル片否ト

ニ由リ決断スル者ニテ撰擧ス

ルト廢黜スルハ議負ノ意見人望ニ由ルヘシ而シテ薦

舉セシ時ハ書記官ヨリ其赴本人ニ報告スヘシ蓋シ右

書翰ハ時々議負ノ指揮スル約條ニ準シ附録第二号ノ

書式ニ由ルヘシ

第三條 主宰及社友ニ撰擧サレタル者モ自己ノ寄進

金ヲ捐納セシ後ニ非レハ其官位ノ特推ヲ行フヘキ通

義サキハ勿論社中ノ如何ナル名簿ニモ本人ノ姓名ヲ

記載セサル者トス蓋シ寄進金ヲ収納セシ後ハ公然官

位ノ特推ヲ受ク尚總テノ名簿ニモ加名スル者トス

正算四年ハ五磅社友ハ一磅ノ寄進金ヲ年々捐納スヘ

日付トス

寄進金ハ約テ毎年一月一日ニ納ムルトス但シ十二

月中撰擧カレタル者ハ其節指納セシ寄進金ヲ以テ翌

年ノ寄進ト看做スヘシ

去寧ハ寄進金ヲ合集シ五十磅即チ十年ノ一時ニ收納

スレハ之ヲ出涯ノ寄賦ト做シ其餘ノ指納ヲ免セラル

ハレノトス

結友ハト磅ニ由テ免セラル者トス

舊シ本年ノ寄進金ヲ既ニ指納スヘシ二十年乃至二十

年以上ノ間年々寄進金ヲ指納セシ者ニレテ收納不足

クカキ面々ハ亦後ノ寄進金ニ就キ本年ノ寄賦高モ包

括シ五磅ノ合集收納ヲサヌ時ハ亦後ノ收納ヲ免ル者

トス

本國ニ於テ寄留セザル主宰及社友ハ撰擧ノ時直チニ

合集收納ヲナサハルハカラス蓋シ本國寄留人ノ合集

收納十年分ノ前納スルト同額ノ者ナリ

六月一日ヲ期限トシ本日中ニ出金セザル者ハ寄進

金收納不足ノ者トナシ其主宰及社友ハ社中ノ特権ヲ

有セザル者トス尚斯ノ如キ面々ハ右不足高ハ勿論本

年ノ収金トモ指納セシ後ニ非サレハ合集收納ヲ許サ

レザルモノトス

主宰社友ノ内各公類シタル組合ヲ轉移スルハ各別ニ

議買ヨリ別段ノ許可ヲ受ケサル可カラス

第四條 主宰社友ノ内退社除名ヲ欲スル片ハ其赴自

筆ヲ以テ詳記シ本社ニ出し書記官ニ面陳シ願書ヲ呈

出スルニ蓋シ寄進金收納不足アル者ハ例外トスヘシ

尚友茹備願ヲ止告スル時允可ヲ受ケサル間ハ寄進金

大正
政
三

本
教
三

ノ捐納セサルヲ得ス并ニ右ノ如キ者退社允可リ得ル
凡本社ニ收納スヘキ金額アレハ如何ナル公辨アル氏
其額額ヲ収却シ或ハ借品アル片ハ書籍類ヲ始ノトシ
終ノノ物品ヲ返濟シ若シ損失紛失等アレハ其品格ニ
相俦スヘキ賠償ヲ収却スル迄ハ寄進金ハ連續收納ス
ヘキ事

退社除名出願ノ者ハ前年十二月三十一日マテニ其趣
詳細明記シ書記官ニ報告セシニ非サレハ其年ノ寄進
金ヲ收納セサルヲ得ス

第五條 主宰ハ議負會議ニ出席シ談論スルノ特権ア
リト雖モ議負ノ列ニ進昇セサレハ投票スルノ権利ヲ
得ス

主宰社友トモ寄進金ヲ捐納セシ者ハ其年ニ属スル日

誌類ハ代價ヲ納ムルヲ領取スヘキ通義アリトス
尚會社ニ進呈サレタル模形類ヲ點檢シ或ハ書庫中ノ
書籍ニ関涉スヘキ特権ヲ有ス

主宰及社友ハ本社ノ大議會ニハ総テ臨席シ尚各所見
ヲ陳述シ又投票スヘキ通義アリトス

入社ヲ願望スルモノアレハ其願入ヲ主宰又ハ社友ト
シテ推舉スヘキ通義

議負ノ決議スル約束ニ應シ謝義賠償ヲ出金スルニア
レハ化學家及獸醫ノ副手ヲ受クヘキ通義

本社使用ノ為メ議負ヨリ出版サレタル公ノ書類ハ悉
ク領取スヘキ通義

本社ノ郊村會議ノ節ハ議負ノ考定スル額數ニ應シ畜
産器具等ヲ出品スヘキ通義

總ノ大會議ニ臨席スル如ク郊村會議ノ節ニ自由ニ
出入スルハ通義等ヲ総ク有スル者ナリ

第六條 判明ノ簿冊ヲ備置キ主宰社友等總負ノ撰
舉ノ本日ヲ表記シ并寄進金領取高領取残りノ額數及
其日附等各別ニ記シ置クヘキ

主宰及社友ハ自身ノ寄留所又ハ代理者ノ住所ヲ時々
書記官々方屬ク置キ而シテ此等ノ住所ヲ送達サレ
タル報書公布類ハ總テ奉入マテ適當ニ通達セシ如ク
希微スヘシ

第七條 議負ハ有テ社友通信社友又ハ他國社友ヲ撰
舉スルハ推刺アルヲ以テ尚此會社ヲ設立セシ目的ヲ
振興スル為メ優等撰群ノ人物アルハ如何ナル人ト雖
モ之ヲ撰舉シ入社ヲ請求スヘシ蓋シ斯ク如キ優等ノ

社友ハ寄進金ヲ賦與スルニ及ハス而シテ本社ノ集議
議負會議等ニ出席ニ談論スルノ特權アリトス且シ此
投票スルノ權利ヲ得ズ

前條ノ如キ名士ヲ撰擢セシ時ハ其特許狀ニハ總長ノ
檢印ヲ受ケ書記官ノ加判ヲ添ヘ撰擢ノ報書ト共ニ書
記官ヨリ本人ヘ急速送達スヘキ事

第八條 審判ノ原書ノ錯誤ハ其條ニ不
當九條 主宰及社友ヲ本社ヨリ除件給服スルハ次ノ
法式ニ由ルヘシ

主宰社友ノ内除件スヘキ者アルハ其趣願書ニ点記シ
之ニ檢印シ社中十名ノ主宰又ハ社友ヨリ議負ニ送達
スヘシ

第九條 願書ハ議院中審明スル所ニ張出シ置キ書記官ハ其

趣願書ハ議院中審明スル所ニ張出シ置キ書記官ハ其

抄本記名檢印レ除件ノ建議サレタル本人ノ郵便ニ
由送達スハト事

存ノ如ク願書ヲ揭示セシ後一ヶ月ヲ経テ少クモ十二
入ノ柱友列坐シタル議負例月會ニ於テ此事務ヲ評議
スルモノトス

此時議負異論ナク此除件ノ説ニ同意スルハ其願ハレ
久ハ最阜社外ノモノトス蓋シ同説セサル時ハ尚本人
ノ為メ評論スルモノトス尚又除件ヲ命スルモ本人ノ願

横須奈等ヲ補救スル月廿日成ハ合集指納ヲサセシ
諸ニテ其賠償ヲ求ムルニモ非サル時ハ殊更ニ談議ヲ
罷スハキリトス

第十二條 爾多社友他國社友通信社友モ主宰及社友ノ
除件ニ就キ辨解セシハ法式ニ準シ黜職セシムハキ事

第十一條 當社ニテハ主宰及社友ノ間ニ金銀ヲ以テ
利益ノ配分贈物等ハ為スハカラサレ事

第十二條 主宰社友ノ内准許狀ノ預約ニ背キ又ハ内
則ヲ犯シ其法則ヲ知悉セズ或ハ其抄本ヲ領取セサレ
等ノ四寶ヲ以テ其罪ヲ脱シントスルモ宥寬又ハカラ
サレ事

第十三條 主宰及社友ニテ議負ニ進昇セサレモ
ノハ社中ノ事務ヲ管理シ又ハ所有物家具等ヲ管轄シ
之ニ兼涉スルノ通義ナレトス蓋シ此後投票スル如ク
大集會ニ於テハ此例ニ在ラス

大集會

第十四條 毎年龍動ニ於テ興行スル大集會二度ノ公
布ノ議負ノ裁決スル新聞紙ニ於テ廣告スルモノトス

大
正
十
年

此兩會ニ申請シタル総テノ撰擧及議定スヘキ事務ハ
議負撰擧ノ外悉ク手ノ顯出ニ由リ決定スルトス
十一月ノ大會議ハ本月中議負ノ決定スル期日ニ於テ
議負撰擧者ニテ又郊村例年集會セ同シク議負ノ裁判ニ
ヨリ其時日場所等ヲ定ムヘキ事

郊村集會ノ場所ハ前年中五月ノ第一ノ水曜日ニ於テ
議負之ヲ議定シ其次ノ大集會ニ於テ告示スヘキ事
勸動ノ大集會ニ於テハ毎々議負ヨリ報呈スル告書及
會計ノ書記ヲ陳讀シ列席ノ主宰及社友ハ其告書中ノ
事實注解等ヲ熟考シ其他百般ノ事務取扱ニ關係シ各
位ノ思慮スル所ヲ陳述シ議負ニ詰問スヘシ
大集會ニ列席スル者ハ主宰及社友又ハ総長ノ指令書
ヲ有スル人々ニシテ臨席スル片ハ列席許可ノ趣各自

証記シ名刺ヲ差出スヘキ事

第十五條 五月ノ大集會ニハ諸務ニ先立テ総長副總
長及ニ受托者ヲ撰擧ス蓋シ手ノ顯出ニ由リ拔擧スヘ
キ事

右撰擧ノ後順番ニヨリ退職スル議負廿五名ノ代入り
撰擧スヘシ但シ此撰擧ハ次ノ法則ニ從フヘシ

撰擧法第一則

即今順番ニヨリ退職シ尚再撰擧ヲナス凡故障ナキ議負
ノ姓名書ヲ五月ノ一日カ又ハ其前ニ於テ整完シ社中
諸局ニ於テ點檢セシムヘキ事

第二則

五月ノ第一ノ水曜日ニ於テ議負ハ即今新夕ニ撰擧ス
ルカ又ハ再撰擧セシ主宰社友二十五名ノ姓名書ヲ整完

但し此姓名書ハ前二年ノ間議眞會議又ハコソニツ
ト一特任議ニ此面々ノ臨席セシ度数ヲ詳記シ且ツ
此姓名書ハ議負ノ裁判ニ應シ農業新聞ニ於テ直ニ
廣告スヘキ事

此姓名書ヲ領取セント欲望スル主宰及ヒ社友ハ大集會
ノ奉目カ又ハ前週中日曜日ノ外十字ヨリ四字迄ノ間
ニ書記官マテ此額スル片ハ各分與サル、者トス

第三則

投票ハ主宰社友ノ内願望スルモノヲシテ投票セシム
蓋シ投票ノ姓名書ニハ自ラ記名捺印シ撰舉ニ適當ス
ルト思察スル人々ノ姓名ヲ塗抹シ又ハ加名セント思
考セシ久カシハ其姓名ヲ加ハ大集會ニ於テ書記官ニ

進呈スヘシ

総長ハ姓名書ヲ悉ク領掌セシ時投票查察者三名ヲ任
スヘシ而シテ此面々ハ一室ニ別退シ投票シタル姓名
書ヲ点檢シ投票最多ノ者二十五名ノ姓名ヲ表録シ即
時ニ集會ニ報告スヘシ其後此投票ノ紙類ハ直クニ滅
却スルモノトス

若シ姓名書止ニ於テ二十五名以上ノ名ヲ指摘スル片
ハ其姓名書ハ採用セサル者トス

主宰及社友共書記官ニ謁見シ自ラ上呈スルニ非レハ
投票スルヲ許サス

投票ノ額數相敵スル者アレハ手ノ顯出ニ由テ撰擢ヲ
施行シ其顯出ノ衆寡ニ應シ黜陟スヘシ

総長

大正
正
正

第十六條 總長ハ並職者撰擢ノ日ヨリ三ケ年ノ間ハ
其官位ニ再々撰任サルヲ得ス

總長ハ本社ニ關係シタル公務ニ於テハ總テ主宰社友
ノ上席タルヘシ且ツ自己ノ意見ニ隨ヒ議負會議ヲ呼
催スヘキ全權ヲ有シ其集會ニ列坐スルハ毎會議夕
ルヘシ

總長ハ勿論其他議長タル者ハ論議上ニ於テ等々スル
ハハ之ヲ決議スル為メ自己ノ投票ノ外ニ尚投票スヘ
キ特權アリトス

總長ハ議院ノ名目ヲ表記スル者ニテ不利益ト察知セ
ハル者ニハ書翰類（ハヤシ）謝書（トク）撰擢ノ投票ヲナレ可（トク）否（トク）ヲ決議
其他ノ証書ニモ悉ク記名檢印スヘキ事

議負

第十七條 議負ハ各自ノ裁量ヲ以テ時々集會ヲ遷延
スルコトアリ若シ延會セサルハ社友ヲ撰擢スル為メ
及ヒ會社ノ事務ヲ管理スル為メ毎月第一ノ水曜日ノ
第十二時ニ於テ集會シ又特別ノ命令アルニ非レハ集
會時限ノ間毎月尚一度他ノ水曜日ニ於テ集會スルコ
トス

第十八條 集會時限ニアラサル時ハ本社ノ事務ニ關
シ臨時集會ヲ要スルコトアレハ總長ノ思慮ニ會議セシ
ムルハ總長ノ全權トス尚止ムヲ得サル事故アルハ
臨時ニ即刻會議ヲ發令スルモ總長ノ推利トス去レ延
斯ノ如キ會議ニ於テ叙立セシ法則等ハ其次ノ例月會
ニ於テ確定スルニ非レハ持久スル法則ト為スヘカラ
ス總長不在ノ時急變ノ時機ニ當リ會議ヲ呼催スレハ

後托者一名副社長一名議負三名ノ權利ニシテ各自檢
印シタル呼集ノ命令書ヲ書記官ニ送呈シ而シテ發令
セシヨリ此會ノ為メ決定シタル日限マテニ七日
以上ノ猶豫ヲ措置スヘキ事

第十九條 議負例月會ニ於テハ本社ノ事業ニ係リ談
論スヘキ議按等ハ総テ手ノ顯出ニ由テ裁論決議スル
ヲ此會議ノ全權トス去レ其時列坐セシ社友ノ内此
議按ノ緊要ナルヲ察知シ即時ノ裁決ヲ忌憚スル者ア
レハ其意見ヲ陳說シ次ノ例月會議ニ於テ宜レク再議
スル為メ延期スルノ可ナルヲ議負ト商議スルハ自由
タルヘシ而シテ議負中此說ニ同意スル者三分ノ一ナ
ルハ議按ノ裁決ヲ延期スルトシ其趣書記官ヨリ
議負總負ニ告知ス可シ

第二十條 議負ノ會議中管理スル所業ハ書記官之ヲ
畧記ス可シ若シ書記官不在ノ時ハ議長ヨリ臨時ニ任
シタル列坐ノ社友之ヲ記録ス可シ其後此手記簿ニ捺
然ト抄寫シ尔後ノ準備トナスヘキ事

第二十一條 議負ハ集會ノ事業ヲ整理スル為メ方術ト
察見スルヲアレハ准許狀及内則ニ照準シ時々其法度
ヲ制理スヘシ蓋シ斯クノ如キ法度ハ同列ヲ抑制スル
者ニテ他ニ関涉スルヲナシ

第二十二條 本社ノ管理ヲ擔任シ百般ノ事務ヲ整理ス
ルハ議負ノ特任ナレハ議負ノ抑制ヲ受クルハ准許狀
及内則ニ由テカ又ハ大集會ニ會合シタル主宰社友ノ
決議ニ由テ関涉セララル、ノ外他ノ限制ヲ受ケサルモ
ノトス

第廿三條 本社ノ管轄ヲ良善ニシ百般ノ事務ヲ適宜ニ整理スル為メ裨益ナルヲアルハ准許状ト内則ニ照準シ時々法度ヲ制定シ又命令ヲ發出スルハ議負ノ任タルヘシ而シテ斯クノ如キ法度命令ハ主宰社友有名社友他國社友通信社友友本社ノ諸官役卒等ヲ悉ク抑制スル者ナリ

第廿四條 本社ノ事業ニ関シ臨時ノ事アルハ議負ヨリヨレミツチレヲ命シ之ヲ検査セシメ議負ニ報告セシムルヲアリ而シテ時宜ニ應シ此會議ヲ散會セシムルモ議負ノ推利トス

第廿五條 農業ヲ進歩セシメ本社ノ裨益ヲ興起スル為メ最善ノ方法アルハ本社所屬ノ抄本類画圖又ハ模形ヲ他ノ所有物ト交易シ又ハ賣却スルモ議負ノ自

由タルヘキ事

第廿六條 本社ノ日誌ハ他ノ農業會社學術會社又ハ政府諸省ノ長官マテ送呈スヘキ事

第廿七條 議負ハ自ラ主管シタル大集會ノ議定ノ免テ事實ニ施行スヘキ事

第廿八條 議負ハ時宜ニ應シ金銀管理司ヲ任シ社用ニ就キ書記官又ハ他ノ者ノ領取シタル金銀ノ総額ヲ委託スヘキ事

第廿九條 會社ノ金銀管理司ハ議負ノ命令アルカ又ハ集會ニ於テ議長受托者及書記官ノ檢印シタル券書ニ由ラサレハ金銀ヲ出納スヘカラス蓋シ出納アルハ逐件簿冊ニ詳記シ尔後ニ準備スヘキ事

第三十條 議負ノ命令ヲ變更スルハ一ヶ月以前ヨリ瞭

然夕ル報知ヲ以テ議負各名ニ申告スルニ非レハ変更
非レ申ルモノトス

第三十條 諸官ノ内閣位アルハ書記官ヨリ議員
ニ報知シ而シテ其事ノ起リニ後集會スル議負會議ノ
席受托者副総長又議負等連名ノ書付ヲ以テ公達スハ
シ其後撰舉司ヨリ適當ノ人物ヲ薦舉シ議負ニ告知ス
議負ハ之ヲ額知シ初月會ニ於テ熟識シ而シテ後開リ
補タハキ事

第三十二條 総長不在ノ時ハ受托者又ハ副総長代理
議長夕ルハシ若シ是等ノ官負各不在ノ時ハ投票撰舉
ヲ以テ議負ノ列ヨリ一人ヲ撰擢シ代理セシムヘキ事
第三十三條 初月會又ハ臨時會議ノ定數ハ五名タル
ハシ

第三十四條 議負初月會ニ於テハ常ニ其以前ノ初月
會又ハ中間ニ催シ夕ル會議ノ草案ヲ窺先ニ讀述シ續
テ延期セシ事業ヲ評議スルヲ以テ順序トス去レ既會
計幹事ヨリ報告アルハ此例ニテラヌ

會計幹事ノ報告ハ會議ノ草案ヲ讀述シ社友撰舉入社
願ヒ等ヲ議定シ然レ後夕ハ直チニ商議スルヲ常例ト
ス
第三十五條 會議ニ於テ讀述スル草案報告ノ類ハ悉
ク議長檢印ヲ為スヘキ事

第三十六條 本社ノ社印ハ一個ニシテ各異セル鎖鑰
三ツ附着スル箱ニ藏メ置キ其鍵三ツハ総長會計幹事
ノ長官及書記官カ各自ニ所持スルモノナリ
三職立會
非レハ
蓋ハ
禁ハ
スル

此會計ハ會議ノ誤歟本ノ誤歟

社印ハ會計ノ間議院ニ於テ押印スルヲ法トス其他ハ前文ノ諸官ヨリ特別ノ命令アルニ非レハ如何ナル約書ニモ押スヘカラサル事

第三十七條 五月及十二月中罷動ニ於テ興行スル大集會ニ議員ヨリ進呈スル報告ハ兩月中最初ノ議員會議ニ於テカ又ハ延會ノ日ニ於テ集成スヘキ事

第三十八條 本社ノ准許狀債家券書記官ノ抵當証書其他切要ナル証書ハ社中ノ金銀管理司ニ委任シ保守セシメタル一個ノ箱ニ藏メ置キ而シテ此箱ハ議長受托者及書記官ノ連印シタル命令書ナクシテ他人ニ交付サレサルモノトス

第三十九條 「コンミツチ」ハ特任議員 「スタレツレンク」ハ常會 「コンミツチ」ハ常會 「スタレツレンク」ハ特任

議員 八十二月中例月會ニ於テ任職シ一月一日ヨリ職掌ノ諸務ヲ奉シ尚再任ヲ受クルニ非レハ翌年十二月三十一日ヲ限リ轉任スル者トス其外ニモ例月會ニ於テ「コンミツチ」ヲ命スルアリ

第四十條 各ノ「コンミツチ」ハ其發會ノ節本年中奉職スヘキ長官ヲ公撰ス其長官ハ「コンミツチ」ニ列席セシキ常ニ議長タルヘシ此議長不在ノ時ハ其時ニ當リ同列ヨリ撰舉シ代理セシムヘキ事

「コンミツチ」ハ總テ各々ノ議長又ハ總長或ハ「コンミツチ」同列三名ノ指揮ニ由テ發令シタル招集ニ應ジ集會スルカ否ラサレハ延期ノ緣故ヲ以テ集會スルモノトス

總長受托者及副總長ハ各自ノ官職ヲ務メサルハ「コンミツチ」

ンミツチーノ同列トモナルヘキ事

第四十一條
ゴンミツチーハ總テ集會ノ間處置スル
事務ヲ連々記録シ之ヲ議負例月會ニ報告シ尚格別ノ
報知ヲ總テ配達スルマテハ散會セサル者トスサレ氏
十二月三十一日ニ至テハ假令報告ヲ成及セサルトモ
其職ノ權利ヲ失フモノトス

書記官

第四十二條
書記官ハ本社ノ事務ニ已レノ身ヲ委託
シ議負ヨリ要セラレタル諸様ノ職掌ヲ奉行シ議負ヨ
リ直チニ督責ヲ受クルモノトス
書記官ハ議負集會ニハ悉ク出頭スヘシ并議負會ニ出
頭セサルトキゴンミツチーヨリ列席ヲ要スルコトアル
ハ尚又之ニモ出頭セサルヘカラス

書記官ハ會議ノ要件ヲ畧記シ并ゴンミツチーニ列席
セシキ其議長ヨリ請求サレシナラハ尚其席ニ於テモ
畧記ヲ為スヘキ事

第四十三條
書記官ハ本社ノ通信應當ヲ管掌シ領取
セシ書翰ハ次序分類ヲ正シテ蓄ヘ置キ應答日誌ヲ設
ケ置キ日々ノ往復ヲ誌シ并ニ書翰控簿ヲ備ヘ置キ總
長議長又ハゴンミツチーノ指揮ヲ受ケ書記シタル書翰
ノ草稿ヲ悉ク寫シ置クヘキ事

第四十四條
書記官ハ會計幹事ノ指揮ヲ受ケ本社ノ
諸局ニ於テ領取シタル總金銀ニ關係シ督責ヲ受クル
ト雖モ其總額ハ金銀管理司ノ手ニ納メ其収票ハ會計
幹事集會ノ度毎ニ呈出スヘシ蓋シ斯クノ如クシテ本
社所屬ノ金銀ハ自ラ預ルコトナク即時ニ金銀管理司ニ

回送スルモノトス去レトモ自ラ許可ヲ得タル少額ノ

金銀雜費ハ書記官ノ擔當スル所トス

第四十五條 本社ノ為メ領取シタル金銀ノ収票ハ悉

ク収票控帖ニ添ヘ符合ヲ付ケ置クヘキ事

第四十六條 金銀出納ハ總テ出納簿ニ日々注録スヘ

キ事

第四十七條 本社附属ノ書物模形及新聞紙ハ總テ書

記官ノ保守スルモノトス

本社ニ贈呈サレタル書物綴ラサル者ハ總テ即時

ニ本社ノ社印ヲ押スヘシ

第四十八條 書記官ハ本社ノ書吏役卒等ヲ自ラ管理

シ若シ是等ノ者社則ヲ犯シ或ハ不行狀等ノ事アリテ

議負ノ商議ヲ要セサルヲ得サル一アルハ其趣議負ニ

申告セサル可カラズ

第四十九條 総長及シ議負ハ准許状ニ照準シテ本

社ノ諸務ヲ代辦シ條約ノ事務ヲ管理スル權利ヲ有

スルト雖氏其總代タル書記官ニ專ラ依頼スル者ニ

テ書記官ハ其レ等ノ種々ノ事務ニ關係シ代理人ト

シテ時々委託サレタル特別ノ免許ニ準シ悉ク之ヲ

擔當スルモノナリ

第五十條 書記官ハ會社ノ官舎ニ寄留スヘキ

事

第五十一條 書記官ハ總計一千磅ノ確手タル抵

當物ヲ所持スヘキ事

第五十三條 本社ノ諸室ハ不用ノ時ト雖モ轉貸サ

レサル事

第五十三條 書記官ハ會社ノ主宰又ハ社友ニ非サル事

第五十四條 書吏役卒ノ給料ヲ定メ又ハ時宜ニ應ジ是等ノモノヲ黜陟轉任スル等ハ議負ノ權利タルヘキ事

會計課

第五十五條 會計幹事ハ會社ノ算計ヲ自ラ監督シ金銀諸拂ハ例月會ノ外ハ右幹事ノ告書ナキハ一切ナスヘカラルサルモノトス蓋シ會計幹事ハ本社財本ノ情狀ニ關係シ報告書ヲ完備スル夕ノ議負ノ集會ヨリ以前ニ毎月召集ノ指令ナクハ第一ノ水曜日ニ集會スルヲ常例トス其報告書ニハ次ノ結算較計表ヲ添ヘ進呈スヘキ事

銀	月
邊斯 時令 磅	邊斯 時令 磅

議負ノ命令ニ
依テノ出金

少金ノ出費金

銀行管理司及書記官ノ手ニ在ル残金

結

算

表

書記官ノ手ニ於テ
先月ノ少金ノ残金

銀行管理司ノ手
在ル銀金

銀行管理司ノ収票通
先月中書記官ノ
収メタル者ニテ
及「ウエスト」ニ
行ニ送ツタル金銀總計

銀行管理司ノ面ノ通リ
本社ノ為メ龍動及「ウエスト」
ニ「ウエスト」ノ銀行ニ依
テ領取シタル金銀總計

尚又會計幹事ノ集會スルハ總テノ金銀出納簿及

日々取引スル証書類ヲ始メ諸費出金ノ書記ヲ完備

スル為メ集會スル者トス

毎月最初ノ水曜日ニ於テ會計幹事ノ定負集會セサ

ル件ハ書記官ヨリ本社財本ノ情状ヲ議負ニ報告ス

ヘキ事

第五十六條 毎年兩度社屬金銀算計ノ總檢査ヲナシ

結算表ヲ作り之レヲ大集會ニ差出スヘシ而シテコノ

結算表ハ日誌ニ連續シテ出板セシムヘキ事但シコノ

總檢査ハ龍動大集會ノ前週金曜日ヨリ遲延ナスヘカ

ラス

檢數官トナリ算計ヲ檢査スル者ハ總長受托者會計幹

事及シ議負ニ昇進セサル社友三名ト成ハ「コン」ミツク

「」ノ内少クモ二名列席シテ整正スルヲ常例トス

毎年ノ郊村集會ニ就キ集成シタル結算表ハ翌年刊行

スル會社ノ日誌ノ第一ノ出板ニ於テ着スヘキ事

日誌課

第五十七條 日誌課幹事ハ日誌ノ出板ヲ監督シ毎年

二月八月ト兩度ニ分部シテ出板セシムヘキ事

日誌課幹事ハ新聞紙上ニ載記スヘキ事實ヲ裁断シ尚日誌上ニハ不都合ナレバ其事實ニ於テハ須要ニシテ感スヘキ報告アレハ之レヲ斟酌排列ヲ整ヘ日誌ニ連續シテ出版セシムヘキ事

日誌課幹事ハ新聞紙上ニ載記シタル趣意ヲ撰擇スル一ニ就キ又ハ勸農ノ目途ニ関涉シタル要件ニ就キ督責ヲ受クルト雖モ諸種ノ新聞紙ニ關係スル一ナレハ豫メ幹事ノ擔當スル所アラサル事

第五十八條 社友ノ面々ハ各寄進金ヲ指納セシ上ハ其年内ノ日誌類ハ代價ヲ納ムル一ナク領取スヘキ通義アリト去レバ収納金遲滞セシキハ決シテ配達サレザル者トス

著作者

第五十九條 著作者ハ日誌課幹事ノ管轄ヲ受ケ時々幹事ノ創立スル法度ニ服從シ其職掌ヲ奉スヘキ事

第六十條 著作者ハ學識才能ニ由リ補任スル者ナレバ日誌課幹事ノ委托スル所更ニ其意ニ適セサル一ナク信任ヲ得テ職掌ヲ奉スルニ堪エハキ人才ヲ撰ムヘキ事

第六十一條 著作者ノ奉職スル時間ハ完ク本社ノ指揮ニ從フヘキ事

賞典表

第六十二條 郊村集會ニ付キ公告スル賞典表ハ十二月中興行スル臨時議負會議ニ於テ決定スヘキ事

競賞經驗文

第六十三條 競賞經驗文ニ記載スル報告ハ悉ク實驗

注目ニ據ルヘキハ勿論ナレハ書籍其他書付類ニ因テ

陳説スル一アレハ決シテ採用セサル者トス

第六十四條 繪圖見本模形等ヲ要スル告書ニハ具申

シタル尺度ニ比例シ其模形ヲ作り或ハ詳画シタル繪

圖ヲ添ヘ差出スヘキ事

第六十五條 爭先者ハ告書ノ表包ノ内ニ姓名住所ヲ

封入シ其表面ニハ經驗文ノ題目及ヒ主意并本社ニ差

出セシキ賞典目錄ニ書キ如ヘタル番号ヲ書記スルノ

トス

第六十六條 賞典ノ裁決サレタル經驗文ナルヲ題目

ニ表シタル經驗文ノ表包ヲ開封シ其記者ノ姓名ヲ公

告スルハ総長ニ期スヘキ事

第六十七條 賞典ヲ受ケサル經驗文ニシテ本社ノ本

業ニ関リ實ニ緊要ト思察スル者アレハ之ヲ開封ス

ルノ権利ハ日誌課長官ニ期スヘシ蓋シ右書付ヲ日誌

課ニ委托スル氏更ニ異存ナキヤハ確然本人ニ商量ス

可シ

第六十八條 賞典ヲ給與シタル經驗文ノ開版免許ハ

本社ノ主管スル所ナレハ其經驗文ノ全部又ハ一部ヲ

刊行スルハ本社ノ自由タルヘシ而シテ其他ノ經驗文

ハ記者ノ請求ニ任セ返却スルト雖モ紛失等アルハ

本社ニ於テ關係セサル者トス

第六十九條 審官收審ヲ檢究スル職ハ經驗文ヲ審檢

シ正ニ賞典ヤサルヲ得サル者ト思察スルニ非レハ賞

典ヲ裁断スヘキ者ニアラス

經驗ノ報告ニハ總テ實驗ニ就キ費シタル經費ヲ精密

ニ詳記スヘキ事

算計ニ用ユル尺度秤量ハ本國法度ニヨリ定メラレタ
ル度量ニ限ルヘキ事

既ニ著述上ニ見ヘタル事實ヲ經驗文ニ書載スルハ
賞典ヲ給セザル事

賞典ハ本人ノ希望ニ任セ金銀或ハ品物ニ於テ給與ス
ヘキ事

經驗文ハ總テ本社ノ官社ニ於テ書記官ニ面陳シ差出
スヘキ事

書庫

第七十條 當會社ニハ書庫一ヶ所ヲ設ケ書目ヲ備ヘ
置クヘキ事

書物類ヲ獻納スル者アルハ總テ日誌課幹事ノ裁判ヲ

受ケ處置スヘキ事

獻納書籍ハ勿論其他種物器具及模形類ニ至ルマテ受
納シタル物品ハ悉ク簿帖ニ詳記シ獻納人ノ姓名ヲ記
シ置クヘキ事

第七十一條 模形器具其外トモ議負ノ許可ヲ得サレハ
本社ニ出品スルヲ許サス

郊村集會

第七十二條 議負ハ郊村集會ニ就テ本社ノ総趣意ヲ
興隆スル為メ裨益ト意見スルヲアレハ前年施行セシ
齊備ニ關係スルヲナク別ニ方法ヲ修整シ其レヲ採用
スルヲアルヘシ

第七十三條 人民ノ功勞ヲ賞シ天災ノ損耗ヲ補給ス
ル等總テノ賠償ハ地方官ノ擔當スル所ニシテ英倫農

業會社ノ議院ニ於テ決シテ關係セサルトス但シ此
事實ハ地方官ト契約スル條約中ニ必ス書キ載スヘキ
事

第七十四條 地方官ト契約スル條約ニハ地方廳ノ官
印ヲ受クヘキ事若シ地方廳アラサル場所ナレハ其地
方主長ノ花押ヲ受クヘキ事

第七十五條 詐偽ノ証拠ヲ出シ或ハ他ノ詭謀ニヨリ
褒美ヲ受ケント欲シ其企露顯セシニ由テ如何ナル會
社ノ博覽所ニ於テ競賞ノ為メ出品スルヲ禁セラレタ
ル者總テ議員ノ意思ニ適セサル者ハ當社ノ集會ニ於
テモ其褒賞ヲ競争スルヲ許サス

内則

第七十六條 五月及十二月ノ第一ノ水曜日ニ於テ

集會スル議員會議ノ節ニアラサレハ現今ノ内則ヲ變
更シ尚新例ヲ制定スベカラサル者トス蓋シ一ヶ月前
ヨリ兼テ議員ニ報告ヲナシ其報告ノ原稿ヲ書記官ヨ
リ議員各名ニ送達スヘキトサレモ改正スルキ内則ヲ
議案トナシ公議スル時ニ方リ之レヲ改正スレハ他ノ
内則ニ関涉シ妨碍アル片ハ變更セサル者トス
第七十七條 内則ハ悉ク簿帖ニ記録シ總長及ヒ書記
官ノ花押ヲ檢シ新タニ内則ヲ制定シ或ハ變更セシ事
アレハ即時ニ書キ加フヘキ事

右ハ千八百六十九年十二月八日ニ於テ集會セル公議
ニ於テ議定スル者ナリ

總長 ヲボンシアル 花押

書記官エツチ、エム、シエキンズ 花押

第三篇 會議ノ議定

大集會

第一條 翌年奉職スヘキ諸官ノ闕位ヲ充備スル為メ
議負ヨリ建議シタル薦擧ヲナシテ不適宜ト思慮スル
者アレハ其闕位ヲ補フ為メ自ラ他ノ主宰社友ヲ撰擧
シ大集會ニ建議スルハ隨意タルヘシ蓋シ少クモ三日
前ヨリ其意見ヲ書記官ニ報告セザルヘカラス
書記官ハ其時建議サレタル社友ノ姓名ト議負ヨリ建
議シタル人々ノ姓名ヲ並列シ之ヲ大集會ノ後ヲ議
院中着明ナル場所ニ於テ揭示スヘキ事

第二條 大集會ヲ招集スル布告ニハ集會手簿中ノ人
名等重立テタル事ヲ報知スヘキ事

五月ノ集會ノ布告ニハ総長受托者副総長及議負廿五

名ヲ主宰及ヒ社友ヨリ撰擧スヘキ趣殊更ニ公告スヘキ事

総長

第三條 大集會ニ進呈スル告書ヲ集成スル夕メ五月中集會スル第一ノ議負會ニ於テ又ハ其延會ノ日ニ於テ撰擧課幹事ヨリ翌年奉職スル総長撰擧ノ引薦ヲ議負ニ陳説シ議負之ヲ熟議スヘキ事

議負

第四條 議負ハ同列中ニ闕位アルトキハ其レヲ補備スル為メ自ラ薦擧セント欲スル主管及ヒ社友ノ名ヲ擧ケ年々議負ニ附與スヘキ撰擧姓名書ノ出版ヨリ以前ノ水曜日ニ於テ書記官マテ進達スヘキコト蓋シ薦擧セシ人々ハ若シ撰擧ニ與カルコトアレハ其職ヲ奉

シ集會ニ列席スルヲ忌憚セサルハ豫メ証シ置クヘキ事

書記官ハ通常ノ姓名書ニ此建議サレタル姓名ヲ書キ載セ建議者ハ姓名ヲ註誌スヘシ而シテ即今頓番ニテ退職シ再撰ニ與カルトモ妨碍ナキ人々ガ従前議負會議又ハ「コンミツチー」ニ臨席シタル度数モ詳記スヘキ事

第五條 書記官ハ五月十二月ノ議負會ニ就キ刊行シタル「アケンダ」ハ例式ノ要件ヲ如ク會社ノ名号其他ニ報告半年分ノ草按ヲ抄寫シ議負各名ニ送達スヘキ事

第六條 年々「コンミツチー」官ハ其奉職セシ年内ニ於テ集會シタル度数及ヒ議負ニ進呈シタル報告ノ度

數ヲ詳記シ年報トシテ十二月中議負例月會ニ呈スヘキ事

第七條 「コンミツチ」官ノ年報ニハ在職各名ノ目錄ヲ記載シ且翌年モ薦舉ニ相當スル趣建言サレタル人々ノ姓名ヲ點記スヘシ但シ本年全ク不参シタル面々ハ省畧スヘキ事

會計課

第八條 會計課ハ半年毎ニ受領シタル合集指納ノ額數ヲ調査シ報告スヘキ事

第九條 會計幹事ハ本課ノ精算司ヲ任シ置キ會社ノ算計ヲ精細ニ檢査セシメ須要ナル條件ヲ報告セシムヘキ事

第十條 會計幹事ハ本社會計ノ情狀ヲ調査セシメ左

ノ如ク詳細區別シ報告セシムヘキ事

第一 毎三月ノ金銀出納結算表

第二 毎三月ノ所有物ノ調書

第三 寄進金及寄附残リノ調書

第十一條 前條ノ算計ハ三月六月九月十二月ノ月末ニ於テ精算輯録シ翌月ノ例月會ノ節議負ニ差出スヘキ事

第十二條 本社ヨリ出金スヘキ金銀費用ヲ含有スル建議ハ一ヶ月前ヨリ報告セサレハ假令異論ヲ陳スルトモ議負ニ據テ領承サレサルモノトス但シ會計幹事ヨリ常例ノ報告ニ目テ指令シタル出金ハ例外トスヘシ

第十三條 會計幹事ハ本社會計ノ歲入出費等ヲ精細輯録

十二月申集會スル議負ニ特別ノ報告ヲ為シ之ニ由テ
議負ニカク副ヘ翌年郊村集會ノ節授與スル賞典ノ総額
ヲ最大ノ數ニ決議セシムル事

日誌課

第十四條 郊村集會ニ出品シタル器具類ノ報告ハ日
誌ニ記載レ二月八月ト兩度ニ出版セシムヘキ事

報告ノ規則 第一郊村集會ノ報告

第十五條 郊村集會ニ於テ議負ノ談論スル所ハ報告
スルヲ要セストイヘトモ書記官ハ執行シタル事業ヲ
註記シ又ハ會議中投票セシ可否ノ衆寡等ヲ記録スヘ
キ事

第十六條 書記官ハ輕便ニ記録スル為メ書吏一人ヲ
命シテ輔佐ヲ為サシメ而シテ自身ハ高議中ノ事務ニ

完ク心ヲ委ネヘキ事

第十七條 建議改正ノ申請ハ書面ニ註記シ建議者ノ
檢印アルニ非レハ議負ニ上言スヘカラサル事

第二 例月會議ノ報告

第十八條 書記官ハ發會以來決議セシ議定ヲ悉ク編
輯シ建議ノ類ニハ番号ヲ付ケ可否ノ裁決ヲ詳説シ議
長ノ用ヒタル議論ノ格別ナル者ヲ記載シ勉テ速ニ刊
行スル為メ報告ノ草案ヲ集成スヘキ事

第十九條 「コンミッター」官ヨリ議負ニ送呈シタル報
告ハ悉ク其要ヲ略シ出版スヘシ蓋シ議負ヨリ格別ノ
命令アル片ハ其指揮ニ應スヘキ事

第二十條 化學商量司ハ本社ノ社友ヨリ送ラレタル
肥料ノ見本類及牧畜ノ食物殊ニ馬糞硝酸曹達細未骨

及亞麻仁ノ油滓等ノ詳檢シテ報告ヲ集成シ三月六月
及十二月ノ例月會ニ呈スヘキヲ而シテコノ報告
書ニハ分折セシ物質ノ供給セシ商人ノ姓名ヲ記載シ
議負ノ指揮ニ應シ農業日誌ニ於テ出扱スヘキ事

第三 中間會議

第二十一條 書記官ハ中間會議ノ事業ヲ編纂シ収會
ノ後ハ勉テ速ニ新聞紙ニ出スヘキ事

此報告ノ要畧ハ畧記簿ニ記録シ置ク可キ事
議負ニ進達シタル書面ノ内格外ニ長文ノモノニテ早
急處置ニ難キ者アレハ之ノ著作者ニ送リ次ノ例月會
ノ節呈上セシムヘキ事

郊村集會

第二十二條 年々興行スル郊村集會ノ場所ハ議負ノ

考定スル都府及其地位ニシテ「コンミツチ」官ノ點視
ヲ得テ能ク詳檢シ本社ノ目途ニ関シ各別ニ相應スヘ
キヲ檢考シ之ヲ報知セシ後ニ非レハ裁決セサル者ト
ス但シ此「コンミツチ」官ニハ以前ノ集會ノ節場
所掛リテ勤メシ者少クモ三名ヲ列席セシム
郊村集會ヲ設クヘキ都府市街等ヲ議定セシト雖モ器
具掛リ管事又ハ議員ヨリ任セラレタル檢官ノ點視ヲ
經地形ヲ檢考シ器具經驗ニ就キ用ユヘキ空地ヲ撰定
シ詳細ニ檢察セシ後ニ非レハ常例ノ條約ハ決定サレ
サル者トス

五月ノ集會ニ付キ場所ヲ決議スルハ郊村集會ニ付キ
治定シタル前條ノ規則ニ準シ施行スヘキ事

第二十三條 郊村集會ニ於テハ縦觀所出入口ニ於テ
金銀出納ヲ整正セシムル為メ少クトモ四名ノ管賑官

ヲ任スヘキ事其職掌ハ紙牌簿ヲ時々點檢シ又金箱
ヨリ出シタル金銀ト簿冊上ノ總額ト符合スルヲ調
査シ而シテ檢査セシ時ハ檢數表ニ其略標ヲ徴シ簿
冊上ノ總計ニ於テ過不足ノ有無ヲ區別シ置クヘキ
事

第二十四條 當社ノ郊村集會ノ節ハ各局ニ就キ三名
ノ執事ヲ置クヘキ事即チ器具局執事三名蓄産局執事
三名トス其内一名ツ、年々歳末ニ至リ退職セシメ亞
職者ヲ任スヘシ蓋シ斯ノ如クシテ其職ニ練熟シタル
者兩名ヲシテ三年ツ、奉職セシムヘキ事

第二十五條 郊村集會ノ節審官ノ裁斷ニ對シ異論ヲ
陳スル者アルハ終會前ニ於テ悉ク裁判スルヲ勉勵ス
ルハ執事ノ擔當スル所トス

右ノ如キ異存ノ申請ハ縱覽開キノ期限中木曜日ノ夕
第六時迄ニ縱覽所構内執事公所ニ申出ヘキ事其期限
後ニ至テハ遲延ニ就キ至當ナル託辭アルニ非レハ如何
ナル申請モ採用サレサル者トス

第二十六條 器具動物ノ出品者ノ内本社ノ法度ニ背
キ又ハ執事ノ指揮ニ服従セサルヲアレハ其出品ヲシ
テ場所外ニ出サシムルハ執事ノ權利ナリトス

第二十七條 本年ノ寄進金ヲ收納セサルモノハ社外
ノモノトシ郊村集會ニ出入シ又出品スヘキ權利ナシ
トス

第二十八條 本社ノ主宰又社友ニシテ本年ノ寄進金
ヲ收納セシ者ハ縱覽開場ノ間縱覽所出入ハ出金スル
ニ及ハス書記官ヨリ出サレタル紙牌ニ依テ出入スヘ

ハシ但シ其紙牌ハ讓與貸授等ナスヘカラス若シ其紙牌ヲ讓與貸授等シテ露顯ナルトキハ之ヲ議負ニ報知シル後社友タル特権ヲ失ハシムヘキ事

第二十九條 社友ハ各自請受ケタル紙牌ノ裏面ニ社友タル驗證ヲ記シ姓名住所ヲ表シ置クヘシ尚縦覧所出入ノ節社友出入口ニ於テ関門控簿ニ各自記名スヘク請求サレシナラハ尚其レニ記名スヘキ事

第三十條 社友ハ紙牌ヲ請受ル者ハ縦覧開キノ前週金曜日マテニ龍動ニテ申請スヘシ蓋シ郵便ニ依テ申送ルモ又自身ニ申出ルモ随意ナリト雖モ其時日後ニ至テハ縦覧所構内書記官公所ニ申出ヘキ事

第三十一條 有名ノ人ヨリ縦覧所來觀ヲ申請セシクハ其趣議負谷名ニ報知スヘキ事

第三十二條 若シ出品者ハ夜間種馬ヲ搬出シ展觀ノ間連日携歸ラサルヲアラハ其本人ニ五磅ノ罰金ヲ課シ本社ニ收納セシムルハ執事ノ權利トス

第三十三條 執事器具審官、機械商量司、同輔官、且ツ獸醫検査官、同輔官、ハ郊村集會ノ間會社ノ費用ニ依テ設ケラレタル客舎ニ寄留スヘキト去レトモ蓄産審官ハ雜用トシテハ磅客舎料トシテ二磅ノ金ヲ受領スヘキ事

議負ノ列ニシテ審官ヲ兼ネシ者ハ議負ノ評議ヲ經一ケ月ノ告示ヲナシ然ル後他ノ審官ノ如ク諸費ヲ領取スヘシ

饗宴

第三十四條 亦後郊村集會ニ於テ會社ノ助カヲ受ケ

饗宴ヲ設クルヲアレハ地方幹事ニ任シ全ク管理セシム去レトモ議ハ己ノ意思ニ隨ヒ紙牌ノ數ヲ取除ケ之ヲ受領スヘキ權利アリトス而シテ會社ヨリハ饗宴ノ長官ヲ任シ受賀人_{饗宴ニ列シ者}ノ目錄ヲ供スルノミニシテ他ニ關係スルヲナキトス

審官

第三十五條 社友ニシテ審官ヲ薦舉スル者ハ其舉名セシ人ハ如何ナル職務ニ任セラル、氏更ニ不都合ナク審官トナリ奉職スヘキ適宜ノ人物ニシテ其職ヲ務ムルヲ希望スル者ナルヲ兼テ自ラ了知シ其趣保証セサルハカラス并蓄産出品人又ハ器具製造人ト連合同意スルノナキ趣或ハ如何ナル動物ヲ審断スル氏其蓄産ニ因テ自身ニ利益割合等ヲ受クルヲナキヲ確然

保証スヘキ事

右ノ如ク薦舉シタル姓名書ニハ撰舉人ノ姓名ヲ記シ審官撰舉司ニ差出スヘシ蓋シ前年縦觀所執事ヲ勤メシ者ハ此撰舉司ノ同列トナルヘキ事
審官撰舉ニ就キ建議サレタル人負不足ノトキハ撰舉司ノ知己ニシテ其職ニ相當シ其職務ヲ希望スル人物アレハ撰舉司自ラ其人ヲ推舉シ其姓名ヲ加入スヘキ事

第三十六條 四月ノ第一周ノ間ニ議負ノ面々ハ轉章ヲ回送シ蓄産審官トシテ奉職スヘキ適當ノ人物ニシテ其職務ヲ望ム者アレハ其人物ヲ推舉セシメ而シテ本社ノ社友ヨリ薦舉シタル姓名書ニ増加スル為メ五月中ノ例月會以前ニ書記官マテ申告セシムヘキ事

第三十七條 審官トシテ薦舉サレタル人々ノ姓名書
ハ議院ニ張出シ置キ右寫書ハ撰舉ヲ施行スルニ週日
以前ニ議負ノ面々ニ送達スヘキ事
杜交ノ内此姓名書ニ関リ異議情願等アルトキハ其趣
審官撰舉司ニ申告スル為メ書記官マテ書面ニ依テ申請
スルハ自由タルヘシ

審官ノ報告

第三十八條 書法ノ精密ナラサル欣又ハ抄録者ノ過
失ヲ校正スルハ著作者ノ擔任タルヘキ事

第三十九條 機械高量司ハ機械ノ解明ニ関シ又ハ
器具運轉ノ記録ニ付キ誤謬アルキハ之ヲ校正セサル
ヘカラス去レトモ前條諸官ニ關係セサル者ニテ器具
審官ノ報告ニ就キ變更スルヲアルハ悉ク器具執事代

理長官及日誌課幹事長官ノ擔任スル所ナレハ其許諾
ナキ片ハ更正サレサルモトス

賞典表及審官ノ裁判

第四十條 郊村集會ニ於テ供給スル賞典ハ年々二月
中第一ノ水曜日マテニ決議シ其後ニ至テハ評議セサ
ル者トス

第四十一條 審官ハ取除クヘキ家畜アルキハ其各種
ニ取除ケノ番号ヲ附ケ置キ而シテ取除キヲ知告スル
為メ褒賞及薦舉ノ紙牌ヲ張り出ス如ク同シ方法ニ依
テ其牛室ニモ紙牌ヲ張り附ケヘキ事

附録 第一号雛形

私儀何々國何柵住居ノ者ニ候処英倫農業會社ノ社友
ト相成申度希望罷在候若撰舉相成候上ハ年々一磅宛
寄進金收納致ハシク又ハ合集指納トシテ十磅ヲ出金
致スヘシハ勿論書記官マテ告書ヲ呈シ退社致シ候年
尾マテハ御社中ノ御規則法度等堅ク相守リ申ヘシ候
ナリ

月日 願人 姓名 印

議長 何某殿

書記官 何某殿

附録 第二号雛形

第二月二日即チ水曜日ニ集會シタル例月會ニ於テ御

自今儀何某ノ申請ノ上英倫農業會社ノ何々官トシテ
撰舉相成候條御報知申度尚何々ノ官名ニ依テ御姓名
ノ簿冊ニ書入候ニ付以後本社ト御文通有之節又ハ銀行
ニソツテ寄進金ノ御送り相成候節モ御姓名ニ右官名
ヲ御書加ヘ有之度夫ニ就テ社中ノ區別シ者出シト致
シ中ヘ夕候尚都テ公ノ書面ニハ御自分御花押ニ右官
名ノ御附加ヘ有之度候之ニ依テ一ケ年ノ寄進金一磅
リ又合集捐納十磅ノ寄進ヲ御送金ノ上ハ當社ノ社友
ト号シ准許状及内則ニ由テ確立セシ特權ヲ有スル者
ト致シ可申候

本社ノ規則上ニ於テ入社セシキノ寄進金ハ撰舉ノ節
直クニ出金スルトシ其後ハ年々一月一日ニ御収納
ノトス尤退社御望ニ候トモ其趣書付テ以テ當職マ

テ御報知有之候上其時御収納金残り居候節ハ悉ク御
拂濟相成候マテハ御寄進可有之事トス
且又日誌類ハ寄進金御収納濟ニ無之テハ御届不申事
トス尤當今寄進金御収納ノ上御領取相成候日誌ハ何
月ニ於テ出版セシ者ニ御坐候尚御自分御任遷ノ儀ニ
付御異論有之候カ又ハ此書翰ニ付御所存セ御坐候ハ
御指示有之度候ナリ

月 日

書記官エーケエムジエンキンス

何 某 殿

奉 命 宣 諭 各 屬 官 民 咸 知 上 意 凡 有 違 礙 概 不 准 行 其 有 欲 陳 請 者 務 須 實 據 毋 得 浮 妄 倘 有 故 違 律 例 定 罪 不 貸 欽 此

一千八百七十二年

華盛頓府勸農寮職制

紀元千八百七十二年 華盛頓府勸農寮職制

一 勸農頭 一人

大統領及議院ノ撰舉ニ依テ當官ニ任ス

一千八百六十二年議定スル所ノ制度ニ基キ局中

ノ事務ヲ全權總裁シテ年々之ヲ大統領ニ報告ス

且局中官吏ノ勲陟ヲ司ル

歳俸三千弗

現今在官フレデホツキ、ワツツ

一 書吏長 一人

局中一般ノ事務及ヒ通信ヲ司リ且官吏ノ事務ヲ

監督ス

歳俸二千弗

現今在官ヂエームス、スワシク

一 博 蟲 司

一人

博 蟲 課 及 農 事 博 物 ノ 事 ヲ 司 リ 當 課 関 係 ノ 通 信
ヲ 辦 理 シ 一 月 一 年 毎 ニ 課 中 ノ 事 務 ヲ 頭 ニ 報 告 ス
歳 俸 二 千 弗

現 今 在 官 タ ウ ネ ン ド、グ ロ バ ー

一 分 離 司

一人

舍 密 ノ 分 課 ヲ 司 ル 其 他 前 ニ 同 シ

歳 俸 同 シ

現 今 在 官 ラ イ ラ ン ト、チ ー、ブ ラ ン

一 種 園 司

一人

種 園 ノ 分 課 ヲ 司 リ 及 び 管 内 ノ 土 地 試 験 場 ヲ 督 理
シ 植 物 ノ 事 ヲ 司 ル 其 他 前 ニ 同 シ

平 日 凡 ソ 二 十 五 名 ノ 園 丁 ヲ 管 理 ス

歳 俸 同 シ

現 今 在 官 ヲ キ リ ヤ ム、サ ラ ン ダ ー

一 編 輯 司

一人

農 事 一 般 及 び 市 場 等 ノ 報 告 ヲ 編 輯 シ テ 月 ヲ 年 ヲ
二 種 ノ 報 告 史 ヲ 出 版 ス ル ヲ 司 リ 且 時 々 内 外 農 事
ノ 形 勢 及 び 分 課 ノ 事 務 ヲ 年 々 頭 ニ 報 告 ス ル 等 其
他 前 ニ 同 シ

歳 俸 同 シ

現 今 在 官 フ ェ ー、ビ ー、ド ッ チ

一 出 納 書 吏

一人

年 々 公 會 ノ 決 議 ニ 依 テ 宛 行 ハ ル、所 ノ 官 金 出 納
會 計 ノ 事 ヲ 務 ム

歳 俸 千 八 百 弗

現今在官 ビー、エフ、フルラー

一種庫司 一人

頭ノ指揮ニ應レ内外國ヨリ一般ノ良種ヲ買ヒ蓄積シテ諸部ヨリ乞フノ時書吏長檢印ニ依テ是ヲ分配スル等ヲ司リ且分課ノ事ヲ記録スルヲ司ル事ノ多少ニ増減アリト雖モ通例凡男女十二名ノ職人ヲ管理シテ任役監督ス

歳俸同シ

現今在官 アンデリユー、グラス

一書庫司 一人

農事ニ関スル所ノ書籍及ヒ地圖等ノ事ヲ司リ且農書ヲ購求シ及ヒ當局一般往復ノ書信其他ハ官印ヲ置クノ事ヲ司ル

歳俸同シ

現今在官 ガエー、ビー、ロスセル

一本草司 一人

本草ノ分課ヲ司リ普ク草木ノ見本ヲ蓄積シテ其品格ヲ明辨シ當課ノ通信ヲ司リ頭ニ事務ヲ報告スル等前ニ同シ

歳俸同シ

現今在官 ガホルガ、ワスエキ

一通信官 五人

教令及ヒ種物等ニ関スル所ノ信書ヲ録シ且報知ヲ司リ頭書吏長其他分課ノ局々ヨリ渡ス所ノ文書等ノ事ヲ務ム

歳俸同シ

現今在官エー、ビー、グラシ

チヨルゲ、ヘルミツク 外國應答ルノ
文書

ダブリユー、ゲー、コウエニー

エフ、エキチ、ノームパエー

チヨースエフ、ダブリユー、ウキルソン

一 分離佐官 一人

歳俸千六百弗

現今在官ウキリヤム、マートリック

一 出納佐官 一人

歳俸同シ

現今在官エー、エス、ニユートン

一 博典佐官 一人

歳俸同シ

一 種園佐官 一人

現今在官チアールス、アール、ドツガ

歳俸同シ

現今在官チエー、エキチ、ブルンメル

一 種庫佐官 一人

歳俸同シ

現今在官チエー、エン、バツドロニー

一 寫状書吏 二人

来信郵便ノ月日ヲ記シ且其要事ヲ抄録シ是ヲ出版スル等ノ事ヲ務ム

歳俸千八百弗

現今在官アール、チー、ライン

歳俸千四百弗

現今在官チエイ、エキチ、ベツケレス

編輯書吏

一人

編輯局ヨリ諸部へ送リタル廻状ノ返信ヲ撮理シ

是ヲ編輯スルヲ務ム

歳俸千八百弗

現今在官イー、シー、メリツク

一同

二人

農事一般及ヒ市場農産ノ價格形勢等ノ事ニ付編

輯局ヨリ諸部へ送リタル廻状返信ノ表ヲ記録シ

編輯スルヲ務ム

歳俸各千六百弗

現今在官ヂョーセフ、ポー、スタブラー

ヂョン、ブラドリ

一同

一人

出版スヘキ信書等ヲ抄寫シ且廻状等ノ書筒名宛

ヲ記ス等ノ事ヲ務ム

歳俸千四百弗

現今在官アール、イー、スミス

一同

一人

編輯ニ要スル所ノ廻状ヲ抄録シテ冊子ニ列ルヲ

務ム

歳俸千四百弗

現今在官ウヰリヤム、フレツチヤ

一 雜記書吏

一人

文按ヲ調ヘ臨時ノ事故ニ於テ推下ニ送ル所ノ令書ヲ認メ或ハ草稿ヲ讀ミ糾合浄書等ノ事ヲ務ム

歳俸千四百弗

現今在官ホーレシ、パイパー

一同

一人

農事ニ関係スル経験ノ積成ヲ掇理纂輯スルヲ務ム

歳俸千六百弗

現今在官ゲエイ、エツキス、バルロー

一抄寫書吏

一人

エルヨリ「ズエ」ニ至ル記号ヲ冠ル所ノ書簿ヲ管掌シテ参考ニ供スヘキ書翰等ノ抄寫ヲ務ム

歳俸千二百弗

現今在官シト、ゲー、カムペエブル

一同

一人

同前「エ」ヨリ「エ」ニ至ル部ヲ管掌スル前ニ同シ

歳俸同シ

現今在官エス、エヌ、スレター

一同

一人

書翰及ヒ記号ヲ調ヘ書吏長ノ検査ヒレ背書ニ依テ諸返書等ヲ調ルヲ務ム

歳俸千二百弗

現今在官ゲエイ、エドナ、スプリングマン

一同

二人

文章書翰及ヒ質問用紙等ヲ記ス

歳俸九百弗宛

現今在官イー、エー、シーネス女

ソツビー、スワンク女

同

一人

父掌書翰類ヲ抄寫ス

歳俸九百弗

現今在官ヂエリ、エス、ムール女

同

一人

同前

歳俸同レ

現今在官エー、エス、カードウエル

一 問條用紙書吏 一人

問條用紙ノ事ヲ務メ且頭ヨリノ書筒等ヲ記ス

歳俸千八百弗

現今在官フレデリッキ、ワッツ

一 郵便書吏

一人

郵便書信往復ノ事務且書翰ヲ認ル等ノ事ヲ佐ク

歳俸千二百弗

現今在官ダフリユー、ダブリユー、グリーシ

一 禽獸雛形工

一人

農事博物ニ供ル所ノ禽獸及ヒ虫類ノ脱身等ヲ細

ユシ且之ヲ保護スルヲ務ム

歳俸千弗

現今在官チー、ツリラー女

一 博物應接吏

一人

博物看客ニ應接シテ尋問スル所ノ諸件ヲ説示ス

ルヲ務ム

歳俸同レ

現今在官レー、レー、ムートン女

一 模寫吏 一人

兼管其他虫魚ノ雜形ヲ模寫シ且外國書信等ノ譯
ヲ務ム

歳俸千二百弗

現今在官ダブリユー、エヂチ、シーマン

一 顕微鏡吏 一人

試評ヲ乞フ為メ諸部ヨリ送致セシ草菰等ノ物質
ヲ試験シ之ヲ報知スルヲ務ム

歳俸同シ

現今在官ソーマス、テイロル

一 種庫書吏 二人

公會議院ヲ始メ諸農事交社ハ素ヨリ乞フ所ノ諸
人ニ分配シタル種子ノ書簿ヲ主ル

歳俸千四百弗

現今在官

同千二百弗

現今在官エー、チー、ロングリー

一 書吏 一人

上放シタル書翰及ヒ質問用紙ヲ掌理ス

歳俸千二百弗

現今在官エフ、ヂエイ、ネーグル

一 同 一人

諸部農事交社ノ名簿ヲ整列記録スルヲ務ム

歳俸同シ

現今在官エス、イー、チヤムベリン

一 觀象課書吏 一人

觀系課ノ録知史ヲ録ニ關係ノ通信ノ務ム
歳俸千四百帛

現今在官チエイ、シー、フラスラー

書火 一人

諸部農事交社ノ名簿ヲ整列記録シ且各社ノ通信
ヲ務ム

歳俸千六百帛

現今在官チグリユー、ポー、タムソン

一記録預リ 一人

記録ヲ掌理シ頭及ヒ書吏長ノ指揮ニ依ラ之ヲ諸
部ニ運送スル等ノ事ヲ務ム

歳俸千二百帛

現今在官チグリユー、ダー、コバチー

一器械方 一人

諸器械及ヒ局中温度器装置ノ事ヲ務ム

歳俸千四百帛

現今在官チエイ、ダブリユー、スタヘ

一木工兼指物工

局中ノ建具及諸修覆ノ事ニ注意シ且箱類ヲ作ル
等ノ事ヲ務ム

歳俸九百六十帛

現今チヨースエフ、ヘリー

通計官負諸工ニ至ル五十二人

内婦人五人

外ニ職人三十七人

西曆一千八百七十一年第六月ヨリ同二年六月三十日ニ終ル十二月ノ官費支給如次

一 歳俸七万五千七百七十弗

一 編輯局一万五千弗

一 種庫四万五千弗

一 試験種園一万弗

一 臨時官負一万二千九百弗

一 諸財及修費四千七百弗

一 博物局二千弗

一 書庫二千。五十弗

一 諸職人三千四百五十弗

一 管轄地ノ修繕二万六千八百弗

通計十九万七千。七十弗

一 諸布告通信及種子等ヲ諸部ヘ贈ルノ郵便ニハ
一 以下ハ無償ナリ

政
官

事務章程

鳴門義民譯

一農部省ノ目的ハ當省勸設ノ章程中ニ於テ明亮ニ縷述スル左ノ如シ

此章程ハ合衆各邦ノ代議士ノ會合セル所ノ議院ニ於テ決議スルモノナリ

第一章

合衆國ノ政廳ヲ建ツル所ノ地ニ於テ農部省ヲ設置セ
ル旨趣ハ農部トイヘル意ニ基キ合衆國中ノ人民ニ
作ニツキ必要ナル諭言ヲ示シ且新タニ有益トナルハ
キ種子類并ニ植物ヲ求メ得之レヲ分賦シテ生殖セシ
ムヘキ為メナリ

第二章

又議院ノ決評ニ從ヒ大統領ヨリ農部省全權ノ者ヲ命

政
官

スヘシ此全權ハ農部省全權ハ農部省ノ事務長官ニシテ大統領ヨリ命シタル所ノ諸省ヲ統フル國內士官ト同等ノ權ヲ有シテ其省ヲ司リ毎歲俸金三千弗ヲ受クヘキモノナリ

第三章

又農部省長官ノ本務ハ智畧ヲ盡シ方法ヲ設ケ書籍類或ハ通信家或ハ實驗或ハ試験ノ記録及ヒ稱量ノ集録等ヨリ農事ニ緊要ナル報告類ヲ摘録シテ之レヲ省中ニ聚蓄シ且ツ貴重スヘキ新種子新樹ヲ集ルルニ盡クシ又耕耘試驗シテ其得失ヲ察知シ且ツ之レヲ生殖セシメ其必益トナルヘキモノヲ蕃殖シテ以テ農家ニ分配スヘキモノトス○又毎歲其施行セシ顛末及ヒ貨幣ノ出納トヲ記載シテ之レヲ大統領ト議院ニ報告シ且

ツ之レヲ刊布スヘシ○大統領及ヒ議院ニテ特別ノ事件ヲ要セハ長官之レヲ調査シ其意ニ適セル各款ヲ報スヘシ○長官亦内部省專賣免許局ノ農部ニ屬セル一切ノ事務ヲ擔任シテ之レヲ總理シ且ツ園圃ヲ開キ之レヲ所有シ之レヲ定ムル一ノ管掌ヒ及ヒ議院ノ議了セル農部省定額金ノ出納ヲ司リ從來農部ニ費セシ金額ト殘額トヲ記シ其會計書ヲ明示スヘシ農部省長官ハ合衆國ノ郵便ニテ該省ノ文書ヲ無價ニ往復スルヲ得ルヘキ一但シ一便ノ秤量三十二ヲンスヲ限リトス

第四章

又農部省長官ハ二千弗ノ俸金ヲ與フル所ノ書記官ノ長ヲ命スヘシ此書記官長ハ長官他出或ハ不在ノ中其長官ノ職掌ヲ執行フ者ナリ又長官及ヒ他ノ官負ヲ選擇ス

ハ其俸給ハ政府ノ諸省ニ於テ同等ナル官員ニ照準
ス辨々議院ニ於テ之レヲ決定ス但シ省中ニ要スル人
員ハ時々議院ノ會議ニ於テ決定スヘシ即チ化學者本
草家蟲學士其他凡テ農事緊要ノ理學ニ達シタル學
士輩トリ○長官及ヒ諸官員ハ該省ニ本務スヘキ事ノ
神ニ誓ツテ其約ヲ固ムヘシ○又上ニ云フ長官及ヒ書
記官其職掌ヲ奉スル前ニ合衆國大藏省ニ祇當物ノ証
券ヲ出スヘシ即チ其額ハ長官ハ一万弗書記官長ハ五
千弗ナリコハ農部省事務ノ為メニ受領セル所ノ金額
ノ三ケ月毎ニ計算シテ大藏省ノ正算司ニ差出シ其過
失ナトヲ認メレシメ尚長官及ヒ代理人ノ誠實ナル處分
スル為メニス此証券ハ過失アル中ニ至リ其過失ニ應
スヘキ為メニシテ大藏省検査頭ノ官署ニ収置スヘキ

者ナリ

千八百六十三年五月十五日

右章程中ニ於テ當省ノ事務ハ精密ニ記載セリト雖モ
其職ノ奉スル為メノ細詳ナル編制ト必要ナル設備ト
ハ暗ニ悉ク其長官ニ依托セル事ニ注意スヘシ大責ナ
ル此依托ノ一成效ノ中ニテ農事課中ノ專賣免許局ニ
於テ意ヲ注キシ方法ハ中絶スル一ナク且ツ當省ノ初
制ハ其課ノ旨趣ニ際限アリシモ事務逐次ニ進歩シ一
ツノ律例モ議院ノ勸解ヲ受ルナク當初思ヒ到ラサリ
シ所ノ數種ノ形勢ヲ含ミ今日ノ如ク盛大ナルニ至レ
リ斯ク逐次ニ艱業セルモノハ藪木聚養場并ニ當省ノ
地ヲ裝飾シテ公平ナル趣味ノ畜育并ニ稀有ナル外國
種ニシテ米國ノ地質ニ容易ク馴レ益トナルヘキ植物

戸元テケル所ノ大ナル畜産所ノ建築并ニ南部農業ノ
 回復并ニ農學校ノ振起并ニ進歩セル農家園丁家菜樹
 家華ヨリ日々各種ノ物件ヲ通達シテ當省ノ注意ヲ促
 セル應答消息等ト呼フモ妨ナカラシム當省ハ右ノ如ク
 大クナセバ其初ハ然ラサリキ此各種ノ各課其管理日
 ヲノ事業ニ至テハ立法ノカヨリ及テ慣習ノ勢ニ成レ
 リ又當省ノ事務ハ甚々異ニシテ他省ノ課業ニ全ク倣
 ハサルトト思考スヘシ耕耘ハ今日緊要ナル状態アル
 モ明日ハレカラス右ノ自趣ハ唯當省ニ時々生ヒレ所
 ノ處置ノ變更ヲ縷述シ且ツ既往ノ試験ニヨリ農事ニ
 進歩セル各友ノ嘉シテ注意撰舉アル所ノ他ノ變更ヲ
 誘フヘキ望ミニ應センノミ
 ○方今農部省ニ於テ編制シテ管掌セル各課左ノ如シ

第一 編輯兼布告課

國士學者ハ編輯司ナリ

第二 種子類分賦課

課長ハ種庫司ナリ

第三 園丁蕃殖課

課長ハ種園司ナリ

第四 化學課

化學士ハ分司ナリ

第五 本草課

課長ハ本草司ナリ

第六 蟲學課

蟲學士ハ博典司ナリ

第七 博物館課

博物館司ナリ

第八 書庫課

課長ハ書庫司ナリ

第九 通信記録會計課

課長ハ出納書吏ナリ并ニ通信官アリ

第十 証書公賦課

爰ニ賢哲ノ批評ヲ鼓舞センコトヲ欲シ右各課ノ律例ト
 其事業トヲ解説ス若シ當省ニ於テ關係トサハルヲ得
 サル所ノ事務ニ怠リアルハ各友必ス其過失ヲ知ル

ハシ然レ此銳敏直實ニ此事務ヲ勤ムルハ必ス其信
庸ヲ得ラルヘキナリ

第一編輯兼布告課

本課ハ國誌學者一名ト書記官十名トニテ成レリ又此
中ニテ部ヲ分ケ月々歳々ノ編輯ノ設備ト當省ノ別格
報知トソ司リ他ハ報知類ノ文字ヲ可否訂正スルヲ
司レリ故ニ其事業ハ編輯出版ノ兩課ニ等シ當省ノ事
務ハ自ラ増加スヘケレハ右ノ業ヲ別ケテ特權ヲ有ス
ル所ノ別課トナラン一必ス迄キニアラン

○農事ニ依テ生スル產物收納ニ關レル所ノ編輯物ノ
定時新報ヲ聚集スル一ハ當省設置後直ニ永ク省ノ管
理ト確定セリ其緊要ナル一ハ久シク世ニ知ラル當國
人ハ農事方法ヲ給與ト價直ト後日ノ意見收納ノ多寡

トヲ聞知スル一ヲ欲シタリ此報告ハ人口ノ定負ニ隨
ヒ十年ニ只一次ノミニシテ其他ヲ要セサルハシ久シ
ク希望セル所ノ編輯課ハ確定シテ其闕漏ヲ補ヘリ農
事編輯書ノ聚集ト報告トノ方法ハ當今注意スル所ト
大略同シ通信家ハ國郡毎ニテ其社負定マレリ現今ニ
至リ其總數々千トナレリソハ少キモ合衆國ノ郡毎ニ
一通信家ヲ置クヘキハ當省ノ目的ナリ但シ一郡ニ四
名以上ノ數ヲ分派セス此通信家ハ金銀ノ資給ヲ受ケ
ス但シ當省ノ報告ト種子類ヲ給與スル事ニ依テ各其
務ヲ奉ス此人負ハ百名ノ中一名モ商工ノ中ヨリ選ハ
ル、一ナク大抵業ニ慣レタル所ノ農人ノ中ヨリ選舉
セリ其人々ハ特ニ卓越セル農民ニシテ農事ノ目途ニ
於ケル報告ヲ適宜ニ往復シ各其地方ノ住民ヲ誘導ス

ルノ盡カアルニヨリ選擇セラレタルモノナリ○毎月
ト左日ニ圖圖ノ畝數ト植物生長ノ景況ト收穫ノ額及
ト價在其他産物ニ關係セル所ノ問題ヲ特別ニ陳述シ
タル轉章ノ設ケ右ノ通信家ニ贈リ其四答ハ務メテ精
察ニシテ明亮ニ了解セララル、為メ數字ニテ記載スル
トノ要セリ方今ハ常ニ右轉章中ニ左ノ說示ヲ刊載ス
即チ坪數ト景況ト前數年トヲ比較シタル收穫ノ額或
ハ收納平均額ノ比較トニツキ百ヲ題トナシ收納ニ一
割ノ増アレハ百十ト書レ五歩ノ減レアレハ九十五ト
記スハト等ナリ○石ハ通信家ノ注意及對スル欲或ハ
思考ノ不正ヨリ起ルニアラサレハ要スル所ノ應答ヲ
ナスニ至リ錯誤ヲ生セサルナリ但シ何等ノ一ニテ七數
學ノ精密ナル應答ヲ需ムルニアラス唯聚算ノミニテ

是レリトス耕耘セル田圃ハ計量スルニアラス又水旱
典草等ニテ意外ニ生スヘキ災害ハ預言スル能ハス且
ツ畜産ヲ算セス收納ハ權衡ニ當テス○轉章ハ分賦セ
シ月ノ次月ノ第一日ニ返却スヘシ當省ハ右ノ答書ノ
得ルヤ直ニ其中ニ記載セル條件ヲ類別シテ表トナシ
國誌學者之ヲ評論シ而シテ後チ印刷シテ當省ノ月報
トナレ之ヲ頒布ス方今ノ長官ハ常ニ好テ本月中旬以
内ニ出板セリ年報ノ一部ハ右通信家ノ月答ノ輯録ニ
テ成レリ毎年農事ニ就キ出産シタル者ノ計算ハ十年
ニ一次編成スル戸籍ノ下ニ記ス但シ當省ニテ施業ス
ル所ノ各品ノ收納ノ地坪及ヒ其産出ノ「ブツセル」凡ソ
或ハ噸七九十一貫二或ハ一年ニツキテ幾許ト云ヘル價ノ事
等ニ至リテハ之ヲ掲載セス又當省ノ月報ト年報ニハ

大塚ノ商月日記ニ掲ケタル物品ノ時價ノ再記セリ○
編輯課ニ属セル文學ノ事務ハ省中ニ設備スルモノト
省外ニ分賦セルモノトノ兩般ニ類ヲ分ツ省外ニ分賦
セル出板書ハ一葉幾許ノ定價ニテ賣與スル印書ハ通
常定マリタル通信家ト臨時ノ通信家トニ轉章ノ贈リ
ヲ搜索シタル應答ノ特別ナル旨趣ト内外ニ流布セル
農事ノ報告トニ因テ輯録セリ○スミツソン氏ノ撰
定セル氣中顕像學ニ関スル通信家ノ注意セシ記録ヲ
以テ從來當省ノ月報ト年報トノ中ニ陸續掲載セリト
イハトモ農家ノ夕メニ裨益少ナク且ツ徒ラニ其紙面
ヲ塞クコト多キヲ以テ今時之ヲ刪レリ但シ「スミツソン
氏」ノ遺業トモ看做スヘキ合衆國各地ノ氣候ト日々ノ
天候トニワキヲハ議事院ノ章程ニ於テ軍務省中暗号

隊ノ職掌スル所トナレリ農部長官モ又氣中顕像表ノ
如キハ政府ノ律例ニ應セサル歟アルヲ以テ寧ロ之レ
ヲ他ニ属シ當省ノ報中ニ記セシテ可ナリト信セリ
氣中顕像表ノ報告ニ辨解ナケレハ農家ノ夕メニ益ア
ラサルコトハ南部農會社ノ書記ヨリ當省ノ長官ニ寄セ
タル所ノ書翰ニ能ク之レヲ縷述セリ今之レヲ左ニ摘
掲ス彼レ當省ノ事務ニツキテ曰ク顯像學ノ中ニモ毎
歲晩春ノ終霜又早秋ノ初霜并ニ各季ト成長収護ノ間
トヲ區別シテ寒温降雨ノ幾許等ヲ記載スル如キハ余
輩ノ夕メニモ聊カ益アルヘキ欲農家ハ自己ノ注意カ
成ハ農部省及て暗号隊ノ著目ヲ仰カサレハ此等ヲ一
般ニ處分スヘキ餘暇アラズ亦其能ク有セサルナリ方
今ノ收納季節ヲ過マササル所以ハ余輩ノ誘導ヨリナ

ルド雖モ一ツノ記録ヲ存セス

月報ハ三月五月八月十一月ノ四ヶ月ヲ除キ毎月二万
七千冊ヲ印刷シテ新聞家農會社農學校并ニ其社中當
省定例ノ通信家議院ノ官負他國在留ノ特許ヲ得タル
官員ト華盛頓ニ在ル外國ノ全權トニ分賦ス年報ハ凡
二十五万冊ヲ印刷セリ就中唯二万五千冊ノニ當省ヨ
リ分賦シ自余ハ議院ノ官負ヨリ分賦ス當省ヨリ分賦
セル二万五千冊ハ大抵定例ノ通信家ト農會社ト各種
ノ願人トニ贈レリ此月報年報ハ總テ合衆國議事院ノ
印刷匠ヲ以テ印刷セリ又議院ノ卓越タル貴官ト農部
ノ長官盡カトラ以テ別ニ年報ノ冊數ヲ増加シ置キ何
人ニテモ要ムル者アレハ之レヲ賣與スヘキトス但
シ政府ニ納ムル本價ハ印刷裝綴ノ費ヲ合セテ一冊五

十錢ナリト記シテ可ナリ故ニ郵便并ニ包費ニテ其雜
費凡六十錢トナラン○當省ノ年月二報ノ旨趣ハ世人
能ク知ル所ニシテ年報ニハ不朽緊要ナル農事ノ告諭
ヲ示シ月報ニハ収納ノ推算ト市街ノ新報トヲ加ヘ通
信家等ヨリ得タル所ノ日新ノ農事ヲ述フ然リト雖モ
現今ノ長官ハ尚月報ノ貴重ヲ増シ其感應ヲ擴ルト
以テ急務トセリ己ニ長官ハ省中數課ノ人負ニ其課毎
ニ月報ノ紙數ヲ分ツヘキト命シ且ツ從來ヨリモ一
層書体ヲ變更シ務メテ了解ナシヤスカラシメント欲
ス又月報ハ毎歲八回刊布ノ制ナレトモ少ナクモ毎月
一回ツ、刊布スルナラハ適宜ナラント思ヘリ且ツ其
報書ニハ自他ノ邦國ニ於テ農事進歩ノ新報ト外國ノ
農時新報中ニ掲ケタル所ノ農學ニ注意セル條件ノ摘

録トヲ編加セント欲セリ亦毎歲四回ノ月報ヲ欠クト
キハ農家ノ為メニ益アルヘキ報告或ハ偶然久シク失
スルコトアルニ至ラン○米國ノ農家ニ極テ必要ナルモ
ノハ外國ノ收納ノ景況ヲ知ルコトニアリ若シ外國ノ収
納患キコトアラハ之ヲ速ニ報知ナサハルヲ得スコハ
農家ヲシテ報告ノ遲速ニ基キ屢非常ノ利ヲ占ムル所
ノ仲買人ノ強奪ヲ免レシムレハナリ故ニ内外ノ収獲
ト他國食品ノ時價等ノ如キ總テ有益ナル新報ヲ編輯
シ少ナクモ毎月一次報告スルハ國ニ對シテ當省ノ務
タル疑ヒヲ容レス

第二種子類分賦課

一本課ノ權ハ機關ノ章程中ニ明亮ニシテ當省事務ノ
景況ヲ誘導セリ但シ或ハ時アツテ種子ノ分賦ハ緊要

ニアラストノ疑難ヲ生スルコトアリ其旨意ハ農家輩ノ
費ナク徒手ニ種子ノ袋ヲ受ルハ恰モ木匠治工ノ貨幣
ヲ費サスニテ職業器械ヲ其政府ヨリ得ルカ如シト云
フ是ナリ然レド種子ノ分賦ニツキテハ緊要ナル二ノ
旨趣ヲ体認セリ第一種子ハ一收納ヲ生スヘキ饒多ナ
ル數量ヲ一家及ヒ一社ニ付與セス第二分賦セル種子
ハ農家ノ容易ク獲カタク所ノ異種ニシテ之ヲ受ル
ト雖モ木匠ノ鉋治工ノ如ク唯ニ得ル者ノミヲ益セス
○小麥^{ハカ}裸麥^{ハカ}燕麥^{ハカ}大麥^{ハカ}綿等ノ種子ヲ試驗ノ為メニ贈ル
ハ唯一クツラト^{ハカ}凡^{ハカ}合^{ハカ}ヨリ一^{ハカ}ブツセル^{ハカ}凡^{ハカ}ニ^{ハカ}斗^{ハカ}迄ノ
ミナリ若シ異種ノ従前ヨリ耕耘セシモノニ勝レルコト
ヲ認メ試驗ノ必要ニシテ捨テ難キヲ証セハ試驗家ハ
必ス意ヲ注キテ其物産ニ勉メン然ラハコレヨリ逐次

ニ收納ノ増加ヲ得テ全國ノ益トナルハシ千八百六十
九年ニ當省ノ年報中ニ書記官「インベイ」氏ノ掲載シタ
ル所ヲ左ニ摘録シテ何等ノ利益アルヘキ歎ヲ示スハ
シ即チ千八百六十八年當省ノ年報ニ掲ケシ呀ハ小麥
ノ收納二億二千四百〇三万六千六百ブツセルニシテ
此地坪千八百四十六万〇百三十二エイクル一エイク
ルハ一エイク
ニ坪平均一エイクルニ坪毎ニ十二ブツセルル一分ノ收穫ナ
リ其價ハ一ブツセルニツキ一弗四十二錢ツ、ニテ總
額三億千九百拾九万五千二百九十弗ナリ當省ヨリ分
賦セシ小麥ヲ「タバハ」ノツク「タバハ」地名ニ
於テ試驗セ
レ報告ニ平均二十五ブツセルツ、一エイクルル毎ニ収
納セシ一ノ記セリ千八百六十八年ノ地坪ニ於テ右ノ
割合ニ収額セハ其高四億六千五百五十万〇三千三百ブ

ツセルトナル即チ二億三千七百四十六万六千七百ブ
ツセルノ増トシ「タバハ」ブツセルノ價一弗四十二錢ナレ
ハ三億三千七百二十万〇二千七百十四弗ノ増金トナ
ルベシ然リト雖モ別ニ試驗ニ注意スルトナク從來ノ
如ク尋常ノ小麥ヲ播種シテ之レノ收穫セハ素ヨリ其
收穫ノ額ハ二十五ブツセルヨリモ過カニ低カラシ但
ニ若シ「タバハ」ノツクノ收穫額ヲ低ク算シテ一エイク
ル毎ニ十五ブツセルツ、ノ増産ヲ得ハ五千五百三十
八万〇三百九十六ブツセルニシテ其金ハ七千八百六
十四万〇百六十二弗ノ増トナルヘシ○千八百六十八
年ノ燕麥ノ收納ハ二億五千四百九十六万〇八百ブツ
セルニシテ此地坪ハ九百六十六万五千七百三十六エ
イクルナリ即平均一エイクルル毎ニ二十六ブツセル三

分ツ、トナル其價ハ平均一ブツセルニツキ五十五銭
ツ、ニテ総額一億四千二百四十八万四千九百十弗ナ
リ又當省ヨリ贈リタル所ノ燕麥ノ新シキ異種ヲ「エキ
セルシヲル」石地ニテ試験セシ報知ニハ一エイクル毎ニ
平均四十ブツセルツ、ノ収納ニシテ一エイクルニ六
ブツセルヲ獲ルモ非常トナサスト右新種ヲ通常ノ
産出ニ見ナシ平均一エイクル毎ニ三十ブツセル三分
ノ収納ト計算セハ千八百六十八年ノ収納ヨリ多キ
平均一エイクル毎ニ四ブツセルツ、ニシテ燕麥ノ一
種タモ國ニ富ヲ加フル一三千八百六十六万二千九百
四十四ブツセルニテ其價ハ二千百二十六万四千六百
十九弗ナリ又新種ヲ得テヨリ数年ハ經サレ「正キ
ルシヲル」ノ燕麥ノ量目ハ尋常種ヨリ平均二割重キ事

トス屢一ブツセルニツキ新種ハ量目四十ポンドヨリ
四十五ポンドト報知スル「ア」レトモ之レノ平均三十
六ポンドト見ナシ尋常種ヲ三十ポンドト計算ス而シ
テ前ニ拘ケタル所ノ金額ニ二割ヲ加ヘハ其増二千五
百五十一万七千五百四十二弗トナルヘシ○當省ヨリ
新シキ異種ヲ贈リ之レヨリ生シタル所ノ有益ナル成
効トナス近來ノ數例中ニテ左ノ二條ヲ摘録ス一ツハ
「イリノイス」地名ノ「ホウキ」トレル「人」氏ヨリ「野」ノ農家ニ
贈リタル書ナリ其言ニ曰ク「五ヶ年前余々隣人ノ賢キ
一名華盛頓ヨリ小麦一袋ヲ受ケ之レヲ試験シ第二次
ノ収納ニ半エイクルノ地ニ於テ家上ノ小麦十八ブツ
セルヲ得タリ他種ノ小麦ニテハ一エイクルニ唯五乃
至十ブツセルノ収納ノミニ過キスト雖モ此小麦ニテ

昨年一エイクル^ル毎ニ二十乃至三十ブツセルツ、収獲セリ就中此小麥ノ有益ハ一エイクルニ其種唯四五ペツク^ハハ五ツク^クヲ要スルノミ且一ブツセル^ルノ重量ハ六十四ポンド^ドアリ故ニ市場ニ在テハ第一等ニ位ス而シテ^名眞^名炎^名ノ害ヲ受ケスト次ハ^名ミ^名ネ^名ツ^名タ^名ノ^名ド^名ン^名バル^名氏ヨリ合衆國ノ議事官ラムセイ^君ニ贈リタル書ナリ曰ク三ク年ニ足下ヨリ賜ハリタル所ノ燕麥ハ上品ナル一ヲ証ス之レヲ三十ブツセル^ル三十弗ニテ昨年種子ニ賣レリ右ハ一ブツセル^ルノ重量四十七ポンド^ドツ、アツテ一エイクル^ル毎ニ九六十ブツセル^ルツ、収獲セシモノナリコレハ亦重量ニテ算セハ九十ブツセル^ルトナラン余ハ本年四百六十五ブツセル^ルヲ産セリト○植物并ニ種子類ノ悪クナレル原因ハ了解シ難キニ似タリ曾テ

耕耘ニ注意スレトモ漸次ニ悪クナレルハ防キ難カラシカコレ多ク其植物ニ土質ノ應否アルト思考ス小麥ノ耕作ニ適セサル上ハ實ニ其質ヲ悪クシ且ツ収納ノ額ヲ減スヘシ但シ植物ノ慣習下其地ノ土質ト互ニ應スル所ニ於テ若シ植物ノ質ト額ノ悪シクナルトアレハコレ種ノ撰擇ニ注意セサルト地ヲ耕スノ整ノハサルニ帰スヘシ大麥燕麥等ノ如キ種子類ハ國ニヨリ地方ノ氣候其耕耘ニ適セサルヨリシテ通常質額ノ衰耗スルトアリ右大麥ト燕麥トハ切ニ久シキ適宜ノ濕ト生育セル間ノ氣候ニ潤キアルヲ要ス燕麥ニツキトヤンバル^氏ノ字書ニ曰ク大麥ノ粗種ノ如ク遙遠ナル北地ニハ移シ難シト雖モ燕麥ニハ乾燥ヨリハ寧コ濕氣濕氣ヨリハ寧コ冷氣ナルコソ適宜ナレト寒ク春

ノ違キト夏ノ蒸日トハ燕麥大麥ニ適セス但シ右ノ景
況ハ常ニ合衆國ノ各地ニアリ其種子ノ選擇ニ意ヲ盡
シ耕耘ニ不足ナシト雖モ尚収納ハ通例減耗ニ傾ケリ
此傾ヲ回復スルニハ唯右ニ種ノ適地ナル北歐洲ヨリ
時々新種ヲ得テ當國ノ農家ニ分賦ナスニ如カサルノ
故ニ昨年中「セルメン」ト「スコットラン」トノ産ニシ
テ一ブッセル」ノ重量四十五ポンド「ドツ」アリレ所ノ燕
麥ヲ殆ンド一十ポンド當省ヨリ分賦セリ當國ニ於テ
數年間産シタル所ノ米國燕麥ハーブッセル」ニツキ三
十ポンド以上ノ重量アルモノ殆ンド稀ナリ○若シ當
省ヨリ分賦セシ種子ノ優レル」ノ内外ノ通信等ヨリ
發見スル欣或ハ其種子ヲ政府ノ雜費ニテ需メ農家ニ
分配ナカハル片ハイカニシテ我農家ヲレノ斯ク速ニ

驚クヘキ産額ヲ産セシムヘケンヤ小麥大麥燕麥ノ如
キ穀類ノ貴種ヲ得ハーブッセル」或ハ其以上ヲ試験ノ
タメ直チニ各州ニ分賦セリ斯ク當省ニテハ一家ノ勉
力ニテ數年間ニナレ得ヘキ事業モ一時ニ多ク成效ス
實ニ私設ニテハ普ク國ノ各所ニ在ル農家ノ需メニ應
スル」難ク又其速カナル」ハ當省ニテ施ス半ニ至
ラサル可シ○米國ノ上地ニ在ル」未ダ其効能ヲ試ミ
サル所ノ穀類ハ普ク國中ニ弘ムルニアラヌ又買者
多カラサル所ノ高價ノ種子類ハ居民ノ疎ナル地方ニ
ハ及ホサハルヘシ當省ノ勉ムル所ハ國ニ富ヲ加ヘ廣
ク農業ノ倚頼ヲ助成シ農部省ヲ叙立セシ智見ノ正ニ
キヲ確定ス○當省ヨリ種子ヲ分賦スルハ第一國郡等
ノ農社中第二農學校第三國誌學者ヲ定リタル通信家

第四議事院ノ議負第五谷種ノ願人ナリ又コノ入々ヨ
リ國ノ各部ニ達シテ農事ノ各益ヲ起ス一ニ勉勵ス又
地方ニヨリテ特別ノ需メアル一ヲ預慮ス例ヘハ南部
ニテハ草類ヲ要ス故ニ州種ヲ贈リ西部ニテハ木林ノ
好ム故ニ成育ノ速ナル木種ヲ分與スルカ如シ方今ノ
長官ハ寧口人負ノ減少ストモ従前分賦セシ種子ノ額
ヨリモ猶多量ニ各試驗家ニ付與セン一ヲ務トス實ニ
僅ニ一掬子ノ種子ニテ試ムルヨリモ五升乃至二斗ノ
小麥燕麥ナレハ充分ナル試驗ヲ遂ケ得ヘキ事心セリ
農學校ハ各其國ニ適セリト思ヘル種子類ヲ以テ多量
ニ試驗スヘシ又農會社ト國誌學ノ通信家トハ當省ヨ
リ贈リタル所ノ穀州類ヲ小包ニ分ツテ數名ニ與ヘス
唯注意セル所ノ其近隣ノ農家ニ耕耘收穫セシ種子ヲ

以テ數月ノ閱セサル間ニ分配スヘキ僅ノ者ノニニ附
與スヘシ當省ハ總テノ願人ニ悉ク貴種ヲ給スヘキ目
途ニアラス唯各地方ニ適スヘキ種子類ヲ贈達スル至
良ノ規則ヲ維持セルノニ農學校ト農會社ト當省ノ通
信家トハ右目途ヲ成就セシムヘキ至良ノ措置ヲナサ
ン一疑ヒヲ容レス總テ當省ヨリ種子ノ受ル者ハ各其
試驗ノ景況ヲ當省ニ報知シ歲月西報ノ中ニ記載セシ
メテ種子選擇ノ誘導ト後日ノ分賦ノ為メニ備ハシ一
ヲ希望ス○種子類分賦課ハ農事ニ精練ナル長官ノ擔
任ニシテ副長官之レヲ助ク書記官三名ハ分賦セル總
種子ノ記録ヲ司レリ又秋冬春ノ間ハ十五名ヨリ三十
名マテノ書記官ヲ増負ス并ニ婦人ハ種子類ヲ包束シ
テ船載スヘキタメニ常ニ之レヲ使役ス當省ヨリ贈レ

ル包種ノ麻袋ハ方今本課ノ中ニ於テ製レリ但シ種子ノ包紙ハ他所ニテ製セルモノナリ千八百七十二年六月三十日ニ本草中植物并ニ種子類ヲ辨買スヘトタメニ具ヘタル官金ノ額ハ四万五千弗ナリ但シ翌年中ノ準備ハ五万五千弗トナルヘシ大抵右ノ半額ハ通例田畑ノ耕耘ニ適セル所ノ種子ノ為メニシ残余ハ菜種木種花種等ノ為メニ費セリ○昨冬ヨリ當春マテノ間ニ國々ノ社中六十九家ト農學校三十一ヶ所ト農會社千九百五十ト凡六千ノ國誌學ノ通信家トニ種子ヲ給セリ又議事院ノ人負ニ其好ム所ノ種子ヲ贈レリ十月ヨリ五月マテノ間ハ各種ノ願人ニ種子ヲ給スルノ平均シテ日々各三百名ニ下ラサリキ但シ準備ニ限リアレハ之レヲ好ムト雖モ總テノ願書ニ應スルノ能ハス

千八百七十一年七月一日ヨリ同二年五月二十四日マテノ間ニ當課ヨリ公賦シタル所ノ種子ノ品類ト其額トノ表ヲ左ニ掲ク

公賦ヲ得タル人

種名	議事官并 議院ノ人負	農社中	國誌學ノ 通信家	農中頭像 學家	各種ノ 願人	通計
蔬菜二百十八種紙包	十萬九千九百六十五	九萬二千二百七十八	七萬五千四百五十五	一萬二千九百八十二	十四萬六千二百五十七	四十七萬九千九百三十七
苧百八十種紙包	七萬五千九百六十四	二萬五千五百二十	一萬〇九百七十九	七千〇三十三	七萬四千六百七十九	十一萬九千九百三十三
草十二種紙包	三十九百四十八				二百八十八	四千二百三十三
水芹常葉木五種紙包	六十八				千五百五十九	千五百五十九
小麥四種「クラールド」	一萬二千八百〇五	八千七百三十三	一萬〇三百		五千七百六十七	三萬七千六百〇八
燕麥四種「クラールド」	四十五百五十七	七千四百四十一	五千二百〇六		四千百〇一	二萬一千〇一
大麥三種「クラールド」	二千五百九十五	三千四百四十八	千三百四十八		千七百十二	八千九百九十九
裸麥「クラールド」	七百九十六		三千〇八十		二百七十八	四千九百五十四

茶種	紙包	三十						百九十五	二百二十五
第玉蜀黍	紙包							二十四	二十四
鴉片罌粟	紙包	七十						四百二十六	四百九十六
支那甘蔗	「クラールト」	二十二						二百〇四	二百二十六
密柑	紙包							六十九	六十九
空豆或ハ	「バインド」							百六十三	百六十三
野茶菜	「バインド」	五十二	二十五百五					四百七十一	二千九百七十
砂糖茶菜	「バインド」	八十一						四百六十一	四千七百四
烟草	紙包	七十七						五千四百八十	二万七千三百
苜蓿	「バインド」	九百五十六	二百四十八					九百〇五	二千百〇九
草種	「クラールト」	二千〇七十	十六					二千七百五十	三千八百四
野豌豆	「バインド」	六百〇三	二千二百二	四				八百三十八	五千三百三
野玉蜀黍	「クラールト」	三百四十五						十六百十五	三千九百八

米	「クラールト」					十四			二十一	三十五
綿	二種「クラールト」	十二						五百四十九	五百六十一	
ラミ	紙包							二百二十五	二百二十五	
麻	二種「半バインド」	十四	六十四					四十六	百二十四	
大麻	「クラールト」							二百三十五	二百三十五	
亞麻	「クラールト」							四	四	
總通計		二十七万四千三百二十三	十四万七千五百三十六	十万〇八千九百四十九	二万〇千			二十四万五千二百二十六	七十九万三千〇四十六	

從來當省ヨリ分賦セシ所ノ冬小麦ノ中ニテハ地中海
 ノ異種ヲ抽タリトス「タバハ」ノツク「地種」ハ「ブルジュニ
 ア」^{地名}ト「パンレムバニ」^{地名}ト「ラレガシ」ニテ産セシ所ノ
 「リースタラリア」種ト「イリノイス」産ノ最上種ノ中ニテ
 得タルモノナリ燕麦ト大麦トハ歐羅巴ヨリ齎シ来レ

リ、スコーネン^ニ白燕麥ハ、ハンボルグ^ニテ需^ムノ、エキセ
ルシラ^ル燕麥ハ、ブリストル^ニ地ヨリ得^ル、ヒルリー^ニ燕麥ハ
イグラス^ニゴ^ニヨリ受^クタリ並^ニ、ラールサイク^ニ首蓆ト、イタ
リア^ニ裸麥トハ、又、グラス^ニゴ^ニ於^テ獲^クタリ、大麻種^ハカ
ルコツタ^ニヨリ受^ク至良ノ砂糖茶^ト野茶^トノ種ハ
パリ^ニス^ニヨリ得^ル、又其地ヨリ庭園^ニ播^クヘキ所ノ佳種子
類^ハ多ク来^レリ、其地ノ庭園^ニ播^クヘキノ種子類ハ、英國
ヨリ来^レリ、但シ、家上ノ番柿、甘藍、葱、瓜等ノ如キ、通常ノ
蔬菜類ハ、我國内^ニ生^セリ、又、通例、花種ハ、歐洲ヨリ輸入
ス、當長官ノ目途ハ、米、國ノ地質、氣候^ニ應^スヘキ良種ヲ
需^ムルニ、アリ、故^ニ名ノ賢^ニ合^セサル如キ、低價ノ種子
類^ヲ退^クル^ヲ以^テ務^トセ^リ、固^ヨリ當省^ニ於^テハ、賤種
ヲ、分^ク賦^セル^ヲ正^シトセ^サル^ハ責^ニ應^シ難^キ商家^ニ

ハ其需求ヲナサ、ルヘシ

園丁植殖課

本課ノ目途ハ、千八百六十七年間ノ農部長官ノ報告中
ニ揭^クル^ニ如^ク、當時ノ課長^ニ依^テ左^ク如^ク、簡易、明^亮ニ
陳^述セ^リ、第一、凡^テ内外ヨリ得^ル所ノ切枝、球根、植樹
種子類^ヲ以^テ當國各所ノ地質^ニ適^スルヤ否^ト其功能
ト^ヲ試^ムル^ヲメ^ノ搬運^ヲ司^リ且^ツ之^レヲ獎勵^ナス事
第二、一種特別ノ培養^ト數種混交ノ培養^トニ依^テ成育
セル所ノ各品^ニ勝^レタル佳質^ヲ得^セシムル事、第三、
樹類、葉質ノ裁刈等^ニ手術^ヲ盡^シ且^ツ其栽培^ヲ異^ニシ
テ產物ノ景况如何^ヲ試^ミ、定^ムル事、第四、植物^ヲ挫^ク
谷種ノ不順、疾病、虫類^ヲ悉^ク查究^スル事、第五、受^クル
所ノ諸種子ノ揭^標品^ヲ悉^ク試^ミル^ヲメ^ニ廣^ク方法^ヲ

本
報
文
庫

設クル事 第六樹牆ノ各種ノ標品ヲ作リ其有益ナル
所以ヲ示ス事 第七葡萄林檎梨桃蛇苺蓬菓^{コルレン}
ツ等ノ如キ至良ノ菓樹并ニ植樹等ヲ聚メテ培養シ各
其功能ヲ比較スル事 第八園庭ノ裝飾シテ景色ヲ加
フル為ノニ適セル所ノヨキ小樹ヲ聚メ樹ル事 第九
外國ヨリ得ヘキ所ノ菓實并ニ植樹ノ培養ヲ究メテ容
易ナラシムル夕メト并ニ建築ノ事温氣ヲ通スル事之
レヲ所置スル至良ノ經濟法ノ例ニ充ツヘキ夕メトノ
兩旨趣ニ應セン夕メト硝子ノ建家ヲ營ム事右ノ旨趣ヲ
則トナシ忤フ所アラサリキ千八百六十二年間ノ本省
ノ成規以來ハ當時ノ課長試験園庭ノ命ヲ司レシ又千
八百六十七年ヨリハ當省建築ノ周圍ノ地モ掌理セリ
但シ此年ヨリ以前試験園ニハ國産ノ菓樹ト他地ノ産

物ナル種子類并ニ植樹ノ佳品ヲ以テ蕃殖セシムル事
ヲ始メ其所置ノ智見ヲ顯ハセリ又示來ハ米國人ノ要
スル所ノ園庭作法ノ試験比較ト其巧拙習熟ノ所ヲ示
ス^ト少ナカラサリ^ト斯レテ園丁學ノ數條ヲ公ニ顯ハ
ス^トヲ得タリ○花園ハ唯花ヲ精密ニ整フル^トノミニ
シテ其類別ト繁茂ハ多ク報知セス○充分ニ温ヲ通ス
ヘキ裝置アル所ノ蓄藏所ハ東西ノ長サ三百二十フー
トニシテ其中央ヨリ又南方ニ百五十フー^ト張出タル
添築アリ其中ニハ二至線地迄傍ノ菓樹ト海外ノ葡萄
深州護謨織品藥種等ノ如キ有用ノ植物類ヲ聚蓄セリ
又萬木聚養所ニハ諸國ニ於テ見出シタル所ノ堅木小
樹類ヲ充分ニ集メ保テリ其他當省ニ來レル視察ノ眼
ヲ慰ムルニハ菜樹ノ試験林ト曲路ト高燥地ト平剪

ノ芝原ト并ニ地勢ノ美景トナリ課長若シ右ノ着手ヲ
ヒロク成シ遂ルニ至ラハ其他ハ書籍ニアラサレハヨ
クナシ得カクキ所ノ日課ヲ施行スヘシ若シ称賛セハ
園丁課ハ面ヲ對シテ問答ナセル所ノ活教師ノ如シト
思ハルソレ菓實ノ名目ト米地ニ於テ耕耘ニ適セル所
ノ數百十ナル外國植物ノ使用ト葡萄、桃、梨等ノ疾病ト
種類ノ錯ヘテ益アル産出ヲ得ルトト接芽栽刈接木ノ
至良ナル方法ト園庭ヲ作り菓實ヲ生セシムルト導
ク良法トヲ學フヘキ所ノ教育人ナリ實ニ本課ハ右ノ
各款ヲ教授シ擔任セラレタル所ノ旨趣ヲ法則ニ從ヒ
達セントテ目途トス新樹珍木ヲ分賦スル如キハ容易
クナシカタカラン故ニ植樹ノ分賦ハ定限アルヲ可ト
ス唯當課ノ事務ニハ其權ヲ有セサルノミ他所ニ於テ

容易ク得難キ外國種ニテ我氣候ニ適當ヤルトテ發覺
シタル所ノ有益ナル貴價ノ植物ト之ヲ當地ニテ試驗
シ生育セシメタル所ノ切枝等ハ當省ヨリ適宜ニ分賦
スヘシ○魯西亞ノ北部ヨリ林檎二百種ヲ得テ其接木
數千種ヲ我西北ノ國郡ニ分賦セシトテ以テ外國種ノ
誌トナシ并ニ米國林檎ノ接木ヲ以テ國産ノ誌ト記載
シテ可ナラン園丁課ノ輸致ヲ斥言スルニアラサレハ
僅ニ分賦セルモノト雖モ小菓或ハ花樹ノ尋常種ヲ育
殖セシトハ必ス唱ヘラレサルヘシ○近時議事院ニ於
テ都府ニアル所ノ公園ハ悉ク農部長官ノ所轄ニ屬ス
ヘキ旨趣ヲ議セリ方今他ニ附屬セサル所ノ本草園ト
公花園トノ事務ヲ奉スヘキ局ヲ設クルヨリハ寧ク有
用ト裝飾トニ用フル所ノ植樹球根蔓類ノ尋常種ヲ其

園中ヨリ分賦スルヲ廢止スルニ若カシト園庭ノ事業
ニ心カク尽スヲ以テ當課長ハ他ノ要務ニ関カレ
妨々タリ英國ハ正ニソノ大ナル「パー」ム機ト高キ類擗
樹ノ培養法ヲ得ント欲レテ觀客ノ世界中ヨリ集マレ
ル所ノ「キウ」地ニ在ル官用本草園ヲ以テ誇レリ但シ其
賜ハ低價ニアラス花壇上ニテ寫影ヲ賣却スルト競フ
一能ハス又本草學ノ景況ヲ悉ク尽ヤリトモ言ヒカク
レ故ニ唯自國ノ勢力ニ任セテ稍々彼レニ類似セシメ
ンノミ

○右ニ記セシ如ク園丁課ノ目的トスル所ハ有用ナル
質ヲ含有シ米國ノ風土ニ適セル外國産ノ植物ニ在リ
上ノ自趣ニ基キ當課長ハ正ニキ告諭ヲ示シ農事ノ以
テ新クニ有益ヲ趨スヘキ呀ノ住民ノ企ツ助ケ成セリ

此助成ハ曾々刊布セザル所ノ官少通信ヲ與フヘシ

ト雖氏其時ニ當ツテ價ヲ失ハサリレ「コロ」ハ合衆國
ノ風土ノ如ク「フハー」レンヘ「ト」寒暖計五十五度以
下ニ下レル温度ノ地ニ於テハ植育セシムル「ト」能ハス
○シン「コー」ナ藥種トナリハ其温度三十二度ヨリ下ラサ
ル地ナレハ培養スヘシコレ南カリホルニアノ風土ナ
レハ成育スヘシト思ハル○茶ト「イウ」カリトス、グロブ
ユ「ロ」ス油ヲ含ムルトハ唯合衆國ノ或ル地方ニ於
テノミ生育スヘシ○橄欖ハ我南部ノ地ニ於テ榮エン
但シソハ成長ノ速カナラサルト其油ノ容易ク質製ス
ヘキト「ク」以テ培養ナスト雖モ「フ」ノ益多カラシ○無花
果ハ北方「バル」ヒモ「ル」「マ」北部マテノ地ナレハ幸
ニ育殖スヘシ而シテ「ソ」ノ地方ニ於テハ蓄方ニ意ヲ尽

スト雖モイマタヨク遂ル一カ夕シ故ニ菓實ヲ乾燥セ
シムル近年ノ良法ヲ以テ試ムヘキ趣ヲ諭告セリ右數
例ノ如キハ時々尋問ノ應答中ニ當課ニ於テ記入シタ
ル所ノ告諭ノ主意ヲ証スル夕メニ掲ケシナリ當課ハ
唯無益ニ試験ヲナセルノミニカヲ用フルコトヲ防キ
且ツ適宜ノ指令ニテ人ノ作業ヲ獎勵セル告諭ヲ示シ
農部省ノ事務ニ功績ヲ加フル一少ナシトセス○當課
ハ當省ニ聚メタル外國ノ植物類ノ目錄ヲ録シテ而シ
テツノ寫冊ヲ賓客ノ覽ニ供ス又昨年中ニ顕微鏡ニテ
梨ノ腐敗點ノ黃色葡萄ノ黴其他菓實疾病ノ原因ヲ查
索セリツノ趣ハ本省ノ報告ニ掲載スヘシ蓄藏所ハ近
時外國ノ葡萄九十種ト柑類百七十種ヲ増加セリ
○本課ハ課長一名ト副官二員ト其命ニ從フヘキ僅ノ

カ作人トニテナレリ○當省地ノ設備ハ未タ全ク整ハ
ス千八百七十一年ト同ク二年トノ間ニ右設備ノ夕メ
ニ官金二万六千弗ヲ費セリ試験園庭ノ夕メ右兩年間
ノ準備金ハ一万弗夕リ此額ニテハソノ年中ニ育殖セ
シメテ分賦セシ各種ノ植物ヲ買ヒ得サラン

化學課

此課ハ化學士ト助官トノ二名ニテ司レリ其施業場ハ
國內ニ於テ取モ全備セシモノ、一ニ居レリ而シテ分
折用ノ諸品ヲ辨買スヘキ備金ハ自由ニ處分シテ妨ケ
ナシト議事院ニ定メ夕リ實ニ此學科ノ有用タルハ際
限アラサハナリ近來農事ノ化學ハ進步セル米國農家
ノ注意ヲ促ス少ナカラス農家ハ論理ノ教令ト日々ノ
作業ノ原由トソノ倚頼ニ充ツヘキ實業ノ誘導トヲ以

戸部カノコレヲ農部省ニ仰ケリ農事ノ化學タルリ
ビクアヲイルコ此等教輩ノ其事業ヲ廣ク僥倖セシ所
ノ旨趣ヲ固執シ大ニ方便ヲ用ヒ現今ノ如ク當省ノ事
務ヲ進歩セシムルタメニ望ムヘキ道理ヲ保テル所ノ
農家ノルモノ方今マテニ其助力ノ一端ヲ受クルカ受
ケサルカヲコ、ニ尋問ス○本省長官ハ耕耘ニ関セサ
ル私設私益ノタメニ當課ヲ用ユルヲ允サズ又従前施
業場ヲ總理シタル長官及ヒ化學家輩ノ祈望セサリシ
各款ヲ呀ハスルヲ欲セス嘗テ官報ニ於テ或人ノ責問
ヲ受ケタリ是各其職掌ヲ尽サンカタメニ唯新礦坑ニ
関セル人ト新酒ヲ賣レル人ト新藥ヲ輸入セル人等ノ
黙止シ難キ請ヲ許セシノヒナリ素ヨリ礦金ヲ試ニ礦
水ヲ判テ釀酒家及ヒ賣藥家ニ証書ヲ與フルノ如キ

ハ當省ノ本務ニアラス唯米國農家ノタメニ實益トナ
ルヘキ呀ノ品類ヲ分析査索スルノヒモヒ農家ソノ田
園中ニ障礙ヲ為シ除去ヒレト要スル土層アツテ之レ
ヲ分析セント欲セハソノ標品ヲ當省ニ贈リテ分析セ
シムヘシ若シ又泥炭肥土^{泥炭}磷酸塩^{磷酸塩}ヲ呀有スルモノアラ
ハ凡ソ價ノ裁許ナルトソノ人ニ報知スヘシ又肥料
ニ供セハ益アラント考定スル呀ノ岩類地面内ニアル
トキハ其標品ヲ贈ルヘシ唯化學課ノ大意ハ其農家ニ
益ヲラント欲スルノミ故ニ植物ハ土ノ何ナル種類ニ
ヨク産スヘト欲テノ植物ハ如何ナルモノヲ以テ如
何ニ成長スヘキ歟小麥大麥裸麥燕麥玉蜀黍蔬菜竹類
等ニ肥料ノ如何ナル種類ノヨク適スヘキ歟例ヘハ如
何ナル土ニハ石灰ヲ要スル歟又如何ナル土ニ石灰ヲ

本
政
官

用ニナハ害ヲ醸スヘキ歟何故ニ植物ノ交換シテ培植
 スルヲ必用ナリトスル歟且ツ之レヲ交換スル中ニ何
 華ノ植物カ恰好順廻ヲ生スヘキ歟例ヘハ州類ノ汁液
 ニモ谷多寡アリ其産物ノ中ニテ砂糖蒸菜ノ糖質ヲ含
 ムル幾分歟又其汁液ヲ絞リシ剩品ニハ養分ヲ含ムル
 幾分ノ如シ且ツ方今何地ニテモ農家ノ製ニ試ムル所
 ノ販賣肥糞ノ價ハ幾何ナル歟僅少ノ雜費ニテ農家各
 其田園ヲ如何ニシテ貴重豊饒ニナシ得ヘキ歟等ノ類
 ヲ以テ常ニ之ヲ示ス○現今化學課ノ勉勵セル至重ノ事
 業ハ現業ニ関セル所ノ過燐酸塩ト其他肥糞類トノ元
 質ヲ悉ク査究セリ而シテ其地質ト培養セント欲スル
 植物トニ適スヘキ所ノ肥糞ヲ選ム媒トナルヘキヲ要
 センカタメニ其價直ノ量ヲ載セ農家ニ普ク通達セル

トス右肥糞類ニツキテハ詐欺贋製ノ囂々タル訴アリ
 氏イマタ其詐ノ信偽ヲ判ツ能ハス故ニ化學者ハ分離
 表ヲ作り其始メニ分析セル肥類ニ含メル所ノ溶解不
 溶解ノ「アンモニア」^{「アモニア」}「ポッター」^{「ポッター」}「磷酸」ノ品位ヲ記シ次ヘ
 一噸^{我凡ニ百ニ貫}ニツキ石成分幾ポンド及ヒ百分ノ幾許
 ト其量ヲ掲クルナリ此方法ハ買フヘキ農家ニモ費ル
 ヘキ製家ニモ損益アラハコハ英國ニテ主張セル方法
 ト同様ニテ詐欺ヲ施ス製造人ヲシテ突然市街ヨリ追
 逐スルモノナレハ農家ト正シキ製造家トノタメニハ
 大ニ便益ナリト云フヘシ當省施業場ニ於テ方今措置
 セル所ノ右ノ如キ査索ハ農家ノタメニ益トナレム
 ヲ千八百六十四年英國農社中ノタメニ博士「ブツイル
 ケー」^{「ケイ」}被ノ年報中ニ左ノ如ク記載セルヲ以テ其証ト

ナスヘシ曰ク作為セル肥糞ノ價銀ハ日々減少セル
ヲ以テ余コハニ報知セルヲ満足トス當時「ヤイリユ」
國ノ鳥糞ニ標品ニ少シク偽製アルヲ發覺セリ又過
燐酸塩石炭ノ如キ肥類ハ通例前年ヨリモ佳價トナリ
其實價モ貴ク販賣スヘキニ至レリ其他家畜ノ飼品ト
シテ普ク鬻ケル所ノ油糟ノ標品ヲ查索ノ夕ムニ石同
氏ニ贈レル者アリ其中大量ニカス蔴ルネノ皮殼雜錯セル
ヲ彼レ直チニ顯微鏡ニテ發見セリ又近時ノ報中ニ之
レヲ用ヒシ農家ノ畜類ニハ驚クヘキ病ヲ起セシ説ア
ルヲ記載セリ○化學課ニ附属セルモノハ地質并ニ
礦物學ノ室ト視術器ト精巧ノ顯微鏡トニテ其他ニモ
觀容ニ感ヲ起サシムヘキ所ノ數品アリ

本草課

農部省中ノ本課ハ千八百六十九年ノ春ニ至テ漸ク設
立シタリ其初メ各所ヨリ乾燥セル植物ノ標品ヲ贈リ
來ルヲ數千ニ及ヘルヲ以テ其種類ヲ區別シテ整置ス
ルヲ巧ミナル本草家ニ委任セシヨリ基セリコハニ
聚集セル所ノ本草類ハ多クハ各國政府ノ遠征ト測量
トノ檢査ノ顯微品夕リ千八百六十九年三月ヨリ本課
ノ事務ヲ奉シテ注意セシ所ノ本草家ハ同七十一年九
月マテニケ年半間彼ノ委任ヲ受ケタル内外ヨリ聚集
セル所ノ乾燥セル植物類ヲ以テ其製造ニ勉勵ヒリ石
ノ植物類ハ方今省中ノ最大ナル一室内ニ置ケル所ノ
ヨク製作シタル各種ノ胡桃箱ニ充滿スコハ曾テ農家
ニ益アリシカ又後來益トナルヘキカヲ探索セル所ノ
尋問屢アリ右ニツキ當農部長官ハ唯乾燥セル植物ヲ

集ムルノモニ注意セルコトハ農家ノ現業ノ獎勵ナス夕
メニ設ケタル所ノ當省ノ本州家ニハ不適當ナルヘシ
ト考定セリ此ノ如キ注意ハ大學校等ノ聚蓄場ニ用ヒ
ハ可ナラシ故ニ農部省ノ本草家ハ植物類ノ慣習性價
用法疾病成育ノ順序等ヲ以テ農家ニ教示スヘキ所ノ
植物學士タルヘク實ニ植物學ニ明カニシテ其養品氣
候地味ノ作用等ヲ了解シ耕耘ノ方法ヲ以テ植物類ノ
價ヲ衰セシムル如キハ農家ノ為メニ極メテ緊用ナル
コト疑ヲ容レス菓物ト穀類トヲ培養セル所ノ農家ノ夕
メニ大ニ益トナルヘキモノハ植物ノ疾病ヲ知ルニア
リソハ病ニヨリテ年々無量ノ損失ヲ生スレハナリ右
疾病ヲ查察シテ其原由ヲ發覺シ成育繁茂ノ方法ヲ示
ス等ハ農省本草家ノ職務タルコト明カナリ又本草家ノ

業ニハ農事ノ益ト富有ノ源トヲ新開スヘキ曠野アリ
當省長官ハ本草家ニテ務トナス所ノモノハ務メテ手
術藥品器械等ニ有用ナル元質ヲ保合セル所ノ自然物
ヲ指示スコト從來山野ニ在テ曾テ世ニ知レサル所ノ物
品中護謨砂糖漆州乾菜織緯澱粉油類及ヒ方今我國人
ノ恐愕スヘキ金額ヲ外國人ニ附スル所ノ飲料等ノ代
用トナルヘキ品類ヲ製スヘキヲ指示スコトアリト信
セリ本州家ハ其他西部ノ平坦ナル地ニ於テ速ニ成育
スヘキ林木ハ如何ナル種類ナルカ又何ノ草ハ南部ノ
炎熱ニヨク堪ユヘキ等ノ如キコトヲ以テ指示スルニ至
ラハ意ヲ竭シテ乾燥セル植物ノ聚集ニ從事スルヨリ
モ及テ米國農家ノ夕メニ遙カニ卓効ヲ顯スニ至ラン
方今ノ本草家ハ長官ノ目途ヲ達スヘキ學識ヲ有シテ

其事務ノ奉セリ故ニ當省ニ受クヘキ植物ノ標品類ノ
然置ハ置テ怠ラス唯本草課ニテハ乾燥セル植物ノ
ヲ彙集シテ他ノ高尚學士ノ望ニ充ツルヨリモ農家ノ
夕ノニ緊要ナル有益數千倍ヲ加ヘ且ツ其注意ニノミ
睥睨ノ費シ長官祈望ノ旨趣ヲ失ハサル目的ヲ保モテ
リ

農學課

一本課ハ農學士一員ト副官一名トニテナレリ本課ニ
於テ現今施行セル所ノ旨趣ハ千八百七十年間ノ報告
中ニ記載セル農學士ノ語ノ摘録ニ因テヨク了解スヘ
シ故ニコ、ニ之レヲ掲ク曰ク昨年中令衆國ノ各地ヨ
リ近來植物類ヲ損害スヘク視認セル農類ノ究理ト其
慣習トノ告諭及ヒ其毀傷ヲ回復シテ是ニヨリ起レル

損失ヲ務メテ減少センコトヲ祈望セル所ノ書牘數通ヲ
急報シ來レリ是ヨリ廿二月間ニ從前曾テ知り得サ
リレ所ノ農類ノ食品ト慣習トニツキ公私ノ農學ニ依
テ數種ノ新發明ヲ為セリ是ヨリ先キハ唯野草等ニノ
ミ生スヘキ者ト思考シタリレ所ノ農類ハ多ク耕耘セ
ル所ノ植物ヲ損傷スルコトヲ發覺セリ此旨趣ヲ公告ス
ルニハ不幸ニシテ一ケ年ニ止マリレ所ノ米國ノ農學
兼植物學士タル「リ」氏ノ日誌并ニ群籍中ニモ曾テ
稀ナル農學現業家タル「鑿師」フ「フツ」鑿師「ワ」等數
輩ノ著セル書籍中ヨリ廣ク之レヲ舉述スルコト緊要ナ
ルヘシ○植物ヲ害フ農類ニツキ農家ノ夕メニ本課ヨ
リ通スル所ノ報告ハ大抵右ニ掲クル如キ農學ノ鼻祖
ト仰カレタル所ノ數家ノ說ヲ引用スルモノナレハ確

ナルレテ貴重スルニ至ルヘシ當課長ハ幸ニシテ本省ノ書庫中ニ其書類ヲ聚集スル事務ノ効ヲ著ハシ國ニハ幸ニシテ其害ヲ探索セル所ノ「ロイス」五代「チャールズ」リ「君」等數輩ノ如キ其學士ヲ出セリ都テ有職ノ農家ハ其學課ヨリ出セル報中ニ掲クル所ノ農業日誌ヲ引用セル條ヲ閱シテ其害ヲ防クヘキ至良ノ方法ヲ需ムル「又難カラシ」○本課其學士ノ務トスル所ハ自ラ山野ニ行テ僅ニ知り得タル惡虫ノ状態ヲ認ムルヲ要セス唯其書記誠實ニシテ差違ナキヲ以テ正シトス然リト雖モ屢次自カラ田林ニ至リ他ノ其學家ノ論理告知ノ可否ヲ正シテ惡虫ノ害ヲ防ク方法ヲ施スヘキヲ要スヘシ右ニ因テコトニ查察ヲ要セントスル一証ヲ掲クヘシ蓋シ何ノ地方ニ於テモ恐ルヘキ「コロラド」

馬鈴薯虫ノ状態ヲ未タヨク了解セス其毀傷ヲ防ク方法ノ發明ナキヲ以テ本年中農家ヲシテ數千金ヲ損失セシムルニ至ルヘキ「是ナリ」○我數國ノ廳ハ各惡虫ト戰ヒ普ク其事業ヲ弘メテ農家ヲ助クヘキ所ノ虫學士ヲ用ヒサルナシ農部省ノ虫學課ハ意外ニ其誘導トナル「アラン」

博物館

博物館ハ當省樓上ノ大ナル一室ニシテ長廿百〇二フ「ト」幅五十二フ「ト」高廿二十七フ「ト」アリ其室ノ構造ハ雅致ニシテ胡桃縁ノ美麗ナル硝子箱其中ニ充テリ又別記ヲ要スル價アル無雙ノ家具アリ是レ「カリホルニア」ニテ生シタル赤木ノ一片ニテ造リタルモノニテ長廿二フ「ト」幅七フ「ト」半アル臺ナリ當博物

館ハ唯農事ノ品類ノミニ限ルヘキモノナレトモ必ラス
シモ之レニ泥マズ其耕耘ニ関セサル所ノ數品ヲ備フ
但し是等ハ必ラス農産ヲ以テ變更スヘキ時アルヘシ
當博物館ニ備フル物品中ニハ綿毛亞麻絹大麻^{シナ}レミ
其他織緯類并ニ諸外國ノ小麥大麥燕麥等ノ穀類ノ標
品及ニ自國ノ穀類玉蜀黍煙艸等ノ標品或ハ諸國産ノ
紙就中日本支那ノ紙數種及ニ甘蔗支那甘蔗楓恭菜等
ヨリ製シタル砂糖并ニ舍利別及ニ家禽類アリ博物館
ノ特ニ景色ヲ保テルモノハ如何ナル菓樹蔬菜ヲ獲ラ
耕耘セハ益アルヘキ歎ヲ探索ヤル所ノ觀客ノ為メニ
各國ノ地質氣候ニ應シ産シタル現状ヲ露ハセル所ノ
林擒桃李梅櫻馬鈴著南瓜等ニ類似セル模造ノ菓實蔬
菜ヲ備ヘタル場ナリ○農具類ハ他國ヨリ來レル觀客

ノ覽ニ備ヘ且ツ進歩セル耕耘ノ方法ハ曾テ知レサル
所ノ刈郡ヨリ來レル農家ノ足ヲ違ムヘキ改良セル犁
玉蜀黍耕耘作器玉蜀黍粉末具玉蜀黍栽植具最良ノ鋤
鐵刈草器刈穀器除穗器ノ模形等トーマスゼフェルソ
ンゼソロウウドソ時ノ犁及ニ老婆ノ馴レタル紡車類
モ當國人ノ發明アル精神ト器械ニ練熟ナルトヲ爭競
セン困難ハ已ニ過キシト雖モ米國農家タル者右ノ觀
客輩ニ其信ヲ起サシムヘキ所ノ鑪連枷ハ當博物館ニ
陳列セサルナリ斯ク缺漏アリト雖モ尚意ヲ注クヘキ
價アル所ノ數種ノ光景ヲ含ミ觀客ヲシテ政府ノ地位
ト認メシムヘシ博物館ノ目錄ハ大抵當省ヨリ出スト
イヘトモ無數ノ標品ヲ設備スルト毎歲ノ聚集トニ至
ツテハ諸人ノ注意ヲ仰カン一ヲ要セリ○當場ハ農學

ノ所管ニシテ其助官ニハ動物ノ真像師并ニ藻質蔬菜ノ模形師アリ

第八書庫課

本課ハ現今凡八千冊ノ書籍アリテ當國中ノ極メテ滿
備セル書庫ナリ其書ハ大抵農業ノ基礎トナルモノノ
ニシテ本草學地質學大氣頭像學典學類ノ書籍少ナ
カラス殊ニ倫敦ノ有名ナル本草家「リンネ」社中ノ
所分リ記載シタル所ノ稀有貴重ノ博物典學ノ書四十
冊・富ト又各邦農局ノ年報并ニ農會社園丁社中菜樹
社中ノ年報等ヲ殆ント遺漏ナク備ヘ置ケリ此年報中
ニハ大益ヲ得ヘキ價アルモノアリ故ニ事ニ練熟セサ
ル人々ニハ米國人ノ耕耘ニツキ如何ニモ活潑ニシテ
強ク且ツ迅速ナル問ヲ右報中ニ掲ケタルヲ閱シテ驚

愕スルニ至ルヘシ當館ニ儲有スル書籍ハ大抵議事院
ヨリ毎歲給セシ所ノ僅少ノ備金ヲ以テ需メタルモノ
ナリ又本省ヨリ出セル所ノ報告書ノ償酬ニ因テ外國
政府及ヒ諸社中等ヨリ獲タル所ノ書籍少ナカラス又
英佛獨逸意太利ノ農學會社ノ施行セル報告ハ常ニ之
レヲ領収ス當書庫ニ於テ心ヲ留ムヘキ光景ヲ保テル
ノ一ツハ蔬菜花類ノ價アル画圖ヲ載セタル所ノ華麗
ナル印書ノ種類ト又各草及ヒ蕨類ノ美麗ニ整置シタ
ル標品トナリ○書庫ニ充タル室ハ當省建設ノ極西ノ
下階ニシテ上等黒木ノ硝子戸アル箱多クアリ又中央
ニ同木ノ臺ヲ置キ鏡柵等ノ裝飾適宜ニ整ヘリ書庫管
理人ハ備金等ニテ獲タル所ノ書籍類ノ目錄ヲ編製シ
テ速カニ刊布スヘシ○當省ノ書記官并ニ數多ノ觀客

田々布等ノ一ノ議スルト雖モ尚日々當書庫ニ受ル所
ノ外國ヨリ來ル貴キ報告ト并ニ定時ノ新報類トノ省
中ニ於テ引用ナス事ノ多カラサルヲ以テ遺憾トセリ
○現今ノ書庫管理人ハ國ノ其地位ニ在テ緊要ナル諸
事ニ堪ユヘキ能ヲ備ヘタル所ノ學識アル貴人ナリ

通信記録會計課

條理ヲ以テ之レヲ言ヘハ當課ハ當ニ設スヘカラサル
ニ似タリト雖モ斯ノ如キ課ヲ設ケテ順序ヲ正シ事業
ヲ分テ其責ヲ擔ハシムヘシ當課ニ関カルヘキ省中ノ
雜務ハ金銀印刷文具ノ會計并ニ農會ノ通信并ニ其會
社ノ正記ノ録存并ニ外國通信及ニ種子ヲ買フヘキ通
信及ニ種子ノ需求ト特別ノ新報ト報告トノ通信及ニ
書翰ト書類ヲ寫ス一等ナリ當省ノ通信ハ極メテ緊要

ナルモノナレハ其効微ニ基キ意ヲ注キ其管理ヲ正シ
テ確立セシメン一ヲ要ス殊ニ望ム畊耘ノ方法ト収納
ノ整理ト新種子并ニ植樹ノ輸入ト溝ノ修法ト荒蕪地
ノ恢復ト典害ト其他農事ニツキ記者ノ為メニ必要ナ
ル旨趣等ニ関スル所ノ書牘ニハ良工ノ方法ニ倣ヒ速
カニ詳明回答アラシ一ヲ當省ハ凡テ農家ノ夕メニ設
ケタル通信局ナレハ各知ル所ヲ往復スヘキ聰明ナル
書記官在職スヘシ

證書分賦課

物ヲ封緘スル室ノ長官ト助官一名トニテ成レリ○省
中ニ在テ事務ヲ奉スル全員ハ大抵五十名ノ書記官ト
專業家ト五十名ノ使丁ト力作人ト其他傭人トナリ○
本年間ノ當省定額金ノ全數ハ種子類ヲ需ムルト場地

少長ノズルトノ費ヲ合セ十九万七千七百七十弗ナリ
一千八百三十九年中政府ヨリ農事奨励ノタメニ一千
弗ノ準備金アリシヲ始トシ農事新報刊布ノ雜費ノ除
キ同七十二年六月三十日迄ニ二百二十一万六千九百
六十三弗ヲ費セリ農部省建築ト其諸具トニ費セシ全
數ハ十四万弗ニテ蓄藏呀ノ費用ハ二万五千弗ナリ

農部省定額法則

- 一 農部全權ノ歳俸 三千弗
- 一 同書記官長ノ歳俸 二千弗
- 一 一九万弗 是農業ノ情實聚集ノタメ及ヒ田舎
農業ノ經濟法ノ進歩セシムルタメ及ヒ各種ノ有用ナ
ル新種子并ニ苗トナルヘキ切枝ヲ求メ得之レヲ植殖
シテ分賦ナスタメ及ヒ喰虫鳥ヲ求メ得之レヲ生育セ

シムルタメ及ヒ有用品ノ製作場ヲ設ケ農事ノ折衝ノ
諸装置ヲ具スルタメ及ヒ書記及ヒ其他ノ役夫ニ給與
シ且ツ省中ニ於テ不實ニ生スル所ノ必用ナル入費ノ
タメ等ノ定額金ナリ○又綿ト煙草トノ耕作ヲ増進セ
シムルタメニ三千弗○又亞麻ト麻トノ培養ト其製法
試験ノクメニ二千弗

右ノ金ハ合衆國各地ノ農業進歩ヲ求ムルタメナレハ
口錢兌換贈物貸附等ニ用ユルヲ允サス并ニ合衆國ノ
政府ヨリ俸金及ヒ雇給ヲ受ル所ノ書記使者等ノ
并ニ此輩ノ社中及ヒ家族及ヒ傭入等ニ増勤等ノ價ヲ
以テ與フルヲ得ス右ノ規則ヲ違犯スル歛或ハ其他議
院ニテ定メタル所ノ條款ニ背キ切枝種子等ノ販賣シ
或ハ假貸等ヲ舉テ為セシテ發露スル時ハ必ス其主者

ヲシテ退職セシムヘシ

右ハ第三十六會ト第三十七回トニ依テ決シタル
モノナリ

農部省場地ノ事

當省場地ノ改革ハ従前ノ畫試ニ從テ實ニ充分ナル落成ニ趣ケリ先建築ノ前面ニ在ル散步道ニ適要スヘク曾ノ預算セシ如ク極メテ堅牢ノ塀ヲ以テ之レヲ覆ヘリ此塀ニハ手摺等ノ附添アツテ地位風景ノ増シ且ツ家屋建築學ノ法ニ適ヒ正シキ落成ヲ模造スヘシ散歩道ノ類ハ充分ニシテ不足アラス前面ノ西部ノ地ハ製作場ナリ油脂ト鑿類トノ聚合セル蓋ヲヨク設クル時ハ道路ノ夕ニヨク適スヘシ場中野菜ノ育植ノ記セサ

ル地ハ貴價ノ植物ヲ作ルヘキ目的ナリ堅木及ヒ灌木等ノ小株ヲ植ルハ其物ヲ獲ルニ隨ヒ直チニ之レヲ分セリ尚之レヲ需メント欲スル者多シト雖モ甚夕之レキカ故ニ聚求景況ニヨリ必ス之レヲ撰ミテ遠國ヨリ輸入セサルヲ得ス是等ノ着手ヨク整理スル時ハ當省ノ所置ニ尚一層ノ貴價ヲ加ヘンニ必セリ現ニ方今ノ景況ニ就テ之レヲ察スル夕モ既ニ學者ノ注意ニ觸レ當省ノ價ヲ増益スルニ至レリ